SHARP®

電子辞書

形名 PW-AC910

本体内マニュアル「使い方の説明」

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
このマニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に付属の取扱説明書に記載の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

目次

はじめに

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は、別売のカードの使用時を含め、使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。
重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の説明書について

本製品には、この「使い方の説明」の他に、「取扱説明書」が付属しています。取扱説明書では、本製品の基本的な使いかたを説明しています。まず、「取扱説明書」をご覧いただいて基本的な操作を学習いただき、その後必要に応じて「使い方の説明」を参照ください。

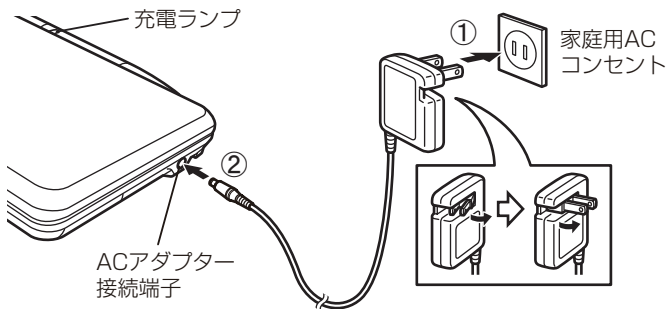
初めてお使いになるとき

この製品を初めてお使いになるときは、必ず充電してからご使用ください。

充電をする

1 この製品の電源が入っている（画面に何か表示している）ときは 入/切 を押して電源を切ってください。

2 ①、②の順番でACアダプター EA-80Aを接続します。

充電ランプが赤く点灯して充電が始まります。

●充電ランプが点灯しないときは、ACアダプターが付属のEA-80Aか、正しく接続されているか、などを確認して、接続し直しなどをしてみてください。それでもなお点灯しないときは、「異常が発生したときの処理」のリセット操作を行ってみてください。

3 充電が終了すると充電ランプが消えます。

●充電が終了するまでには約5時間30分かかります（充電時間は使用温度や使用状況によって変わります）。

4 ACアダプターを接続端子およびコンセントから取り外します。

★注意★

＊ACアダプターの抜き差しは、必ず電源が切れていることを確認して行ってください。

電源が完全に切れる前にACアダプターを抜き差しすると、追加コンテンツや単語帳など記憶内容、各種の設定内容などが消えることがあります。

＊ACアダプターの取り扱いについては、取扱説明書の「◎ACアダプターの取り扱いについて」「◎本体・ACアダプターの取り扱いについて」も十分お読みください。

【ACアダプターで使用する】

ACアダプターを正しく接続し、入/切を押して電源を入れれば本製品を使用することができます。

● 本製品を使用しているときは、充電に長い時間がかかります。電源を切っておいたほうが早く充電できます。（ACアダプターで使用中は、充電ランプが赤く点灯し、消灯しません。）

★注意★

＊ACアダプターで正しく充電できないときは、充電ランプが赤色で点滅して充電異常を知らせます。このときは、ACアダプターおよび充電池を取り外し（「充電池の交換手順」を参照）、充電池が破損していないか、指定の充電池（EA-BL14）か、周囲温度が0℃～40℃か確認してください。
指定の充電池で、外観に異常がない場合は、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧のうえ、修理を依頼してください。

＊ACアダプターを接続して電源を入れたとき、充電池を装着していないと「電池が入っていません」と一時表示されます。

＊ACアダプターを市販の「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

＊充電は、周囲の温度が0℃～40℃の場所で行ってください。0℃～40℃以外の環境では温度異常と見なして充電を行わないことがあります。

＊充電は途中で止めないで、終了するまで行ってください。

＊長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より長く時間がかかります。

＊長時間使用しているときや、充電しているとき、ACアダプターや充電池が温かくなりますが故障ではありません。

＊ACアダプターEA-80Aは、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では電源事情により電源供給が安定していない地域があります。海外でACアダプターを使用したことに起因するトラブルに関しては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

【充電池の残量の目安】

充電池の残量は、画面右上に表示される電池マークおよび充電ランプを目安にしてください。

電池マーク	残 量 の 目 安
（青色）	良好です。
（青色）	すこし少なくなりました。
（青色）	少なくなりました。充電することをお勧めします。
（赤色）	とても少なくなりました。速やかに充電してください（このときは、画面が暗くなります）。

なお、ACアダプターで本製品を使用しているときは、電池マークの代わりに次のマークが表示されます。

：ACアダプターで使用中（充電池なし）

：ACアダプターで使用中（充電池あり）

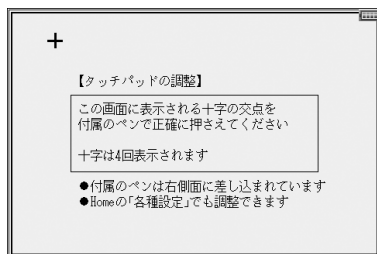
充電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、「電池について」をご覧いただき、新しい充電池と交換してください。

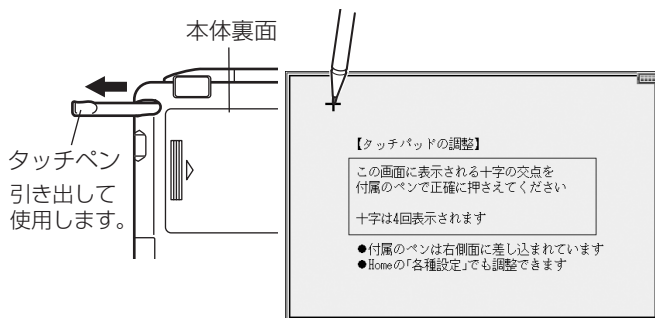
本製品にはリチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池は特性上、劣化にともない膨らむ場合があります。取扱説明書の「安全にお使いいただくために」の「充電池の取り扱いについて」をお読みいただいて、安全にご使用ください。

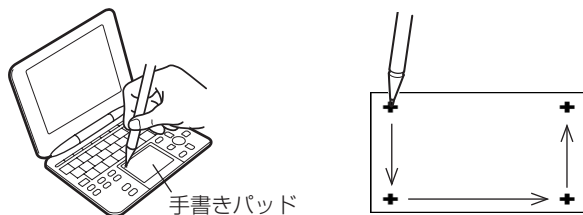
初めて電源を入れたとき

お買いあげ後、はじめて電源を入れると、初期設定を行う画面が表示されますので、順番に設定してください。

1 本体を開き、[入/切]（入/切）を押して電源を入れます。
しばらくすると表示部（メイン表示）のタッチパッド調整画面が表示されます。

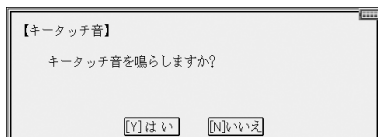
表示部（メイン表示）

- 違う画面が表示されたときは「ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは」を参照してリセットスイッチを押し、初期化の確認画面が表示されたら N キーを押してください。
- 電源が入らないときはACアダプターを接続する、または接続し直してみてください。

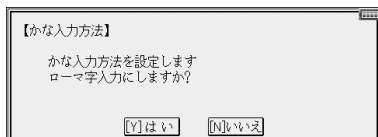
2 タッチペンを取り出して、画面に表示される＋（十字）マークの交点に正確にタッチします。

＋マークは、タッチすると別の場所に表示されますので、順番にその交点にタッチしてください。＋マークは4カ所に表示され、全てタッチすると手書きパッドの位置調整画面が表示されます。

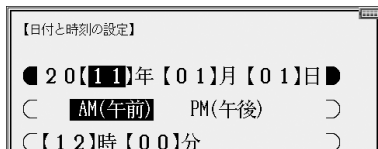
3 タッチパッドの調整と同じように、キーボード手前の手書きパッドに表示される＋（十字）マークの交点に正確にタッチしていきます。

＋マークは4カ所に表示され、全てタッチすると手書きパッドの表示濃度調整画面が表示されます。

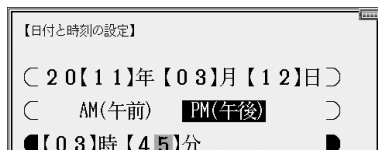
4 手書きパッドの［淡く］、［濃く］にタッチして（または[◀]、[▶]キーを押して）、手書きパッドの表示濃度を見やすい濃さに調整します。

5 調整後[検索/決定]キーを押します。

キータッチ音（キーを押したときや画面タッチ時に“ピッ”と鳴る音）の設定確認画面が表示されます。

6 ［Y］または［N］キーを押し*鳴らす鳴らさないを選びます。

かな入力方法の設定画面が表示されます。

7 ローマ字入力に設定する場合は [Y] キーを、50音入力に設定する場合は [N] キーを押します*。

日付/時刻の設定画面が表示されます。

＊ [Y]、[N] の代わりに [Y]はい、[N]いいえ にタッチして選ぶこともできます。

8 「年」「月」「日」を入力し、「AM（午前）」「PM（午後）」を選んで「時」「分」を入れます。

例　2011年3月12日 →「11 03 12」を入力
　　PM(午後) → [▶]、[◀]で「PM（午後）」を選択
　　3時45分 → [▼]を押し、「03 45」を入力

- 数字は手書きパッドの数字ボタンで入れます。
  入力欄の上下移動は [▼][▲] で行い、左右移動は [▶][◀] で行います。また、それぞれにタッチして移動させることもできます。
  入れまちがえたときは、その欄に戻って入れなおしてください。
- 「時」の欄に13～23を入れた場合は、PM（午後）1時～PM11時を指定したものと見なします。24以上を入れたときは設定できません。

9 入力内容が正しいことを確認して[検索/決定]を押します。

Home（ホーム）画面が表示されます。

〓参考〓

＊ ここで設定した内容は、Home画面の「各種設定」で変更することができます。

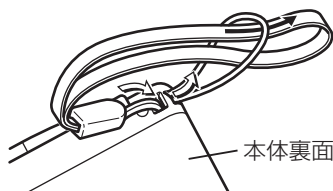
電池が消耗した場合は

充電池の残量が少なくなると電源を入れたとき「電池残量が少なくなりました　充電してください」と一時表示される、あるいは画面右上に表示される電池マークが"　"（赤色）になり、画面は最小の明るさに（暗く）なります。
この場合は、すぐにACアダプターを接続してください。

〓参考〓

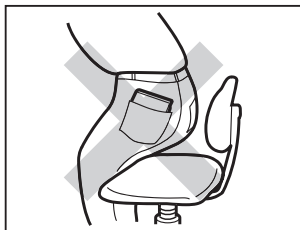
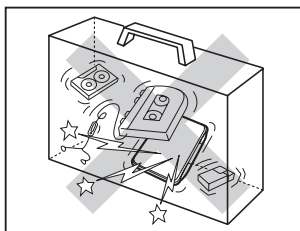
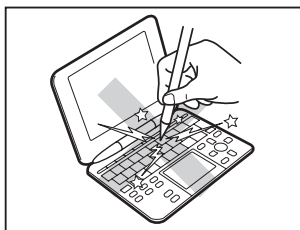
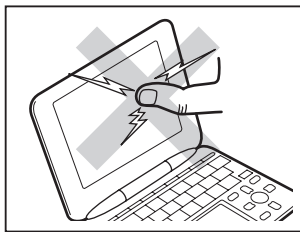
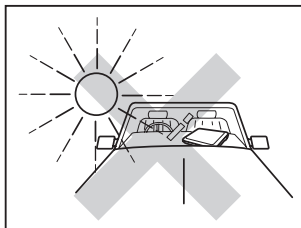
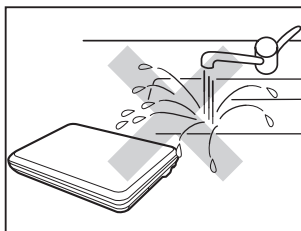
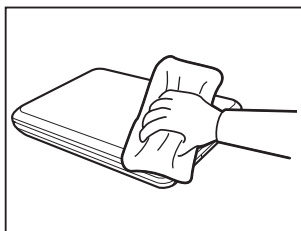
＊充電池が消耗すると、次のような動作ができなくなります。
- 音声の再生（MP3プレーヤーの再生、字幕リスニング等を含む）
- 動画の再生
- 手書きパッドのバックライトの点灯
- 単語帳や学習帳などの削除、カードの初期化
- 本製品の初期化など

市販のストラップを取り付けるときは

市販のストラップを取り付けることができます。図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けます。

★注意★

＊ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っぱるなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

使用上のご注意とお手入れ

- 製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。
  大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に満員電車の中などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。

- ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。
  傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。

- キーやタッチパッド（表示部）、手書きパッドを爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。
  キーやタッチパッド、手書きパッドを傷めることがあります。（タッチパッド、手書きパッドは付属のタッチペンで操作してください。）

- 表示部を強く押さえないでください。
  割れることがあります。

- 日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
  高温により、変形や故障の原因になります。

- 防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
  雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。
  シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

- キャッシュカードなど、磁気カードを近づけないでください。
  データが消える恐れがあります。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

本製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変/改良することはできません。
それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非/時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

商標・登録商標

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.
- 「漢字検定」・「漢検」は財団法人 日本漢字能力検定協会の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- 本「使い方の説明」中の社名、団体名、商品名は各社の登録商標または商標です。
- microSD、microSDHC はSDアソシエーションの商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/ LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。

◆この製品では、JIS第1水準、第2水準の9ドットの文字に縦、横1ドットずつの空白領域を含めた「10×10ドットLCフォント」を採用しています。

基本の操作

キーなどの表記のしかた

- キーは［　］で囲んで表します。また、手書きパッドのボタンなどは《　》で囲んで表し、メイン表示画面のボタンなどは〔　〕で囲んで表します。
- 2種類以上の機能が書かれているキーは、そのとき使用する機能のみを記載します。

例1 ズーム 大 文字 小 ：[文字大]、[文字小]と記載。
また、緑色の“ズーム”は[機能][文字大](ズーム)と記載。

例2 か W 2 ：[W]または[か]、[2]と記載。　検索 決定 = ：[検索/決定]または[＝]と記載。

例3 枠数 ：《枠数》と記載（手書きパッドのボタン）。

- 緑色で書かれた機能は[機能]を押して離したあと（画面左上に 機能 を表示）、それぞれのキーを押します。

例：[機能][後退](削除)、[機能][X](？）と記載

画面例について

記載されている画面例は説明用のため、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

記号について

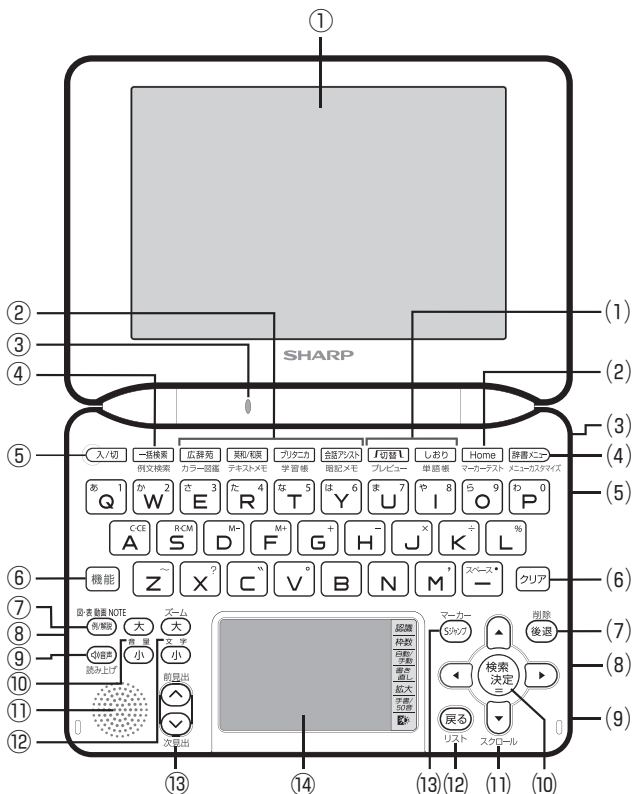
★注意★… 故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

〓参考〓… 参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

説明方法について

本製品の操作は、キーによる操作、メイン表示（画面）および手書きパッドでのタッチ操作と、複数の方法が使用できます。

本「使い方の説明」では、基本的にキーによる操作で説明し、必要な場合は適宜、他の操作を補足する方法で説明を行いますので、ご了解ください。

各部のなまえとはたらき

① 表示部（メイン表示）または タッチパッド
メニューや辞書の内容などを表示します。また、メニューやボタンにタッチして画面切り替えや、機能の実行を行います。

② コンテンツ選択キー
キーに書かれているコンテンツの画面が表示されます。
また、緑色で書かれている機能を使うとき、[機能]キーに続いて、それぞれのキーを押します。

③ 充電ランプ
電源オフ時、充電中は赤く点灯し、終了すると消灯します。
電源オン時、ACアダプター（AC電源）で使用中は常に赤く点灯します。

④ 一括検索キー
一括検索の入力画面が表示されます。
[機能]キーに続いて押すと例文検索の入力画面が表示されます。

⑤ 入/切キー
電源を入れたり切ったりします。

⑥ 機能キー
緑色で書かれている機能を使うとき、各キーの前に押します。

⑦ 例/解説キー
以外の型マーク（例、解説、動画など）が表示されているとき、このキーでマークを選び[検索/決定]キーを押すと、収録内容の表示や、動画再生などができます。

⑧ イヤホン端子（側面）
付属のイヤホンを接続します。

⑨ 音声キー
マークが表示されているとき、このキーでマークを選び[検索/決定]キーを押すと音声が再生されます。また、単語などをネイティブ発音させる場合に、音声モードにします。
[機能]キーに続いて押すと合成音声（TTS）による読み上げモードになります。

⑩ 音量大/音量小キー
音声モードなどで、音量を調整します。

⑪ スピーカー

⑫ 文字大/文字小キー
リスト画面や詳細画面で文字の大きさを切り替えます。
広辞苑の詳細画面などで、[機能][文字大]（ズーム）と押すと、内容の一部を最大文字で見ることができます。

⑬ ページ送りキー
リスト画面や詳細画面などで画面に表示し切れていない内容があるとき、1画面分ずつ内容を送ります。
調べたい語を入れて表示させた詳細画面などで、[機能]キーに続いて押すと、次（前）の見出し語の詳細画面が表示されます。

⑭ 手書きパッド
場面によって表示される機能をタッチして使用します。
主に手書き入力、コンテンツ選択、機能選択などを行います。

⑴ コンテンツ使用時の補助キー

[切替]：詳細画面の上部に複数のタブが表示されているとき、タブを切り替えます。

[機能][切替]（プレビュー）：プレビュー表示の表示位置および有り/無しを切り替えます。

[しおり]：しおりがあるコンテンツの画面で、しおりを表示させます。

[機能][しおり]（単語帳）：単語帳があるコンテンツの画面で、単語帳を表示させせます。また、辞書メニュー画面で押すと、コンテンツの分類から単語帳を表示させることができます。

⑵ Home（ホーム）キー

Home画面を表示させせます。

[機能]キーに続いて押すと、マーカーテストリスト画面が表示されます。

⑶ タッチペン収納部（側面）

タッチペンを収納します。

⑷ 辞書メニューキー

辞書メニューを表示させせます。

辞書メニューで分類を選んだ後、[機能]キーに続いて押すと、その分類内のコンテンツを並べ替えるメニューカスタマイズ画面が表示されます。

⑸ ACアダプター接続端子（側面）

付属のACアダプターを接続します。

⑹ クリアキー

入力欄への文字入力中などでは、入力した文字を消去します。リスト画面や詳細画面などでは、コンテンツの先頭の画面などに戻ります。

⑺ 後退キー

入力欄への文字入力中などに押すと、カーソルの左側の文字を削除します。

[機能]キーに続いて押すとカーソル位置の文字を削除します。

⑻ カードスロット（側面のカバー内）

市販のmicroSD/microSDHCメモリーカードを装着します。

⑼ USB端子（側面のカバー内）

付属のUSBケーブルを接続します（USBケーブルを介してパソコンと接続します）。

⑽ 検索/決定キー
メニュー選択や文字入力を確定するときなどに押します。
電卓で計算を実行するときにも押します。

⑾ カーソルキー
カーソルを移動させます。メニューやリストの項目の選択、ボタンやマークの選択、文字の範囲選択、画面送りなど、多くの場面で使用します。
オートスクロール機能を使用するときに[機能][▼]（スクロール）と押します。

⑿ 戻るキー
前の画面に戻ります。
[機能]に続いて押すと、表示されていた見出し語から始まるリスト画面が表示されます。

- 詳細画面などでタブ（画面）を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも[戻る]キーを押すと前のリスト画面などに戻ります。

⒀ Sジャンプキー
詳細画面内の言葉を調べるとき、言葉を選択できる状態にします。
詳細画面でマーカーを引くとき、[機能]に続いて押してマーカーを引ける状態にします。

電源を入れる/切る

下表のキーを押すと電源が入り、押したキーに対応した画面が表示されます。電源を切るときは[入/切]キーを押します。

電源を入れるキー	表示される画面
[入/切]	電源が切れる前の画面が表示されます（レジューム機能）。なお、オープニング設定によっては、オープニング画面や、デモ（スライドショー）の開始確認画面が表示されます。
[辞書メニュー] [Home]	辞書メニュー画面またはHome画面が表示されます。
[一括検索] [広辞苑] [英和/和英] [ブリタニカ] [会話アシスト]	それぞれのコンテンツや機能の最初の画面（入力画面など）が表示されます。（ダイレクトオン機能）

自動的に電源が切れたときは・暗くなったときは

上表に示すキーを押して電源を入れます。
この製品は電池の消耗を防ぐため、下記の場合を除き一定時間（初期は約5分間）キー操作がないと自動的に電源が切れます※（オートパワーオフ機能）。

また、電池で使用しているとき、一定時間（初期は約30秒間）キー操作をしないと画面が暗くなります（減光されます）。このときは、何かキーを押せば元の明るさに戻ります。

※次の場合は、オートパワーオフ機能が働きませんので、電源の切り忘れなどに注意してください。
- MP3プレーヤー再生中
- 動画再生中
- 字幕リスニング再生中
- ACアダプターを接続して、フォトスライドのスライドショーを行っているとき

〓参考〓

＊オートパワーオフ時間、減光時間は、Home画面の「各種設定」から「オートパワーオフ時間」および「バックライト設定」を選んで変更できます。

手書きパッドのバックライトを点ける／消す

手書きパッドの《☀》ボタンにタッチすると、手書きパッドのバックライトが点灯／消灯します。
なお、電池で使用しているとき、バックライトは30秒間キー操作がないと自動的に消灯します。

便利な機能

本製品は電池の消耗を少なくするため、MP3プレーヤー再生中を除いて、本体を閉じると電源が切れ、動作している機能がすべて終了します。MP3プレーヤー再生中は電源の切り忘れに注意してください。

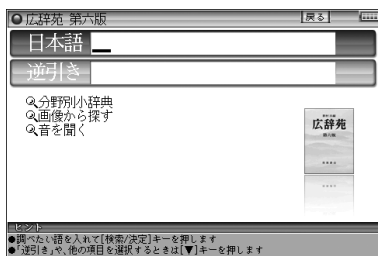
画面表示について

画面に表示される表示シンボルやマークは、製品の状態などを示します。

シンボル	意　　味
(電池残量シンボル)	充電池の残量(目安）を示します。
(ACアダプターシンボル)	ACアダプターの使用を示します。
⇧ ⇩	画面の右上に表示され、矢印の方向に表示されていないデータがあることを示します。 [▼]、[▲]：１行ずつ画面を送ります。 [∨]、[∧]：１画面ずつ画面を送ります。 このシンボルにタッチすると1画面ずつ画面を送ります。
⇦ ⇨	ズームウィンドウ内などで表示されていないデータがあります。 [▶]、[◀]：内容を左右に送ります。 このシンボルにタッチすると内容を左右に送ります。
機能	このシンボルは画面の左上に表示されます。 [機能]キーが押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。 （状況により選択できない機能があります。）

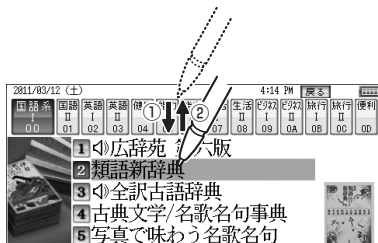
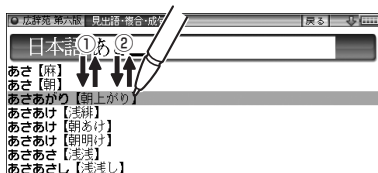
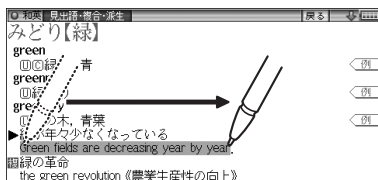
マーク	意　　味
例　解説　NOTE　図　表　動画	関連する例文や解説、コラム（NOTE）、図、表、動画が収録されていることを示します。 マークにタッチすると、収録内容を表示または実行します。
（音声マーク）	音声データが収録されていることを示します。 マークにタッチすると、音声を再生します。
（ジャンプマーク）	ジャンプして参照することを示します。 マークまたはマークが示す用語にタッチするとジャンプ機能が働きます。

【操作ガイドメッセージ（ヒント）】

画面下や画面上部に操作ガイドメッセージが表示されることがあります。
操作ガイドメッセージには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されています。操作が分からなくなったときなどに利用します。

画面タッチ操作のしかた

メイン画面（メイン表示）と手書きパッドの両方の画面ともタッチペンでタッチして操作できます。

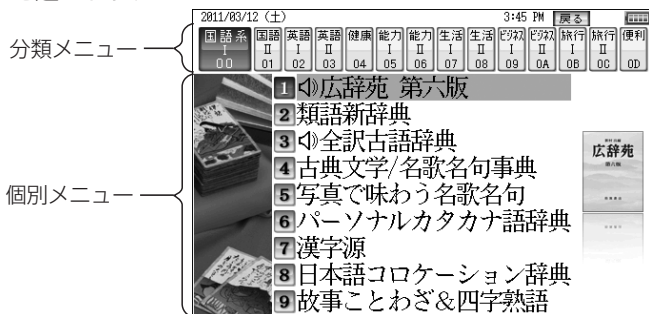
《タッチ操作の種類》

タッチ：画面に軽く触れ（軽く押し）、離す操作です。
メニューの項目を選んだり、〔戻る〕などのボタン、＜型マーク、“⇧”“⇩”の操作など、多くの操作に使用します。

2回タッチ：同じところに2回タッチします。
辞書を引いて候補がリスト表示されている画面などでは、１回目のタッチで候補が選択され、２回目で詳細画面などに切り替わります。なお、すでに選択されている候補は、１回のタッチで画面が切り替わります。

ドラッグ：タッチペンで画面にタッチしたままペンを別の点まで移動させます。文字の範囲指定などに使います。

★注意★

＊画面を強く押さえたり、たたいたりしないで軽く操作してください。強い力やショックを加えると傷がつき、破損の原因になります。

使いたいコンテンツ（辞書）の選びかた

【辞書メニュー画面で選ぶ】

[辞書メニュー]を押して表示される辞書メニュー画面で、まず分類メニューを選び、次に個別メニューから使いたいコンテンツを選びます。

辞書メニュー画面（コンテンツ等選択画面）

分類メニューの選択

[▶]や[◀]で選ぶ。または[0][0]〜[0][9]、[0][A]〜[0][D]で選ぶ。

個別メニューの選択

[▼]や[▲]で選んで[検索/決定]キーを押す。または[1]〜[9]で選ぶ。

それぞれ、画面にタッチして選ぶこともできます。

> 以降、上記の操作は、次のように説明します。
> 例：[辞書メニュー]を押し、「生活Ⅰ」から「ブリタニカ国際大百科事典」を選びます。

【すべてのコンテンツリスト（一覧）で選ぶ】

[辞書メニュー]を押し、「便利」（便利機能）から「すべてのコンテンツを見る」を選ぶと、すべてのコンテンツリスト（一覧）が表示されます。

画面番号／画面数

すべてのコンテンツ　1/3　戻る

00 広辞苑 第六版	16 日本語「語源」辞典	32 英語名演説・名せりふ集
01 類語新辞典	17 常識・非常識	33 新 家庭の医学
02 全訳古語辞典	18 ジーニアス英和辞典	34 薬がわかる本 2010
03 古典文学/名歌名句	19 ジーニアス和英辞典	35 正しい治療がわかる本
04 写真で味わう名歌名句	20 OXFORD現代英英辞典	36 検査のすべて
05 パーソナルカタカナ語	21 カタカナで引ける英和辞典	37 血液サラサラ健康事典
06 漢字源	22 英会話とっさのひとこと辞典	38 サプリメント小事典
07 日本語コロケーション	23 音声付英語発音解説	39 健康管理事典
08 故事ことわざ	24 英会話Make it!基本	40 漢検ドリル
09 四字熟語辞典	25 英会話Make it!場面	41 英検トレーニング
10 例解慣用句辞典	26 英語類語使い分け辞典	42 新TOEIC®完全攻略
11 言葉の作法辞典	27 英文ビジネスレター事典	43 漢字ターゲット
12 日本語知識辞典	28 英文手紙用例辞典	44 動詞活用マスタードリル
13 方言一覧辞典	29 使ってトクする・損する英語	45 TOEIC®英文法
14 常用漢字難読辞典	30 語源で覚える「英単語」	46 読めない漢字
15 日本語○×辞典	31 英単熟語ダイアローグ1200	47 もっと読めない

画面の切り替えは[∨]、[∧]で行います。
また、⇧⇩シンボルにタッチしても行えます。

[▼]、[▲]、[▶]、[◀]で選択したいコンテンツにカーソル（数字の反転表示）を移して[検索/決定]を押すとコンテンツの画面が表示されます。
また、コンテンツ名にタッチしても、コンテンツの画面が表示されます。

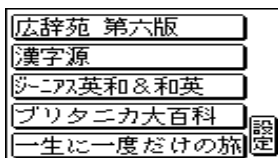
〓参考〓

＊コンテンツ名の前に表示されている番号（00～98）を[0]～[9]キーで入力しても、コンテンツを選ぶことができます。

★注意★

＊「会話アシスト」などの機能はコンテンツに含みません。

【その他の方法で選ぶ】

● 手書きパッドにコンテンツリスト（My辞書）が表示されているときは、コンテンツ名にタッチして選びます。

● コンテンツ選択キー（[広辞苑]、[英和/和英]、[ブリタニカ]、[会話アシスト]）で直接選びます。

Home画面の使いかた

[Home]を押すとHome（ホーム）画面が表示されます。
Home画面からは、本製品の機能を選択して使用することができます。
表示されているアイコン（絵記号）にタッチして選択します。
または、カーソルを移して[検索/決定]を押して選択します。

文字入力と修正

キーによる文字の入力と修正のしかた

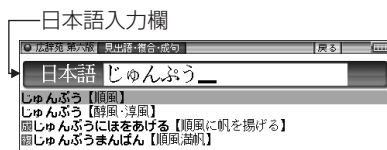
【日本語の入力方法】

キーによる日本語の入力方式は、「ローマ字かな入力」と「50音かな入力」の2種類があります。
入力方式を切り替えるときは[Home]キーを押し、「各種設定」「かな入力方法」と選んで、設定してください。

キーで文字を入力する練習をしましょう。

＊ 入れまちがえたときは[後退]キーで消して入れ直してください。
＊ 漢字は手書きで入力します。

1 日本語入力欄に「じゅんぷう」と入れます。

日本語入力欄

ローマ字かな入力の場合の操作：
[J][U][N]（[N]）[P][U][U]

50音かな入力の場合の操作：
[さ][さ][゛][や][や][や][や][や][わ][わ][わ][わ][わ]
じ　ゅ　ん

[は][は][は][゜][あ][あ][あ]（[▶]）
ぷ　う

＊[゛]は C キー、[゜]は V キーです。

※ 50音かな入力では、最後の文字を入れた後、[▶]を押して文字を確定させます。

〓参考〓

＊新しい言葉を引くときは[クリア]を押して前に入れた文字をすべて消します。

ローマ字かな入力方式での入力について

ローマ字のスペルでひらがなを入力する方法は、「ローマ字→かな変換表」を参照してください。

＊ “ゐ” は [W][Y][I]、“ゑ” は [W][Y][E] とキーを押して入れます。

50音かな入力方式での入力方法

50音によるひらがなの入力では、例えば [あ]キーを押していくと、次の順番で表示が変わります。

あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ‥‥

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、[▶]キーを押すと入力文字が確定されます。

[あ]… あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ
[か]… か き く け こ
[さ]… さ し す せ そ
[た]… た ち つ て と っ
[な]… な に ぬ ね の
[は]… は ひ ふ へ ほ
[ま]… ま み む め も
[や]… や ゆ よ ゃ ゅ ょ
[ら]… ら り る れ ろ
[わ]… わ ゐ ゑ を ん ゎ

1. 濁音、半濁音は清音の後に [゛]、[゜]キーを押して入れます。

（例） ざっぴ → [さ][゛][た][た][た][た][た][た]
[は][は][゜]（[▶]）

2. 同じ行（あ行など）の文字が続くときは[▶]キーで文字を確定させます。

（例） あいあい → [あ][▶][あ][あ][▶][あ][▶]
[あ][あ]（[▶]）

3. 長音符は[ー]（スペース・ー）を押して入れます。

（例） あーち → [あ][ー][た][た]（[▶]）

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン(－)は入る？

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン（－）、中点（・）などは入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

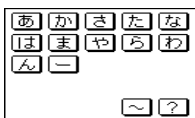
ひらがな、カタカナを切り替えて入れる方法は？

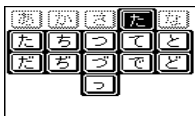
キーで入力する場合、コンテンツによってひらがなが入力されるかカタカナが入力されるか決まっていて、切り替えることはできません。
手書きパッドを使った手書き入力では、ひらがな、カタカナの両方を入れることができます。
ただし、検索はひらがな、カタカナを区別せずに行いますので、どちらを入れて検索しても同じ言葉が探し出されます。

手書きパッドで50音かな入力をする（かなタッチ入力）

手書きパッドで50音かな入力をする方法を説明します。

1 日本語入力欄が選ばれているときのように、かなが入力できる状態で手書きパッドの《手書/50音》ボタンにタッチし、50音かな入力パッドに切り替えます。

行選択画面が表示されます。

2 入力したい文字が含まれる行を、ボタンにタッチして選びます。

選んだ行に含まれる文字のボタンが表示されます。

3 入力したい文字ボタンにタッチします。

文字がコンテンツの入力欄に入り、入力パッドは行選択画面（最初の画面）に戻ります。

以降、手順2 ～ 3の操作でかなを入力します。

〓参考〓

＊「ん」「ー」「～」「？」は、手順1の画面でそれぞれのボタンにタッチすると入力されます。
＊手順2で行をまちがって選択したときは、薄く表示されているボタンや、下の空いている所にタッチして、行選択画面に戻ります。
＊手書き入力パッドに戻るときは《手書/50音》ボタンにタッチします。

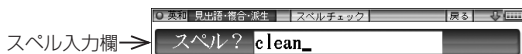
【英語の入力方法】

英字などの入力のしかたを練習しましょう。入れまちがえたときは[後退]キーで消して入れ直してください。

1 スペル入力欄に「clean」と入れます。

[C][L][E][A][N]と押します。

スペル入力欄→

〓参考〓

＊新しい言葉を引くときは[クリア]キーを押して前に入れた文字をすべて消します。

スペル入力時の参考

1. 見出し語にスペース、「ー」、「 ' 」、「／」、「 . 」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。

   （例） fast food → fastfood
   weak-kneed → weakkneed
   let's → lets

2. キー入力では大文字と小文字は切り替えられません。検索は大文字と小文字を区別せずに行われます。
3. 数字は英語のスペルで検索します。
4. 「&」は「and」と入力します。

〓参考〓

[M']、[スペース ー]キーの使いかた

＊[M']キーの“ ' ” は、テスト機能があるコンテンツで、答えにアポストロフィー“ ' ” が含まれているときに、[機能][M']と押して入力します。

＊[スペース ー]キーは、読みの入力での長音符（ー）の入力や、電卓/便利計算機能での小数点の入力に使用します。また、テスト機能があるコンテンツで、答えが2語以上になるときに、区切りのスペースの入力にも使用します。
アポストロフィーやスペースは英和や英英などの辞書では入力できません。

【ピンイン（中国語発音表記）の入力方法】

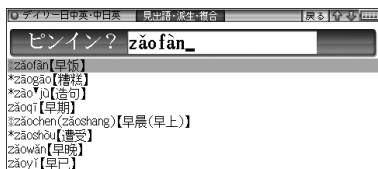
ピンイン（pinyin）は中国語の発音をローマ字表記する方法です。ローマ字はアルファベットで表しますが、母音に四声を表すマークが付く場合は下記の方法で指定します（四声の指定をしなくても検索することはできます）。ピンイン入力は一括検索、W検索でも使用できます。

【例】「zǎofàn」（早饭）と入れてみましょう。

1 [辞書メニュー]キーを押し、「旅行Ⅰ」から「デイリー日中英・中日英辞典」を選びます。

2 [▼]キーを２回押してカーソルをピンインの入力欄に移し、「zǎofàn」と入れます。

[Z][A][A][A][A][O][F][A][A][A][A][A][N]

〓参考〓

＊新しい言葉を引くときは[クリア]キーを押して前に入れた文字をすべて消します。

ピンインの入力について

ピンインで使用する、通常のアルファベット以外の文字の入力および四声の指定のしかたを説明します。

四声の指定
中国語の声調は、軽声、1声、2声、3声、4声があり、母音（ a、o、e、i、u、ü ）に次のような記号を付けて表します。なお、1声～ 4声をまとめて四声と呼びます。

a、e など……軽声
ā、ē など……第1声
á、é など……第2声
ǎ、ě など……第3声
à、è など……第4声

四声の指定（入力）は次の操作で行います。
例えば[A]キーを1回押すと“a”が表示されます。続けて[A]キーを押していくと次の順で表示が変わります。

a→ā→á→ǎ→à→a

入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、[▶]キーを押すと入力文字が確定されます。
同じ種類の文字が続くときは、前の文字を入れ[▶]キーで確定させてから次の文字を入れます。

dá'àn→ [D][A][A][A][▶][A][A][A][A][A][N]
（ ' などの記号は省略して入れます。）

＊声調記号（- ˊ ˇ ˋ）は、母音の上に付きます。

ü の入力： ü は[V]キーを押すと入力されます。

【中国語や日本語の漢字、韓国語の入力は?】

中国語の漢字（簡体字）や、日本語の漢字、韓国語（ハングル）は手書き入力します。「手書きパッドで文字を手書き入力する」をお読みのうえ、手書き入力をしてください。
これらをキーで入力することはできません。

【入力した文字の修正のしかた】

余分な文字を削除する

1 [◀]、[▶]キーで削除したい文字の後ろにカーソルを移します。

2 [後退]キーを押します。

カーソルの前（左）の文字が削除されます。

カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は[機能][後退](削除)と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

[クリア]キーを押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

[◀]、[▶]キーで文字を追加したい位置にカーソルを移し、文字を入力します。

〓参考〓

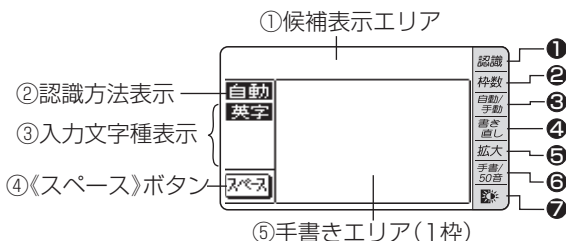
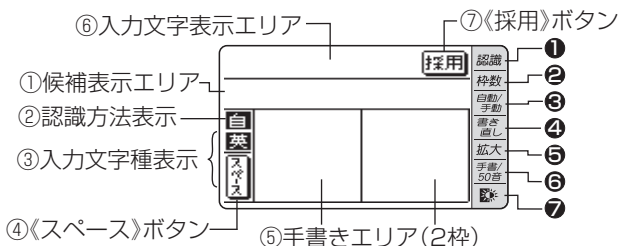
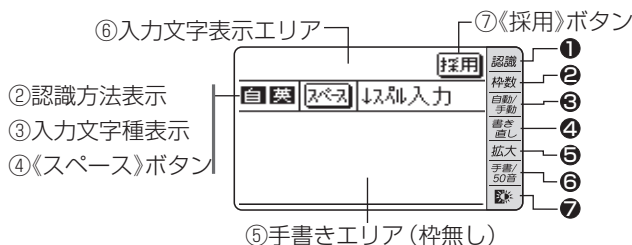
＊50音かな入力では文字が確定するまでカーソル（◀または＿）が表示されません。[▶]キーで確定させてください。

手書きパッドで文字を手書き入力する

各コンテンツの入力画面では、手書きパッドを使って文字などを手書き入力することができます。（ピンインは除く）
複雑な漢字は大きな1枠入力パッドで、文字を連続して入力するときは2枠入力パッドで、というように目的に応じて使い分けられます。
なお、漢字源ではメイン表示画面で大きく書いて漢字を調べることができます。（☞「漢字源」）

【手書きパッドの各部のはたらき】

各コンテンツの入力画面などで入力欄にカーソルがあると、手書きパッドに手書き入力パッドが表示されます。

【1枠入力パッド】

【2枠入力パッド】

【枠無し入力パッド】 英字（アルファベット）入力時にのみ使用できます。

①候補表示エリア：1枠入力パッドでは手書きした文字の候補文字が表示されます。
2枠入力パッドでは第一候補の文字が入力文字表示エリアに入ります。その文字にタッチすると、候補表示エリアに候補文字が表示されます。

②認識方法表示：手書きした文字の認識方法を示します（☞《自動/手動》）。
自動、**自**：自動認識
手動、**手**：手動認識

③入力文字種表示：入力できる文字種を示します。
漢字、**漢**：漢字入力
仮名、**仮**：かな入力
英字、**英**：英字入力
中国、**中**：中国語（簡体字）入力
韓国、**韓**：韓国語（ハングル）入力

④《スペース》：テスト機能で、解答にスペースを入れるボタンです。スペースを入れられるときにのみ表示されます。

⑤手書きエリア：タッチペンで文字を手書きします。

⑥入力文字表示エリア：２枠入力パッド、枠無し入力パッドで表示されます。調べたい文字・言葉をいったんここへ入力した後、《採用》ボタンでコンテンツの入力欄へ移して検索します。

⑦《採用》：２枠入力パッド、枠無し入力パッドで表示されます。入力文字表示エリアに入力された文字・言葉をコンテンツの入力欄へ移して、検索を行います。

❶《認識》：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。自動認識に設定されている場合でも、このボタンにタッチすると直ちに認識が開始されます。

❷《枠数》：手書き入力パッドを切り替えます。タッチするたびに１枠入力パッドと２枠入力パッドが切り替わります。
また、英字入力では枠無し入力パッドにも切り替わります。

❸《自動/手動》：手書きした文字を認識させる方法を切り替えます。タッチするたびに自動認識と手動認識が切り替わります。

❹《書き直し》：候補や、書きかけの文字を消去します。入力文字表示エリアに複数の文字が入っているときは、一番右の文字を消去します。

❺《拡大》：候補表示エリアの候補を拡大表示させたり、元に戻したりします。拡大した文字は手書きエリアに表示されます。

❻《手書/50音》：かな入力できる状態で、手書き入力パッドと50音かな入力パッドを切り替えます。

❼《☀》（バックライトボタン）：手書きパッドのバックライトを点灯／消灯させます。

《別候補》：枠無し入力パッドで表示されます。認識した語の別の候補を表示させます。

★注意★

＊文字を書くときは、強く押さえないで軽く書いてください。
手書きパッド表面やペン先にゴミが付着している状態で使用すると、タッチパネルに傷がついたり、破損の原因になります。

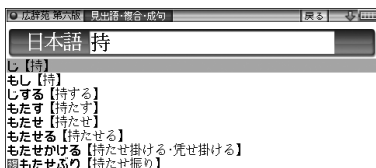
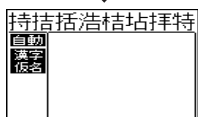
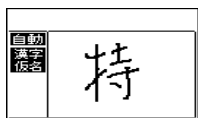
〓参考〓

＊文字を仮名で入れて漢字に変換する機能はありません。
＊次の場合は手書きパッドの位置調整をしてみてください（[Home]キーを押し、「各種設定」「手書きパッド設定」「手書きパッドの調整」と選んで、調整してください）。
・手書きしている文字とペンの位置がずれている。
・候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
・ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

【1枠入力パッドで手書き入力をする】

【例】「持つ」を入れます。

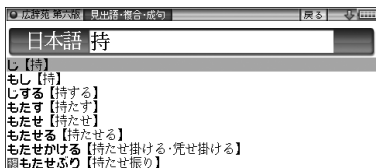
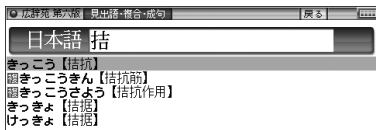
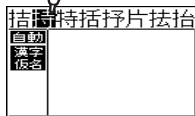
1 手書きエリアにタッチペンで「持」と書きます。

自動認識の場合、手書きパッドからペンを離して1～2秒で手書き文字が認識され、候補の文字が候補表示エリアに表示されます。候補表示エリアの左端の文字が入力欄にも入り、辞書の検索が行われます。

〓参考〓

＊ 手動認識や書き終わって直ぐに認識させる場合は《認識》ボタンにタッチします。

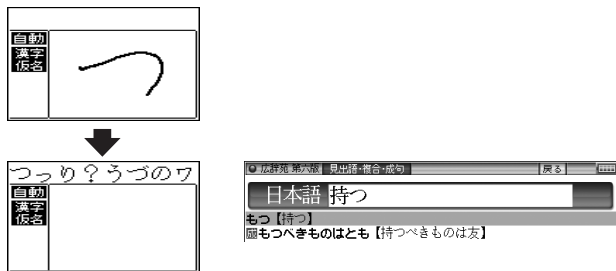
2 もし、入力欄に目的と違う文字が入ったときは候補表示エリアの目的の文字にタッチ（選択）します。

入力欄の文字が、選択した文字に入れ替わります。

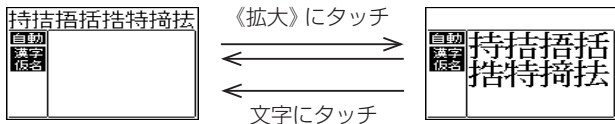
〓参考〓

＊ 候補にないときは《書き直し》ボタンや[後退]キーで消し、もう一度手書きしてください。

＊韓国語文字（ハングル）には、書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔 と 잔 は ㅈ と ㅈ が異なって違う文字に見えますが、同じ文字です）。ハングルを手書き入力するときにはご留意ください。

3 同様にして「つ」を書き、入力欄に入れます。

新たに書き始めると、前の文字が確定され候補が消えます。※

※《スペース》ボタンでスペースを入れたときや、キーで文字を入れたとき、また[◀]、[▶]キーで入力欄のカーソルを移動させたときなどにも、文字が確定されて候補が消えます。

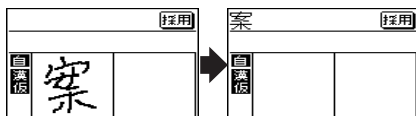
候補の文字を大きく表示させたいときは

《拡大》ボタンにタッチすると、候補表示エリアの候補が手書きエリアで拡大表示されます。拡大表示された候補の文字にタッチすれば、その文字が選択されて入力欄に入り、通常の画面に戻ります。

＊新たに文字を書くときは通常の画面に戻してから書いてください。

【2枠入力パッドで手書き入力をする】

【例】「案山子」(かかし) を入れます。

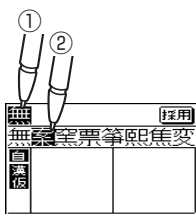
1 《枠数》ボタンにタッチして2枠入力パッドに切り替えます。

2 左右どちらかの枠内にタッチペンで「案」と書きます。

自動認識では手書きパッドからペンを離して1 ～ 2秒で文字が認識され、候補の文字が入力文字表示エリアに入ります。なお、1文字書いた後、すぐにもう1つの枠に書き始めると、先に書いた文字の認識が開始されます。

手動認識では最後の文字を書いた後《認識》ボタンにタッチして認識させます。

3 もし、目的と違う文字が入ったときは、タッチペンでその文字にタッチし、候補表示エリアに表示される候補の中の目的の文字にタッチ（選択）します。

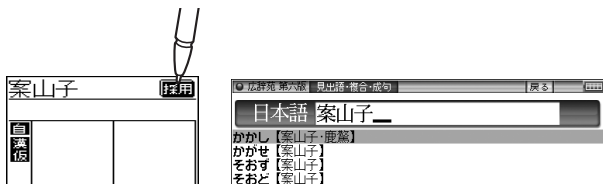
入力文字表示エリアの文字が選択した文字に入れ替わります。

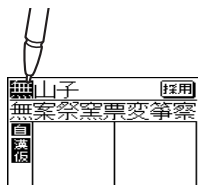
〓参考〓

＊ 候補にないときは《書き直し》ボタンにタッチして候補を消し、もう一度、枠内に手書きしてください。

4 手順2 ～ 3と同様の操作で「山」「子」を入れます。

長い言葉は6文字ごとに《採用》ボタンにタッチしてコンテンツの入力欄に移します。

5 文字を入れ終わったら《採用》ボタンにタッチしてコンテンツの入力欄に移します。

辞書などの検索が行われます。

〓参考〓

＊入力文字表示エリアの文字を変更するときは
　入力文字表示エリアの文字にタッチすると、文字が反転し、候補表示エリアに候補が表示されるので、選び直すことができます。

＊《書き直し》ボタンにタッチすると、入力文字表示エリアの一番右の文字が消去されます。書き直すときに利用します。

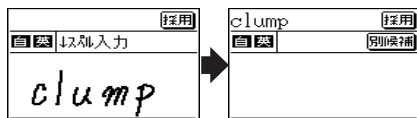
＊2枠入力の場合、入力した文字は《採用》ボタンにタッチするまでコンテンツの入力画面には表示されません。

【枠無し入力パッドで手書き入力をする】

アルファベットは枠を気にせずに手書きして認識させることができます。

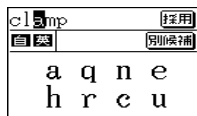
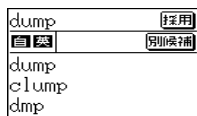
【例】「clump」を入れます。

1 英和辞典などの入力画面で《枠数》ボタンにタッチして枠無し入力パッドに切り替えます。

2 手書きエリアにタッチペンで「clump」と書きます。

自動認識の場合、ペンを離して1 ～ 2秒で認識され、候補の文字が入力文字表示エリアに入ります。
手動認識の場合は､最後の文字を書いた後《認識》ボタンにタッチして認識させます。
長い単語は12文字ごとに《採用》ボタンにタッチしてコンテンツの入力欄に移します。

3 正しく認識されたら《採用》ボタンにタッチしてコンテンツの入力欄に移します。

4 もし、正しく認識されなかった場合は、次の方法で対応してください。

〈文字を入れ替える〉
認識した文字数が同じで、文字が違っているときは、違っている文字にタッチします。下段に候補の文字が表示されますので、正しい文字にタッチすると入れ替わります。

〈候補から選択する〉
認識した文字数が違っている（文字も違う）ようなときは、文字の区切りが正しく認識されていません。このときは《別候補》ボタンにタッチし、下段に表示される候補から、正しいスペルの語を選択します。

〓参考〓
＊ 候補にないときは《書き直し》ボタンにタッチして候補を消し、もう一度、手書きしてください。

【手書き入力のご注意】

＊自動認識の場合、文字は途中で止めないで速やかに書く。
　文字を書いて手書きパッドからペンを離すと、約1秒後に認識が行われます。ただし、英字や漢字など、文字によって認識が行なわれる時間は異なります。
　早く認識させたいときは《認識》ボタンで認識させてください。

　★自動認識の場合、文字を書いている途中でペンを離して間をおくと、文字を書き終わったものとみなして認識しますので、途中で止めないで速やかに書いてください。
　また、印刷している文字を確認しながら書く場合は《自動/手動》ボタンで手動認識に設定し、文字を書き終えてから《認識》ボタンにタッチして認識させてください。

＊漢字や仮名は楷書で1字ずつ、はねのある字は最後のはねまで丁寧に書く。　行書など続け字は認識されない場合があります。
＊数字や文字などは１字ずつ書いて認識させる。
　１つの枠に数字を2桁以上書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。
＊文字は手書きエリア（枠）内からはみ出さない範囲で、大きく書く。
　ただし、仮名の小さい文字は、小さく書いてください。
＊なるべく正しい筆順で書く。
＊文字の1画（線）が途切れないように書く。
＊文字が傾きすぎないように書く。
＊はねやかざりをつけすぎないように書く。

枠無し入力パッドでの手書き入力のご注意

＊英字はブロック体で書き、線の端に飾りなどを付けない。
＊英字は1字ずつ離して書く。続けて書くと正しく認識されません。
＊英字は1字ずつ書く。前の文字に戻って線や点を追加することはできません。
＊単語などは1行で書く。2行で書くことはできません。

〓参考〓

手書きパッドで認識する文字について

＊日本語はJIS X 0213-2004に基づくJIS第一水準〜第四水準、およびJIS X 0212-1990に基づく補助漢字を認識します。「JIS X 0213」の改定前の漢字と改定後の漢字の字形が異なる場合、どちらで書いても改定後の漢字と認識します（例：“祇”と書いても“祇”と認識します）。

＊中国語は簡体字GB2312に準拠の漢字を認識します。ピンインを手書きで入力することはできません。

＊ハングル（韓国語）はKSC5601に準拠の字を認識します。「○」（ieung）が認識されにくい場合は、○の部分を左回りで書いてください。

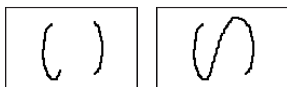
★手書き入力で辞書を引くときのご注意★

JIS第１〜第４水準の漢字に対応している辞書は「漢字源」のみです。

本製品の手書きパッドは、JIS第１〜第４水準の漢字を手書き入力で認識しますが、「漢字源」以外の辞書はJIS第３・第４水準に対応していないため、検索できない場合があります。

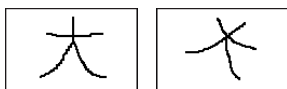
手書き認識について

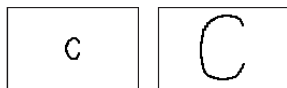
手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

●続け字にならないように（画数がはっきりとわかるように）書きます。

良い例　悪い例

●崩さず、ていねいに書きます。

良い例　悪い例

●あまり傾かないように書きます。

良い例　悪い例

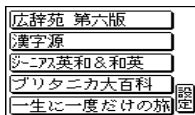
●１枠入力パッド、２枠入力パッドでは、「C」と「c」など大文字と小文字が同じような文字は、区別がつきやすいように、小文字を小さく書きます。

小文字　大文字

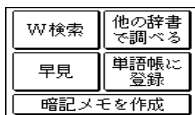
「っ」などの小さい文字も小さく書きます。

小さい「っ」　大きい「つ」

手書きパッドの他の機能

手書きパッドは、手書き入力以外にも状況に応じて機能が切り替わります。下記に主に表示される画面を示します。

●My辞書画面

My辞書に設定されているコンテンツ名が表示されます。コンテンツ名にタッチすると、そのコンテンツの画面が表示されるので、よく使うコンテンツを登録して利用します。
《設定》ボタンにタッチするとMy辞書の設定画面が表示されます（☞「よく使うコンテンツはMy辞書に登録」）。

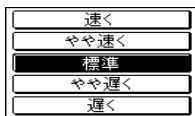
●詳細画面操作画面

コンテンツの詳細画面で表示されます。
それぞれタッチすれば、機能を利用することができます。
なお、画面によって利用できない機能は薄く表示されます。

●暗記メモ作成画面

手書き暗記メモを入力するときに表示されます。

●数字入力画面

数字を入力する場面で表示されます。
場面に合わせて少しずつ違った画面が表示されます。

●再生速度設定画面

音声など、再生速度が変えられるときに表示されます。

この他にも設定画面や選択画面などが表示されます。

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると2種類になります。

文字を入力して調べる

- 見出し語や、その読み、スペルなど、文字を入力して言葉を調べます。
  一般的には文字を入力していくと、その文字が先頭に含まれる見出し語を検索してリスト（一覧）表示します。リストから目的の語を選んで、説明内容などを見ます。
- 広辞苑の逆引きや“？”“～”を用いた検索、複数の検索語を入力して行う検索などでは文字を入力した後[検索/決定]を押して検索を行います。

リストの項目を選んで調べる

リストから項目を選んでいって目的の言葉などを調べます。

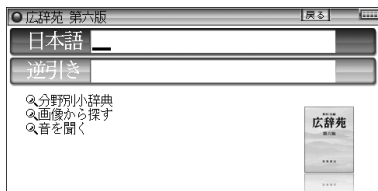
〓参考〓

＊テストなどを行う場合は操作が異なりますので、それぞれのコンテンツの説明を参照してください。

文字を入力して調べる

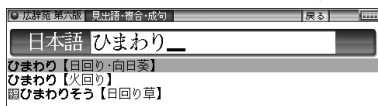
【例1】広辞苑で「ひまわり」を調べる

1 [辞書メニュー]を押し「国語I」から「広辞苑 第六版」を選びます。

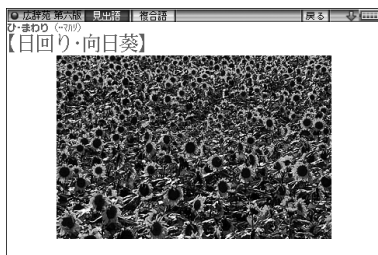
日本語入力欄にカーソルが表示されます。

2 日本語入力欄に「ひまわり」と入れます。

入力した文字を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されま

す（1字入力ごとに候補が絞りこまれます）。

広辞苑 第六版 見出語・複合・成句 戻る
日本語 ひまわり
ひまわり【日回り・向日葵】
ひまわり【火回り】
複ひまわりそう【日回り草】

- 漢字は手書き入力します。

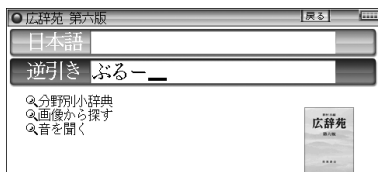
3 [▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

- 画面右上に"⇩""⇧"が表示されているときは、そこにタッチまたは[∨][∧]や[▼][▲]で画面を送って隠れている内容を確認します。
- [戻る]を押すと前の画面に戻ります。
- [機能][戻る](リスト)と押すと辞書順（収録順）リスト表示になります。

【例2】広辞苑の逆引きで後ろに「ブルー」が付く語を調べる

1 [辞書メニュー]を押し「国語I」から「広辞苑 第六版」を選びます。

2 [▼]で逆引き入力欄を選び、「ぶるー」と入れます。

（逆引き入力欄はタッチして選ぶこともできます。）

3 [検索/決定]を押します。

「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。

4 [▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します。

（目的の語に2回タッチします。）

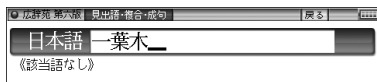
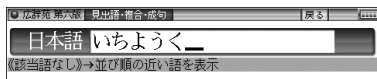
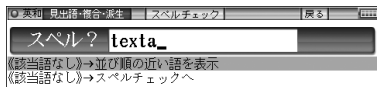
詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

新しい言葉を引くときは

[クリア]を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。
詳細画面では、キーで文字を入れると入力画面に戻りますので、読みなどを入れます。

中国語(簡体字)や日本文字、スペルを入力中に候補がなくなると

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

(1)広辞苑の例
（中国語、日本語の漢字、韓国語(ハングル)入力時）

(2)広辞苑の例
（仮名入力時）

(3)英和辞典の例

[戻る]を押したときは、入力画面に戻ります。
(2)、(3)の例で、[検索/決定]を押すと、50音順またはアルファベット順で、入力した仮名(読み)またはスペルよりも後の語がリスト表示されます。
(3)の例で、[▼][検索/決定]と押す(または[切替]を押す)とスペルチェック画面が表示されます。

【検索の種類】

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索　：文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭出し検索　　：入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索：入れた文字（単語）が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。

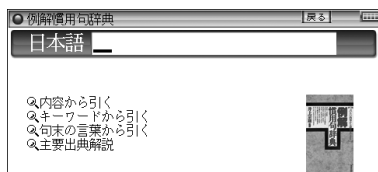
完全一致検索　：入れた文字と読みや見出し語、またはスペルが完全に一致する語を探します。一括検索で用いられます。

〓参考〓

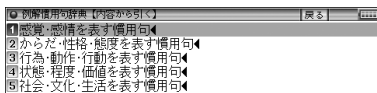
＊検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

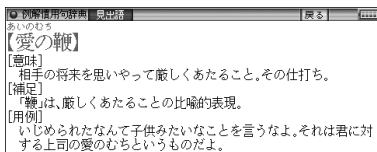
リストの項目を選んで調べる

【例】慣用句辞典で調べる

1 ［辞書メニュー］を押し、「国語Ⅱ」から「例解慣用句辞典」を選びます。

2 ［▼］、［▲］で項目（例えば「内容から引く」）を選び［検索/決定］を押します。
（または選びたい項目にタッチします。）

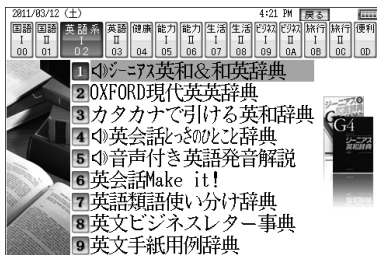
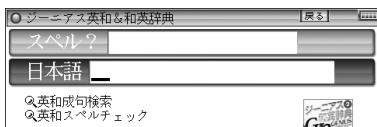
リストが表示されます。

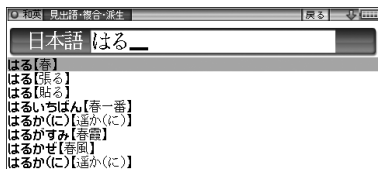
例解慣用句辞典【内容から引く】 戻る
1 感覚・感情を表す慣用句◀
2 からだ・性格・態度を表す慣用句◀
3 行為・動作・行動を表す慣用句◀
4 状態・程度・価値を表す慣用句◀
5 社会・文化・生活を表す慣用句◀

- 後ろに◀がある項目を選ぶと、もう一段リストが表示されます。

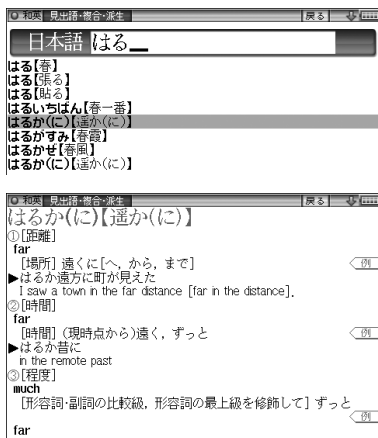
3 手順2と同様にリストの項目を選んでいき目的の言葉を表示させます。

タッチ操作で辞書を引く

メイン画面（メイン表示）のタッチ操作で辞書を引く場合の基本的な流れを示します。

【例】ジーニアス和英辞典で調べる

1 [辞書メニュー]を押し、分類メニューの「英語Ⅰ」をタッチして選びます。

2 個別メニューの「ジーニアス英和＆和英辞典」をタッチして選び、日本語入力欄をタッチして選びます。

3 手書きパッドなどから、検索する文字を入力します。

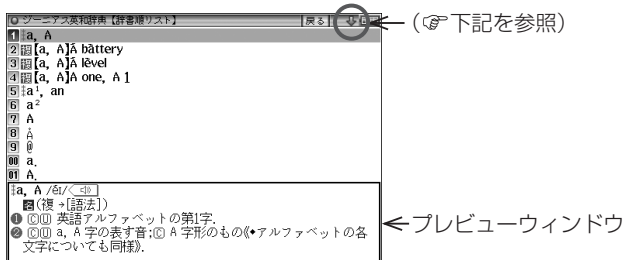
候補がリスト表示されます。

4 表示させたい候補の語に２回タッチします。

詳細画面に説明などが表示されます。

- 画面右上に⇩や⇧が表示されているときは、これらのシンボルにタッチして画面（内容）を送ることができます。
- 画面右上の 戻る にタッチすれば前の画面に戻ります。

項目の選択と画面送り

リスト表示画面などでの項目の選択と画面送り

英和辞典や広辞苑などの辞書の最初の画面で何も入力せずに[検索/決定]を押すと、リスト(一覧表示)画面が表示されます。ここでは例として、[英和/和英] [検索/決定]と押し、英和辞典のリスト画面を表示させています。

リスト画面(見出し語(辞書順)リスト)

各項目(各語)を選択する方法

[▼]、[▲]でカーソル(青い線)を目的の項目へ移動させて[検索/決定]を押す。または目的の項目に2回タッチします。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“⇩”や“⇧”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

(1) [▼]、[▲]でカーソルを1行ずつ移動させていくと、最下(上)行以降は画面が1行分ずつ送られます。

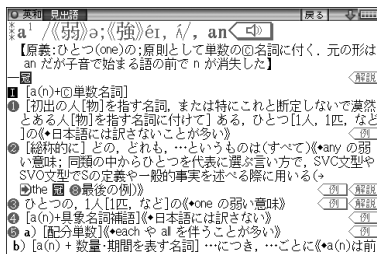
(2) [∨]、[∧]で1画面分ずつ送られます。
なお、“⇩”や“⇧”にタッチした場合も、1画面分ずつ送られます。

- 上記キーを押したままにすると、連続して画面が送られます(画面タッチを除く)。

詳細画面などでの画面送り

先のリスト画面で、[▼]で「a¹, an」を選び[検索/決定]を押してください（または「a¹, an」に2回タッチします）。

「a¹, an」（見出し語）の詳細画面が表示されます。

詳細画面（１件表示画面）

次（前）の見出し語の内容を見る

[機能][∨]（次見出）、[機能][∧]（前見出）と押すと、並び順で次または前の見出し語などが表示されます。

オートスクロール機能での自動画面送り

[▼]、[▲]や[∨]、[∧]で画面を送っていく代わりに、自動的に画面を送ることもできます。
"⇩" シンボルが表示されている画面で、[機能][▼]（スクロール）と押すと、自動的に画面（カーソル）が順方向に送られていきます。送られている方向と逆向きの[∧]または[∨]を押すと、送り方向を変更することができます。
また、送り方向と同じ向きの[∨]または[∧]を押すとスピードが速くなり、もう一度押すと元の速さに戻ります。
目的の語や内容が表示されたときは[▼]を押して自動送りを止めます。

画面表示を変える

文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で[文字小]、[文字大]を押すと表示される文字の大きさが、次のように切り替わります。

詳細画面（国語系）：9←→12←→16←→24←→48ドット文字
詳細画面（英語系）：9←→12←→16←→24ドット文字
リスト画面　　　　：9←→12←→16ドット文字

〓参考〓

＊コンテンツや画面によっては、文字サイズを切り替えられない場合や、切り替えられるサイズの範囲が異なる場合があります。

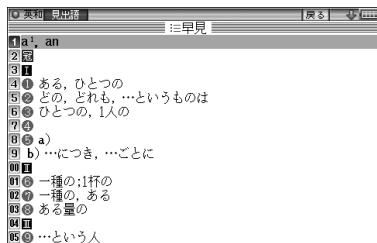
詳細画面を箇条書きで見る（早見機能を使う）

早見機能は、コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを箇条書きで表示させることができます。

【例】英和辞典の画面で早見機能を使ってみましょう。

1 [英和/和英] [検索/決定] と押し、[▼]で「a[1], an」を選んで[検索/決定] を押し、英和辞典の詳細画面にします。

2 詳細画面で手書きパッドの《早見》にタッチします。

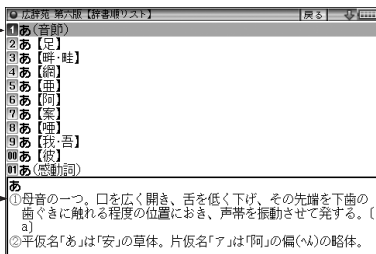
早見画面が表示されます。

3 [▼]、[▲] で見たい語（意味）を選び [検索/決定] を押します。（または見たい語（意味）に2回タッチします。）

選んだ語（意味）を先頭に表示した詳細画面が表示されます。

〓参考〓

＊コンテンツや画面によっては早見機能が使えない場合があります。

候補の言葉の意味を一部見る（プレビュー表示）

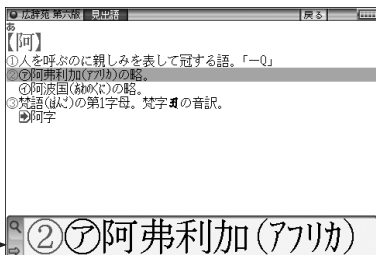
用語（候補）のリスト画面で、説明などの一部を見る機能です。例えば[広辞苑] [検索/決定]と押すと広辞苑の辞書順リストが表示され、先頭の言葉の説明の一部が下または右の窓（プレビューウィンドウ）に表示されます。もし、表示されないときは[機能] [切替]（プレビュー）と押してください。

- [▼]、[▲]（またはタッチ）でカーソルを別の語へ移すと、その語の説明などが表示されます。
- [機能] [切替]（プレビュー）と押すごとに、プレビュー表示の「入（下表示）」「入（右表示）」「切（なし）」が切り替わります。

〓参考〓

＊漢字源や、タイトルなどの項目を選んでいく形式のリスト画面、窓（ウィンドウ）に表示されるリスト画面などではプレビュー表示は行われません。

文字を1行ごとに拡大して見る（ズーム機能）

例えば広辞苑などの詳細画面で[機能] [文字大]（ズーム）と押してください。画面下にズームウィンドウ（窓）が表示され、対象行の文字が最大の文字サイズで表示されます。[▼]、[▲]で（またはタッチして）行を選び、[▶]、[◀]で左右に送って見たいところを表示させます。

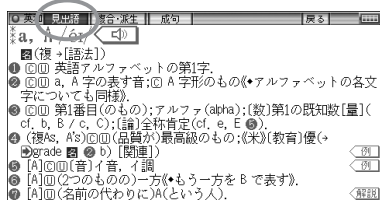
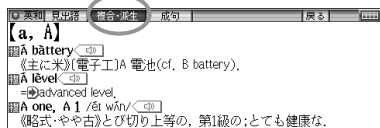
広辞苑 第六版 見出語 戻る
あ
【阿】
①人を呼ぶのに親しみを表して冠する語。「—Q」
②㋐阿弗利加（アフリカ）の略。
㋑阿波国（あわのくに）の略。
③梵語（ぼんご）の第1字母。梵字の音訳。
➡阿字
ズームウィンドウ→ ②㋐阿弗利加（アフリカ）

- ズームウィンドウ内は "➡"、"⬅" シンボルの表示に従って[▶]、[◀]で、またはシンボルにタッチして1文字ずつ左右に送ることができます。
  また[▼]、[▲]で1行ずつ送ることができます。
- ウィンドウを閉じるときは[戻る]を押します。

〓参考〓

＊ズーム機能はコンテンツによって、使える場合と使えない場合があります。

画面に複数の▭（タブ）が表示されたとき

英和辞典などでは詳細画面の上部に▭マーク（タブ）が表示され、現在の表示の種類（見出語など）を示します。
タブが複数表示されているときは、関連する内容があることを示し、[切替]を押して、またはタブにタッチして切り替え、内容を見ることができます。

ここでは例として、[英和/和英] [検索/決定] [検索/決定]と押し、英和辞典の詳細画面を表示させています。

画面に ◁▭ マークが表示されたとき

◁▭ 型マークは下記の種類があり、関連する例文や解説、コラム（NOTE）、図、表、動画が収録されていることを示します。このマークが表示されている画面で [例/解説] を押すとマークが反転表示になります（マークにタッチしたときは収録されている内容が表示されます）。
マークが複数あるときは[▼]、[▲]、[▶]、[◀]で反転表示を調べたいマークに移します。[検索/決定] を押すと、収録されている内容が表示されます。

- 例や解説を表示させた後、[▶] や [◀]で違う例や解説を順番に表示させることができます（例や解説マークが複数あるとき）。
- 図や表を表示させた後、違う図や表を表示させるときは [戻る] で図などを閉じて、マークを選び直します（図や表マークが複数あるとき）。

終了するときは[戻る]を2回押します。

マークの種類と、表示されるコンテンツ例

◁例、◁解説 ：英和辞典、和英辞典など
◁NOTE ：英英辞典
◁図 ：漢字源、血液サラサラ健康事典など
◁表 ：家庭の医学など
◁動画 ：ブリタニカなど
◁🔈（音声マーク）は後の項をご覧ください。

【例1】英和辞典の画面で例や解説を見ます。

1 [英和/和英] [検索/決定] と押し、[▼]で「a¹, an」を選んで [検索/決定] を押し、英和辞典の詳細画面にします。

2 [例/解説] を押します。
マークが反転表示されます。

3 [▼]、[▲]、[▶]、[◀]でマークを選び、[検索/決定]を押します。

英和 見出語 戻る
a¹ /《弱》ə;《強》éɪ, ʌ́/, an
【原義:ひとつ(one)の;原則として単数のⓒ名詞に付く. 元の形は an だが子音で始まる語の前で n が消失した】
一冠 解説
[語法]
(1)[a と an] a は次の音が子音の場合, an は次の音が母音の場合に用いる. 詳しくは →an¹.
(2)[弱形と強形] 通例, 弱形/ə, ən/であるが, 次のような場合は強形/éɪ, ǽn/を用いる.
a) (演説などで)特に強調するとき:a/éɪ/ new nation (ひとつの)新しい国(家) / make á real effort 本腰を入れてがんばる / It's not a/ə/ good car, but it's a/éɪ/ car. いい車ではないが, 車ではある《◆常に強形とは限らない》.
b) the と対照的に用いるとき:I didn't write "a/éɪ/ pen," but "the /ðíː/ pen." a pen と書いたのではなく the pen と書いたのだ《◆

例/解説ウィンドウなど→

画面右上に"⇩"や"⇧"が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。[∨]、[∧]などで送って確認します。

4 別の例や解説があるときは[▶]や[◀]で表示させます。

5 終了するときは[戻る]を2回押します。

1回目でウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

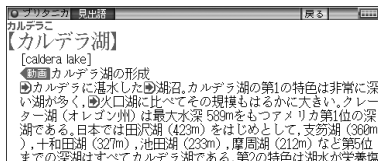
【例2】ブリタニカで動画を見ます。

1 [辞書メニュー]を押し「生活I」から「ブリタニカ国際大百科事典」を選びます。

2 「かるでらこ」と入れて[検索/決定]を押します。

3 [例/解説](動画)を押します。

動画 マークが反転表示になります。

ブリタニカ 見出語 戻る
カルデラこ
【カルデラ湖】
[caldera lake]
動画 カルデラ湖の形成
→カルデラに湛水した→湖沼。カルデラ湖の第1の特色は非常に深い湖が多く,→火口湖に比べてその規模もはるかに大きい。クレーター湖(オレゴン州)は最大水深 589mをもつアメリカ第1位の深湖である。日本では田沢湖(423m)をはじめとして,支笏湖(360m),十和田湖(327m),池田湖(233m),摩周湖(212m)など第5位までの深湖はすべてカルデラ湖である。第2の特色は湖水が栄養塩

4 [検索/決定]を押します。

動画の再生が開始されます。

- 表示されている〈動画〉にタッチしても、動画が再生されます。
- 動画再生中に[戻る]を押すと再生が停止します。
- 再生停止または終了後[戻る]を押すとマークの反転が解除されます。

〓参考〓

＊動画再生時に再生される音声の音量は[音量小]、[音量大]で調整できます。

音声を聞く

◆はじめに適正な音量に調整してください（☞下記）。

◁🔊 マークを表示する（音声を聞く）

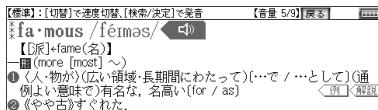
辞書メニューで🔊マーク付きのコンテンツは、MP3形式の音声データが収録されていて、その箇所が◁🔊マーク（音声マーク）で示されます（字幕リスニングのコンテンツを除く）。

【音声再生方法】

1 例えばジーニアス英和辞典で「famous」の詳細画面を表示させます。

◁🔊マークが、再生対象の語や文の後ろ等に表示されます。

2 [🔊読]を押してマークを反転表示（◀🔊）させ[検索/決定]を押します（またはマークにタッチします）。

音声が再生されます。

- 反転表示時（◀🔊）は[検索/決定]を押すたびに音声が再生されます。
- ◁🔊が複数あるときは[▼]、[▶]などで反転を目的のマークへ移して[検索/決定]を押します（または目的のマークにタッチします）。
- 再生を中止するときや、マークの反転を戻すときは[戻る]を押します。

〓参考〓

＊[🔊読]を押すと音声再生が始まる場合もあります。

＊◁🔊や英単語などが反転（☞次項）しているときは一度音声を再生した後、[切替]（または手書きパッド）で音声の再生速度を切り替えることができます。

＊イヤホンを使用するときは「イヤホンで音声を聞くときは」を参照してください。

音量を調整する

- マーク反転表示（🔈）時に[音量小]、[音量大]で調整します。音量を上げすぎるとスピーカーやイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。

★注意★

＊スピーカーで聞くときは
MP3データはコンテンツによって音の大きさが異なります。
スピーカーで聞いたとき、音量調整を大きくしても音が小さい／音が歪む場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

MP3形式の音声データは各国のネイティブスピーカー（native speaker）の音声を収録しています。「百人一首」などでは日本語音声データを収録しています。「広辞苑 第六版」は日本民謡やクラシック音楽（一部）、鳥の鳴き声を収録しています。

音声が聞けるのは･･･
前記の音声再生、および後に説明の合成音声（TTS）による音声読み上げにより音声を聞くことができます。また、ダウンロードコンテンツなどに音声データが含まれている場合は音声を再生して聞くことができます。

英単語をネイティブの発音で聞く

各コンテンツの詳細画面に表示されている英単語などをジーニアス英和辞典の音声データを利用して発音させることができます。

〈キーで操作する場合〉

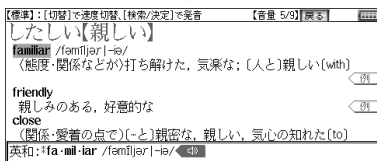
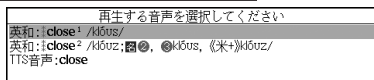
1 和英辞典などで詳細画面を表示させます。

例えば[英和/和英]を押し、日本語入力欄に「したしい」と入れ、[検索/決定]を押して詳細画面にします。

2 [🔊]を押します。

先頭の英単語などにカーソルが表示されます。（🔊 マークがあるとマークが反転表示されます。）

3 発音させたい単語にカーソルを移し[検索/決定]を押します。

英和辞典が参照され、ウィンドウに候補が表示されます。（次の例では音声も再生されます。）

- 音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは
  上の例のように、自動的に音声を再生します。
- 英単語などが複数見つかったときは

  音声の選択ウィンドウに表示される候補を選び[検索/決定]を押すと音声が再生されます。
- 音声再生を途中で止めるときや、画面を戻るときは[戻る]を押します。
- ネイティブ音声データが収録されていない英単語が見つかったときは
  選択ウィンドウに「TTS音声:」と表示した候補が表示されます。その候補を選んで[検索/決定]を押すとTTS音声で読み上げられます。

〓参考〓

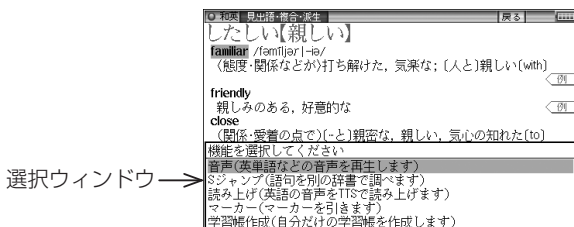
＊TTS音声により、単語などが読み上げられているときは、画面右上に TTS シンボルが表示されます。

〈画面タッチで操作する場合〉

1 和英辞典などで詳細画面を表示させます。

先の説明と同様、したしい【親しい】の詳細画面にします。

2 発音させたい単語にタッチします。

単語が選ばれ、機能の選択ウィンドウが表示されます。

3 実行する機能「音声（英単語などの音声を再生します）」にタッチします。

〈キーで操作する場合〉の手順３の後の画面と動作になります。

- 英単語が複数見つかった場合は、選択ウィンドウに候補が表示されます。その候補にタッチすれば音声が再生されます。

〓参考〓

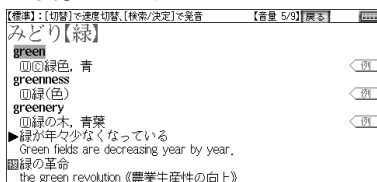
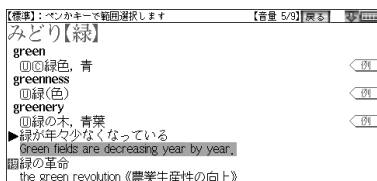
＊先に[🔊話]が押されて単語が反転している（カーソルが表示されている）ときは、手順2で単語にタッチしても機能の選択ウィンドウは表示されません。

英語例文などの読み上げ（TTSでの音声読み上げ）

多くの収録コンテンツで、表示される英単語や英語例文、数字などをTTS（Text To Speech：合成音声）で読み上げさせることができます。

範囲を指定して読み上げさせる

1 例えば和英辞典などの詳細画面で[機能][🔊読]（読み上げ）と押します。

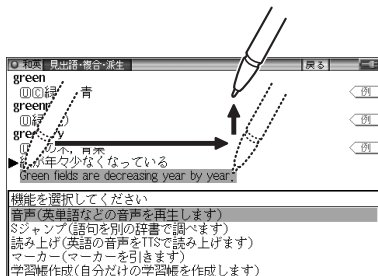
■カーソルが表示されます。

2 [▼]、[▶]などでカーソルを読み上げたい範囲の先頭の単語へ移して[検索/決定]を押し、[▶]でカーソルをのばして範囲を指定します。

3 [検索/決定]を押します。

範囲指定した文が読み上げられます。

- 再生中に[戻る]を押すと再生が中止されます。読み上げ終了後に[戻る]を1回押すと範囲指定が解除され、もう1回押すと■カーソルが消えます。

〈画面タッチで操作する場合〉

詳細画面で読み上げさせたい範囲の先頭から最後の単語までドラッグして、画面からペンを離します。

実行する機能の選択ウィンドウが表示されます。

実行する機能「読み上げ（英語の音声をTTSで‥‥）」にタッチします。範囲指定した文が読み上げられます。

〓参考〓

＊範囲指定できるのは、半角のアルファベット、数字です。それ以外の文字や記号があると、範囲を広げることができません。また、文末の改行を超えて範囲を広げることはできません。
なお、英文の途中にカッコで囲まれた部分がある場合、カッコで囲まれた部分を含んだ範囲を指定できる場合がありますが、カッコ内は発音しません。

＊選択できる範囲は画面に表示されている内容のみです。必要な文全体を画面に表示させてから範囲指定をしてください。

＊単語などの音声の再生速度は一度再生した後、[切替]や手書きパッドで切り替えることができます。

例文を読み上げさせる

1 詳細画面に 例 が表示されているときは[例/解説]を押し、[検索/決定]を押して例文を表示させます（または 例 にタッチします）。

2 [機能][🔊 読](読み上げ)と押します。

詳細画面に用例が表示され、■カーソルが表示されます。

3 ■カーソルを読み上げたい例文の例文マーク(¶)へ移し[検索/決定]を押します(または例文マークにタッチします)。

例文が読み上げられます。

- 読み上げ終了後[戻る]で前の画面に戻ります。

〓参考〓

＊例文内のカッコで囲まれた語は読み上げません。

＊前記の例では、〈例〉マークに例文が収録されている場合について説明しましたが、詳細画面の解説などの中に例文が収録されている場合は、手順1の操作は行いません。

例文を読み上げ可能なコンテンツと例文マーク

◆英語例文の読み上げ可能なコンテンツと、『　』内に例文マークを示します。

- 故事ことわざ辞典『英語』
- ジーニアス英和辞典、ジーニアス和英辞典『¶』
- OXFORD現代英英辞典『◇』
- 英会話とっさのひとこと辞典『・』、『▷』、『►』、『↔』、『→』
- 英会話Make it!『・』、『A:』、『B:』、『C:』
- 英語類語使い分け辞典『・』
- 使ってトクする英語　損する英語『○』、『◎』、『△』、『×』、『例:』
- TOEIC® テストの英文法『●』、『・』(「テストをする」は除く)
- デイリー日韓英・韓日英辞典『英』
- デイリー日中英・中日英辞典『英』
- 旅行会話『英』
- トラベル英会話『英』

TTSの読み上げ機能が働かないコンテンツ

◆次のコンテンツではTTSでの読み上げ機能は働きません。

- 漢検ドリル
- 英検トレーニング
- 新TOEIC®テスト 完全攻略

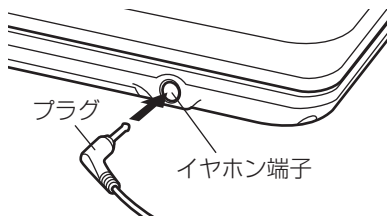
また、テスト機能があるコンテンツのテスト画面でも働きません。

TTSによる音声読み上げ機能について
TTSによる音声読み上げ機能は音声合成技術により英単語などを読み上げます(会話アシストでは、中国語も読み上げます)。
音声読み上げ機能は、英単語や英語例文および中国語などを一切の誤りなく読み上げることを保証するものではありません。
また、
- 英語以外(ドイツ語など)を読み上げた場合、英語と見なして読み上げるため発音は正しいものではありません。
- 同じつづりで意味合いにより発音が異なる語などは正しく発音されないことがあります。

なお、お客様または第三者が本機能の使用により生じた損害、逸失利益につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社および使用許諾権者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

イヤホンで音声を聞くときは

付属のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体左側面のイヤホン端子に接続します。

1 [入/切]を押して電子辞書の電源を切り、イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。

- プラグは奥まで完全に差し込んでください。
- プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。

2 電子辞書の電源を入れ、音声を再生させます。

- [音量小]、[音量大]で、適正な音量に調整してください。

〓参考〓

＊内蔵スピーカーで音声などを聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。

字幕リスニング機能を使う

字幕リスニング機能は会話文を音声で読み上げながら、その文章を表示させていく機能です。本機能対応コンテンツとして「英単語・熟語ダイアローグ1200」と「英語名演説・名せりふ集」を収録しています。（「字幕リスニング追加コンテンツを使う」も参照ください。）

【字幕リスニング再生をする】

1 [辞書メニュー]を押し、「英語Ⅱ」から「英単語・熟語ダイアローグ1200」を選んで[検索/決定]を押します。

再生方法の選択画面が表示されます。

前回のファイルを再生：前回再生していると濃く表示され、選択すると前回再生していた項目（ファイル）を再生します。

目次を表示：分類（フォルダ）、項目（ファイル）を選んでいって再生させます。

2 ここでは「目次を表示」を選び、[検索/決定]を押します。

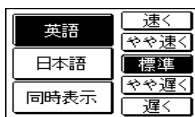
分類（フォルダ）の選択画面が表示されます。

3 分類（フォルダ）を選んで[検索/決定]を押し、再生したい項目（ファイル）を選んで[検索/決定]を押します。

選んだ項目（ファイル）が再生されます。

〓参考〓

＊音声再生される文がカラーの線で示され、1文単位で移動していきます。

＊再生中に再生速度を切り替えるときは、手書きパッドに表示されるボタンにタッチするか、[切替]を押します。

再生の操作

次のキーで再生時の操作をします。

[∧]：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。

[∨]：同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。

[◀]：再生中のデータを約10秒分戻って、または先頭から再生します。

[▶]：再生中のデータを約10秒分送って再生します。データの最後を超えるときは、「繰り返し再生を設定する」の設定に従った再生を行います。

[▲]：再生中のデータ（ファイル）内で、一文前に戻ります。ただし、文の再生開始から3秒を超えているときは、再度その文の先頭から再生します。

[▼]：再生中のデータ（ファイル）内で、一文次へ進みます。

[戻る]：再生を中止して、前の画面に戻ります。

[検索/決定]：再生の一時停止、解除を交互に行います。

- 画面の文にタッチすると、その文の先頭から再生します。

※1 繰り返し再生設定を「全ファイル（選択フォルダ内）」に設定している場合で、フォルダ内の先頭データ再生時は、並び順で最後のデータを再生します。

※2 繰り返し再生設定を「全ファイル（選択フォルダ内）」に設定している場合で、フォルダ内の最後のデータ再生時は、並び順で先頭のデータを再生します。

★注意★

＊ 再生中はオートパワーオフ機能が働きません。電池が消耗しますので、再生状態のままで放置しないでください。

【表示する言語を切り替える】

1 コンテンツ再生中に手書きパッドの《日本語》や《同時表示》などをタッチします。

タッチした表示画面に切り替わります。

日本語表示画面

英語・日本語同時表示画面

英単語・熟語ダイアローグ1200　【 標準 】【音量 5/9】戻る

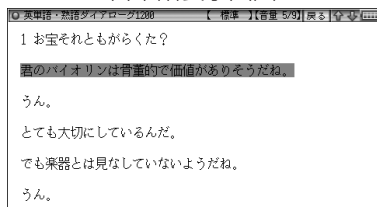
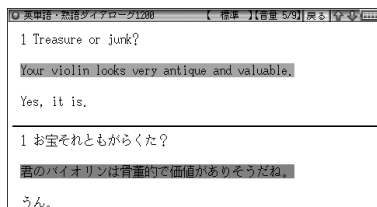
1 Treasure or junk?

Your violin looks very antique and valuable.

Yes, it is.

1 お宝それともがらくた？

君のバイオリンは骨董的で価値がありそうだね。

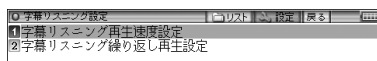
うん。

【再生速度を設定する】

字幕リスニングの再生速度を設定することができます。

1 字幕リスニングの各選択画面（リスト画面）で[切替]を押します（または〔設定〕タブにタッチします）。

字幕リスニング設定画面が表示されます。

字幕リスニング設定　リスト　設定　戻る

1 字幕リスニング再生速度設定

2 字幕リスニング繰り返し再生設定

2 「字幕リスニング再生速度設定」を選び［検索/決定］を押します。

再生速度設定画面が表示されます。

3 “✔”を設定したい項目へ移し［検索/決定］を押します（または画面の項目にタッチします）。

再生速度が設定され、字幕リスニング設定画面に戻ります。

4 [切替]を押して（〔リスト〕タブにタッチして）もとの選択画面（リスト画面）に戻ります。

【繰り返し再生を設定する】

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ	：繰り返し再生を行いません。 再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に、最後まで再生して終了します。
1ファイル	：再生を開始したデータ（ファイル）を繰り返し再生します。
全ファイル （選択フォルダ内）	：再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に繰り返し再生します。

1 先の字幕リスニング設定画面で「字幕リスニング繰り返し再生設定」を選び、[検索/決定]を押します。

繰り返し設定画面が表示されます。

2 "✔"を設定したい項目へ移し[検索/決定]を押します（または画面の項目にタッチします）。
繰り返し再生が設定され、字幕リスニング設定画面に戻ります。

3 [切替]を押して、もとの選択画面（リスト画面）に戻ります。

〓参考〓

＊字幕リスニングコンテンツはWebからダウンロードしてご購入いただき、本体またはカードに入れてご利用いただくことができます（「字幕リスニング追加コンテンツを使う」を参照）。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法を説明します。

読みやスペルの一部を省略して検索する

読みやスペルの一部を“？”（ワイルドカード）または“～”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

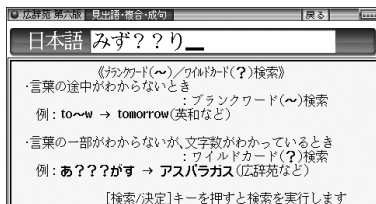
ワイルドカード：“？”は不明な文字の代わりに入力します。
（読み：最大12個、スペル：最大19個）
（例）「う？？？ざくら」「se????y」
「favo??b??」

ブランクワード：“～”は複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
（例）「う～ざくら」「se～y」「～men」

- “？”は[機能][X]（？）、“～”は[機能][Z]（～）と押して入れます。
- “？”は先頭に使えません。“～”は最後に使えません。
- “？”と“～”を同時に使うことはできません。

また、後述の「“？”、“～”が使えるコンテンツ」の入力画面および一括検索の入力画面で、次の場合に利用できます。

- 「日本語」入力欄、「読み」入力欄に入力する場合
  ただし、漢字を入力したときは利用できません。
  また、広辞苑の逆引き、分野別小辞典でも利用できません。
- 「スペル」入力欄に入力する場合
  ただし、スペルチェックや成句検索の入力画面では利用できません。
- デイリー日中英・中日英辞典の「ピンイン」入力欄に入力する場合

1 例えば広辞苑の入力画面で「みず??り」と入れます。

2 [検索/決定]を押して検索します。

該当する語がリスト表示されます。

3 [▼]、[▲]で目的の語を選択し[検索/決定]を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

“?”、“〜” が使えるコンテンツ

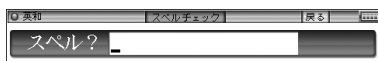
広辞苑(逆引、分野別除く)
類語新辞典
全訳古語辞典
パーソナルカタカナ語辞典
故事ことわざ&四字熟語辞典
例解 慣用句辞典
言葉の作法辞典
日本語の常識・非常識
ジーニアス英和辞典
ジーニアス和英辞典
OXFORD現代英英辞典
カタカナで引ける英和辞典
英語類語使い分け辞典
英文ビジネスレター事典
ブリタニカ国際大百科事典
日本史事典
世界史事典
合本 俳句歳時記
日経パソコン用語事典2010
デイリー日韓英・韓日英辞典(日本語検索のみ)
デイリー日中英・中日英辞典(日本語検索、ピンイン検索のみ)

スペルチェックをする

探したい単語のスペルがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

- スペルチェックは英和辞典と英英辞典でできますが、ここでは英和辞典を使って説明します。

1 [英和/和英]を押し、入力／選択画面で「英和スペルチェック」を選んで[検索/決定]を押します。

スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 単語のスペル（例：「skate」）を入れ[検索/決定]を押します。

検索が開始され、入力したスペルと一致した単語（該当語）、または類似した単語（候補）がリスト表示されます。

3 目的の単語（またはそう思われるもの）を選び[検索/決定]を押します。

詳細画面に意味などが表示されます。

〓参考〓

＊候補は、該当語を含めて最大100件まで検索されます。

＊「見つかりません」と表示される場合は入力したスペルなどを変更して、再度検索をしてみてください。

＊検索中に目的の単語を見つけたときは

- 検索中に[検索/決定]を押すと検索が一時止まります。その状態で表示されている候補を選び[検索/決定]を押すと、その意味などが表示されます。候補のリスト画面に戻るときは[戻る]を押します。検索を再開するときは候補のリスト画面で[戻る]を押します。
- 検索を中止するときは[クリア]を押します。

＊英和辞典、英英辞典は、それぞれ収録語・語数が異なるため、同じスペルでスペルチェックを行っても同じ結果が得られない場合があります。

複数の辞書を調べる（一括検索）

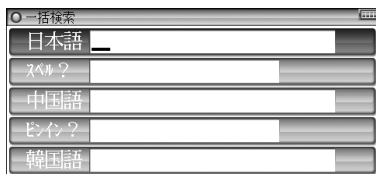
複数のコンテンツ（辞書など）から言葉を調べることができます。ピンイン以外は、入力中は1字ごとに候補を絞り込む絞り込み検索で探し、候補が多い場合などには、完全一致検索に切り替えて探すことができます。

- 日本語の読み（仮名）やスペルで検索するときは、“～” や “？” を使用することもできます。

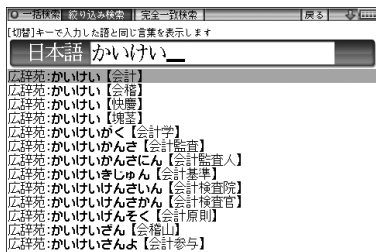
【例】「かいけい」を一括検索します。

この例ではプレビュー表示を「切」にして説明しています。

1 [一括検索]を押します。

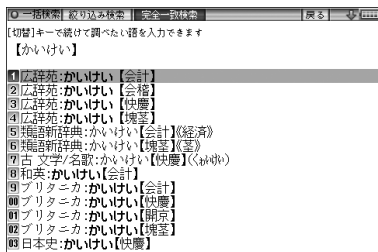
一括検索入力画面が表示されます。

入力する文字種に合わせて[▼]、[▲]で入力欄を選びます（またはタッチして選びます）。

2 日本語入力欄に「かいけい」を入れます。

候補が絞り込まれていきます。

日本語の漢字、中国語（簡体字）、韓国語（ハングル）は手書き入力します。

- ピンイン入力時は[検索/決定]で検索を行います。この場合、手順3の画面切り替えはできません。

3 完全一致検索で見るときは、[切替]を押します（または〔完全一致検索〕タブにタッチします）。

入力した文字と一致する見出し語がリスト表示されます。

- 入力文字の変更は[切替]で絞り込みの画面に戻って行います。

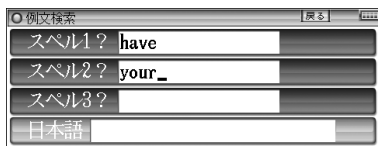
4 [▼]、[▲]で目的の語を選び[検索/決定]を押します。

辞書などの詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

英語の例文を検索する

1 [辞書メニュー]を押し「便利」（便利機能）から「例文検索」を選びます（または[機能][一括検索]（例文検索）と押します）。

入力画面が表示されます。

2 スペル入力欄または日本語入力欄に調べたい語を入れます。

- スペルを３語まで、または日本語を1語入れることができます。

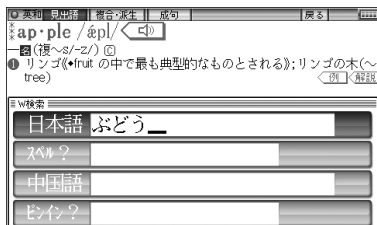
3 [検索/決定]を押します。

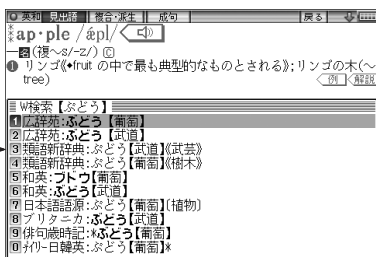
入力した語の例文がリスト表示されます。

詳細画面から別の語を調べる
（W検索を使う）

詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。

1 例えば英和辞典で「apple」の詳細画面を表示させ、手書きパッドの《W検索》にタッチします。
W検索ウィンドウが表示されます。

2 検索する言葉（例えば「ぶどう」）を入れます。

入力する文字種に合わせ、[▼]、[▲]またはタッチで入力欄を選んで入力します。

3 [検索/決定] を押します。
W検索ウィンドウに候補が表示されます。

4 [▼]、[▲]で表示させたい語を選び [検索/決定] を押します。
W検索ウィンドウに意味などが表示されます。

5 もう一度 [検索/決定] を押す（ウィンドウ内にタッチする）と、詳細画面が表示されます。

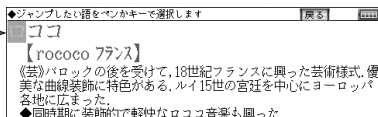
画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）

詳細画面に表示されている言葉を、コンテンツ間を飛び越えて調べます。

- 日本語の漢字、ひらがな、カタカナの語は、範囲指定して調べます。
- 英単語やジャンプマーク（➡）が示す語は、カーソルキーなどで選んで、またはタッチして調べることができます。

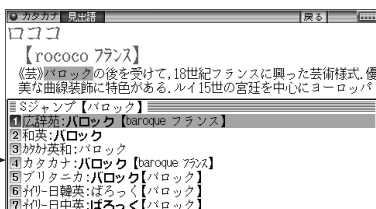
1 例えば［辞書メニュー］を押し、「国語Ⅰ」から「パーソナルカタカナ語辞典」を選んで「ロココ」と入れ［検索/決定］を押して詳細画面にします。

2 ［Sジャンプ］を押します。

■カーソルが表示されます。

3 調べたい語を選びます。

「バロック」を範囲指定する場合

- 先頭文字「バ」にカーソル“■”を移して［検索/決定］を押し、続いて［▶］で最後尾の文字「ク」までカーソルを移して［検索/決定］を押します（1文字の指定では最後尾へのカーソル移動は不要です）。
- タッチ操作では先頭の「バ」から最後尾の「ク」までをドラッグします。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

- 後述の「範囲指定について」も参照ください。
- 指定を解除するときは［戻る］や［クリア］を押します。

英単語や“➡”マークが示す語を指定する場合

カーソルをその語に移し[検索/決定]を押します。または、その語にタッチします。

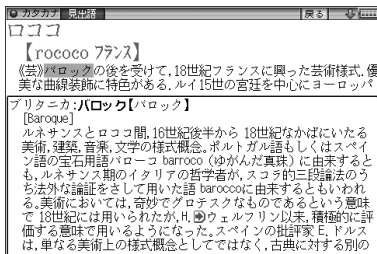
〓参考〓

＊テスト画面など、画面やコンテンツによりジャンプできないことがあります。

＊[Sジャンプ]を押さずにタッチやドラッグをしたときは、操作したい機能の選択ウィンドウが表示されます。「Sジャンプ(語句を別の辞書で調べます)」を選ぶとジャンプウィンドウが表示されます。

＊候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭に含む語(英単語は一致する語のみ)が表示されます。なお➡が示す語や、1語だけ一致するときはウィンドウに詳細画面が表示されます。

4 [▼]、[▲]で調べたいコンテンツを選び[検索/決定]を押します。

ジャンプウィンドウに説明などが表示されます。

画面右上に“⇩”や“⇧”が表示されているときは[∨]、[∧]、などでウィンドウ内を送ることができます。

5 [検索/決定]を押してジャンプし、選択した語の詳細画面にします。

コンテンツを指定してジャンプするには

- 手順3で調べたい語を選び[広辞苑]、[英和/和英]、[ブリタニカ]キーを押すと、そのコンテンツ(ジャンプ対象コンテンツ)のみが検索対象になります。

ジャンプについて

- ジャンプ先の画面で[クリア]を押すと、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、[戻る]で最大10回までは戻ることができます。10回を超えてジャンプを重ねた場合、11回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマーク"➡"のジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で"➡"マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。この場合ジャンプ候補は表示されません。

➡マークで示す語や英単語の選択

- 画面内に"➡"で示す語や、英単語が表示されている場合は[Sジャンプ]を押すたびに"■"カーソルが、後ろの"➡"で示す語や英単語へ移っていきます。
画面の最後の語までカーソルが移った後は1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。
行き過ぎたときは[▼]や[▲]でカーソルを戻してください。

範囲指定について

1 "■"カーソルが表示されている場合、漢字、ひらがな、カタカナが連続しているときに範囲指定できます。英字、数字、記号、マークなどがあると、そこで範囲指定は止まります。また、範囲指定できない文字、記号、マークなどからドラッグを始めると何も反応せず、範囲が指定されません。

2 "■"カーソルが表示されていない場合、ドラッグで範囲指定をした先頭に漢字、ひらがな、カタカナ、または英字があるとき、その文字列を対象にSジャンプができます。先頭にジャンプ対象外の数字、記号、マークなどがあると、使いたい機能の選択画面でSジャンプが選択できません。
なお、コンテンツによっては「･」(中点)などを含んだ文字列で複合語が検索できることもあります。
「･」などが検索語の対象になるかどうかは、上記1の操作で範囲指定できるかどうかで判断できます。

3 範囲指定をしているときは画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて表示されていることを確認してから操作をしてください。

注：XMDFコンテンツには、文字などを図形にして文章の中に配置している場合があります。そのような図形文字はジャンプの対象にならない「範囲指定できない文字」として扱われます。

詳細画面の見出し語を他の辞書で調べる

詳細画面に表示されている見出し語を他の辞書で調べることができるときは、手書きパッドに《他の辞書で調べる》ボタンが表示されます。

《他の辞書で調べる》にタッチすると検索が行われ、候補があればウィンドウが開いて候補のコンテンツなどが表示されます。[▼]、[▲]で候補を選んで[検索/決定]を押すと詳細画面が表示されます。

一度調べた語を再度調べたいとき（しおりを使う）

この製品では、一度調べた語は“しおり”として、各コンテンツで新しいものから100件まで自動的に記憶されます。もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト（一覧）表示から調べることができます。

1 調べたいコンテンツの画面で[しおり]を押します。

しおり表示画面に、新しく調べた語から順にリスト表示されます。

2 [▼]、[▲]などで目的の語を選び[検索/決定]を押します。

選択した語の詳細画面が表示されます。

〓参考〓

＊しおり機能があるコンテンツは、次ページのしおり削除画面で確認できます。

＊しおりの記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。
＊XMDFコンテンツのしおり機能は、ここでの説明と異なる場合がありますので、「電子ブックリーダーを使う」を参照ください。また、しおりがない場合もあります。

しおりを１件ずつ削除する方法

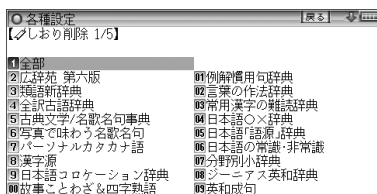
1 各コンテンツの画面で[しおり]を押し、しおり表示画面にします。

2 [▼]、[▲]などで削除したい語にカーソルを移し[後退]を押します。

3 削除の確認画面が表示されるので[Y]キーを押します。
選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

1 [Home]を押し「各種設定」を選びます。

2 [▼]、[▲]で「しおり削除」を選び[検索/決定]を押します。
しおり削除画面が表示されます。

● この画面は[∨][∧]で切り替えます。

3 [▼]、[▲]、[▶]、[◀]でしおりを削除するコンテンツ、または「全部」を選び[検索/決定]を押します。

4 削除の確認画面が表示されるので[Y]キーを押します。
選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

繰り返し見たい語を登録する
（単語帳・マーカーを使う）

繰り返し見たい語や覚えたい語などを「単語帳」に登録しておきます。

- 単語帳があるコンテンツは「コンテンツ一覧」で確認できます。

【単語帳に語を登録する】

1 登録したい語の詳細画面にします。

例えば英和辞典の画面で、「text」と入れて[検索/決定]を押します。

2 手書きパッドの《単語帳に登録》にタッチします。

詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 例文検索で検索した画面では上記操作で例文の前に“➡”が表示されますので[▼]、[▲]で登録したい例文を選択して[検索/決定]を押します。

〓参考〓

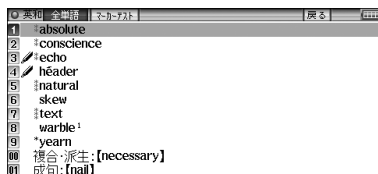
＊単語帳の詳細画面からは登録できません。

＊単語帳は各コンテンツで最大500件登録できます。なお、単語帳以外の詳細画面でマーカーを引いた場合、その語も単語帳に登録されます。

【各コンテンツの画面から、登録した語を見る】

1 見たい辞典などの画面（例えば英和辞典の入力／選択画面、詳細画面など）にします。

2 [機能][しおり]（単語帳）と押します。

単語帳リスト画面が表示されます。

3 [▼]、[▲] で目的の語を選び [検索/決定] を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

- データは各コンテンツと同様の順番、または登録順で並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

【コンテンツ一覧から、登録した語を見る】

登録した単語帳のデータをコンテンツ一覧から見ることができます。

1 [辞書メニュー] を押し「便利」（便利機能）から「すべての単語帳を見る」を選びます。

単語帳がある分類の一覧が表示されます。

〓参考〓

＊ [辞書メニュー] [機能] [しおり]（単語帳）と押しても、単語帳がある分類の一覧を表示させることができます。

2 [▼]、[▲] で目的の分類を選び [検索/決定] を押します。

選んだ分類のコンテンツ一覧が表示されます。

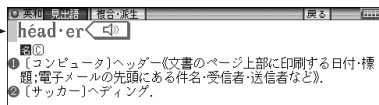
3 同様の操作で目的のコンテンツ、語を選び詳細画面を表示させます。

【覚えたい語句にマーカーを引く】

覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

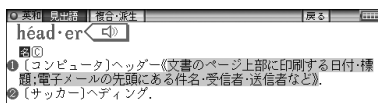
1 例えば英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。

2 [機能] [Sジャンプ]（マーカー）と押します。

カーソルが表示されます。

3 [▶]、[◀]などでカーソル "■" を先頭の文字「文」に移します。

4 必要に応じ、手書きパッドでマーカーの色（緑、黄、ピンク、オレンジ、紫）を選びます。
カーソルが選んだ色になります。

5 [検索/決定] を押します。

6 [▶]でカーソル "■" を最後尾の文字「ど」まで移します。（1文字の指定では、この操作は不要です。）

7 [検索/決定] を押します。

単語帳に登録した（またはマーカーを追加した）旨のメッセージが一時表示され、登録されます。

〓参考〓

＊マーカーの色は手順5で [検索/決定] を押すまでに選んでください。
＊マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
＊マーカーは1つのデータに10カ所まで引くことができます。
＊項目の終わり（改行）を超えてマーカーを引くことはできません。
＊今引いているマーカーを消したいときは [戻る] を押します。もう一度 [戻る] を押すと、カーソル "■" が消えます。

＊例文検索機能で探し出した例文は、いったん単語帳に登録し、そのあと単語帳の詳細画面に表示させてからマーカーを引きます。

登録したマーカーを消すときは

＊手順1～3と同様の手順でマーカーが引かれている文字にカーソルを移して[検索/決定]または[後退]を押し、メッセージに従って[Y]を押します。

1つのデータに引かれている全てのマーカーを消すときは

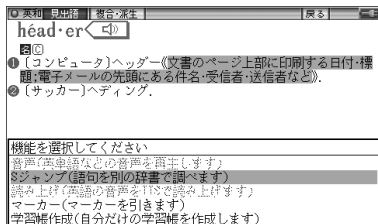
＊マーカーテストのリスト画面で、語を選んで[後退]を押し、表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って[Y]を押します。

コンテンツごとに、または全コンテンツのマーカーをまとめて消すときは

＊「マーカーだけをまとめて消去（削除）する方法」を参照ください。

〈画面タッチで操作する場合〉

1 例えば英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。

2 先頭文字「文」から最後尾の文字「ど」までドラッグします。
実行する機能の選択ウィンドウが表示されます。

3 実行する機能「マーカー（マーカーを引きます）」にタッチします。
マーカー色の選択ウィンドウが表示されます。

4 マーカーの色（緑、黄、ピンク、オレンジ、紫）を選びます。
マーカーが選択した色になり、単語帳に登録されます。

〓参考〓

登録したマーカーを消すときは

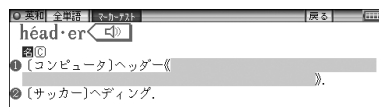
＊手順2で、マーカーが引かれている文字にタッチし、手順３を行います。
画面に表示されるマーカー削除の確認で〔[Y] はい〕にタッチします。

【マーカー部分を使ってテストをする】

覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

1 例えば英和辞典の入力画面などで[機能][Home](マーカーテスト)と押します。
マーカーテストリスト画面が表示されます。

- 単語帳リスト画面で、[切替]を押すか〔マーカーテスト〕タブにタッチしてもマーカーテストリスト画面が表示されます。

2 テストしたい語を選び[検索/決定]を押します。
マーカーを引いた箇所の文字が隠された詳細画面が表示されます。

3 隠されている内容を言います(または考えます)。

4 手書きパッドでマーカーの色を選ぶと、その色のマーカーで隠れている内容が表示されますので、言った(考えた)答えと一致しているか確認します。

- もう一度手書きパッドで同じ色を選ぶと表示された内容が隠れます。
- 手書きパッドの《全部表示》、《全部隠す》にタッチすれば、全てのマーカーが引かれている個所の内容を表示させたり、隠したりできます。

5 [戻る]でマーカーテストリスト画面に戻って、手順2〜4の操作で次の語のテストをします。

〓参考〓

＊単語帳の画面などで、前に“🖊”マークが表示されている語は、マーカーが付けられていることを示します。

【単語帳を削除（登録を解除）する方法】

単語帳は、1件ずつの削除、コンテンツ別にすべて削除、製品内のすべての削除ができます。単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。
ただし、削除した語にマーカーが引かれていた場合、そのマーカーは消去されます。

単語帳を1件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの画面で[機能] [しおり]（単語帳）と押して単語帳リスト画面を表示させます。

2 削除したい語にカーソルを移して[後退]を押します。

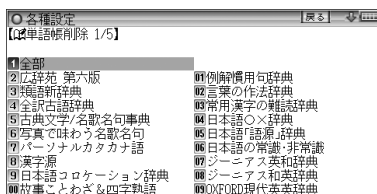
3 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

〓参考〓

＊単語帳の詳細画面で[後退]を押して削除することもできます。

単語帳をまとめて削除する方法

1 [Home]を押し「各種設定」を選びます。

2 [▼]、[▲]で「単語帳削除」を選び[検索/決定]を押します。

・画面は[∨] [∧]で切り替えます。

3 単語帳を削除するコンテンツなどを選び[検索/決定]を押します。

4 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

★注意★

＊電子ブックリーダーに追加したXMDFコンテンツの単語帳データ

は、カードまたは本体に記憶されます。これらの単語帳データを削除する場合は、上記の方法で「電子ブックリーダー(本体メモリー)」または「電子ブックリーダー(カード)」を選んで削除します。XMDFコンテンツごとに削除することはできません。

マーカーだけをまとめて消去(削除)する方法

1 [Home]を押し「各種設定」を選びます。

2 [▼]、[▲]で「マーカー削除」を選び[検索/決定]を押します。

3 マーカーを消去するコンテンツなどを選び[検索/決定]を押します。

4 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

〓参考〓

＊上記操作でマーカーは消去されますが、単語帳のデータは削除されません。

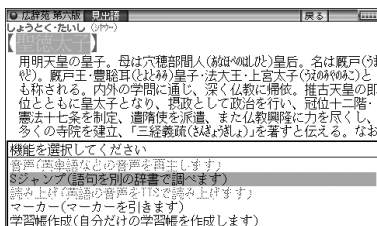
学習帳を作る・学習する

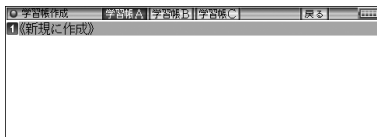
辞書内の言葉や説明を利用して学習帳を作成し、その内容で学習することができます。

【学習帳を作る】

学習帳は３つの分類「学習帳A」「学習帳B」「学習帳C」に分けて作成することができ、それぞれ500件まで登録できます。
1件のデータは、見出し語１語と内容を３項目まで登録できます。なお、各語・項目を一度に登録することはできませんので、必要な回数、繰り返して登録操作を行います。

1 コンテンツの詳細画面で、登録したい言葉または内容をドラッグして範囲指定します。

下段に機能選択ウィンドウが表示されます。

2 機能選択ウィンドウ内の〔学習帳作成〕にタッチします。

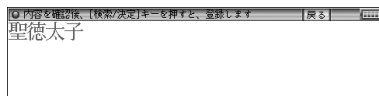
学習帳作成画面が表示されます。

3 分類は「学習帳A」が選ばれています。分類を選ぶ場合は画面上部の分類タブ（〔学習帳A〕、〔学習帳B〕、〔学習帳C〕）にタッチします。

4 画面の〔《新規に作成》〕にタッチします（または手書きパッドの《新規に作成》にタッチします）。

学習帳の入力画面が表示されます。

学習帳作成　戻る
見出語：【登録名001　】
分野　：☑学習帳A　□学習帳B　□学習帳C
内容1：【未登録　】
2：【未登録　】
3：【未登録　】

5 入力画面内の入力したい入力欄（例えば、見出語の【　】内）にタッチします。

登録内容の確認画面が表示されます。

- 見出し語を入力せずに内容欄にタッチしたときは、「登録名001」のように仮の見出し語が入ります。

6 内容を確認し、良ければ[検索/決定]を押して登録します。

登録した旨の一時表示をして、コンテンツの画面に戻ります。

7 同様の手順で他の項目も追加登録します。

手順4では〔《新規に作成》〕の代わりに、先に登録したデータの見出し語（上例では「聖徳太子」）にタッチして入力画面にします。
手順5では、入力したい入力欄の【　】内にタッチします。

- すでに入力されている入力欄にタッチすると、入れ替えの確認画面が表示されます。[Y]キーを押すと登録内容確認画面に進み、[N]キーを押すと入力画面に戻ります。

〓参考〓

＊内容①〜③には、別々のコンテンツの内容が登録できます。登録された内容の後ろには出典を示すコンテンツ名が表示されます。

＊見出し語入力欄には約64文字、内容入力欄にはそれぞれ約128文字まで入ります。
範囲指定した文字数が上記文字数を超えていると、超えた部分が切り捨てられて入力されます。

＊範囲指定した内容の中に➡や◁などのマークがあった場合、これらのマークは無視されて【　】内には入力されません。また、先頭のスペースも入力されません。特殊な文字・記号で範囲指定できないものも入力されません。

＊コンテンツカードで提供されるコンテンツの内容を利用することはできません。

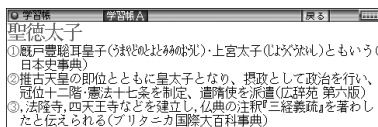
【学習帳の内容を見る/学習する】

1 [辞書メニュー]を押し「便利」(便利機能)から「学習帳」を選びます(または[機能][ブリタニカ](学習帳)と押します)。

学習帳の見出し語がリスト表示されます。

2 必要に応じて分類タブにタッチして分類を選びます。

3 見たい見出し語に1～2回タッチします。

詳細画面に内容が表示されますので、その内容を覚えます。

4 [機能][∨]、[機能][∧]で次や前の登録内容を表示させて覚えていきます。

- リスト表示や手順4で表示される順番は手書きパッドに表示される《新しい順》、《古い順》、《名前順》ボタンで切り替えることができます。
  「名前順」は見出し語の文字により次の順番になります。
  数字、英字、半角ひらがな・カタカナ、全角ひらがな・カタカナ、漢字など

【覚えたかどうかテストする】

1 上記手順3の前に、手書きパッドに表示される《非表示》ボタンにタッチします。

詳細画面で、内容が隠されて表示されるようになります。

2 詳細画面を表示させ、見出し語からその内容を考えて、紙に書くなどします。

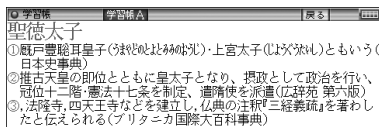
3 手書きパッドの《表示》ボタンにタッチして隠れている内容を表示させ、考えた（紙に書いた）内容が合っているかどうか確認します。

学習帳　学習帳A　戻る

聖徳太子

①厩戸豊聡耳皇子（うまやどのとよとみみのおうじ）・上宮太子（じょうぐうたいし）ともいう（日本史事典）

②推古天皇の即位とともに皇太子となり、摂政として政治を行い、冠位十二階・憲法十七条を制定、遣隋使を派遣（広辞苑 第六版）

③,法隆寺,四天王寺などを建立し,仏典の注釈『三経義疏』を著わしたと伝えられる（ブリタニカ国際大百科事典）

4 手書きパッドの《非表示》ボタンにタッチして内容を隠し、[機能][∨]で次の登録内容を表示させて、同様にテストします。

【学習帳を削除する】

学習帳を1件ずつ、または内容を削除する

1 削除したいデータを表示させます。リスト表示画面では削除したいデータを選びます。

2 手書きパッドに表示される《削除》ボタンにタッチします。

3 手書きパッドに表示される《1件データ削除》ボタンまたは削除したい内容のボタンにタッチします。

4 表示される削除確認画面を確認し、[Y]キーを押して削除します。

学習帳をまとめて削除する

1 [Home]を押し、「各種設定」を選びます。

2 [▼]、[▲]で「学習帳削除」を選び[検索/決定]を押します。

3 [▼]、[▲]で削除する学習帳（分類）を選び[検索/決定]を押します。

4 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

手書き暗記メモを使う

詳細画面に、重要な内容、覚えたい内容が表示されたとき、その画面をコピーし、手書きでコメントなどを書き込んで保存することができます。保存した内容は、必要なときに確認したり、内容を覚えるために利用できます。また、白紙の画面にメモを手書き入力して保存しておくこともできます。

【手書き暗記メモを登録する】

コンテンツの詳細画面から登録する

1 例えば英和辞典で「among」と入力し、詳細画面を表示させます。

2 手書きパッドの《暗記メモを作成》にタッチし、操作ガイドメッセージを確認後 [検索/決定] を押します。

3 手書きパッドで、書きこむ線の色と太さを選びます。

線または消しゴムの太さを選びます

書く線の色を選びます：緑／ピンク／青／黒

線を消すとき選びます：消しゴム

太／中／細

元に戻す：入力した内容を消去します

戻る：前の画面に戻ります

登録：手書き暗記メモが登録（保存）されます

4 タッチペンでメイン画面にメモしたいことを書きこみます。

5 手書きパッドの《登録》にタッチします。

メッセージが表示され、手書き暗記メモが登録されます。

〓参考〓

＊手書き暗記メモに書き込んだ内容は《登録》にタッチするまでは登録されません。

＊手書き暗記メモは100件まで登録できます。なお、カードへの登録はできません。

＊手書き暗記メモの画面では［🔊］(読み上げ)や［例］、［解説］などの機能は働きません。また、画面送りやスクロール、文字サイズの切り替えなどもできません。

＊手書き暗記メモを登録する前に《戻る》にタッチして作成を中止したときは各コンテンツの最初の画面に戻ります。

手書き暗記メモを新規に作成する

白紙の画面に覚えておきたいことを書き込んで登録することができます。

1 [Home]を押し「手書き暗記メモ」を選んで手書き暗記メモのリスト画面を表示させます。

2 手書きパッドの《新規》にタッチし、操作ガイドメッセージを確認後[検索/決定]を押します。

3 上記と同様の操作でメモを書いて登録します。

【手書き暗記メモを見る・編集する】

登録された手書き暗記メモを見たり、編集したりします。

1 [Home]を押し「手書き暗記メモ」を選びます。

手書き暗記メモのリスト表示画面が表示されます。

手書き暗記メモ　戻る

1	手書きメモ 002	2011/03/18 4:45 PM
2	手書きメモ 001	2011/03/18 4:45 PM
3	ジーニアス英和辞典:among	2011/03/15 3:30 PM
4	漢字源:宝	2011/03/15 3:30 PM
5	広辞苑 第六版:雨	2011/03/13 10:10 AM
6	広辞苑 第六版:晴れ・霽れ	2011/03/12 5:00 PM
7	広辞苑 第六版:雲	2011/03/12 5:00 PM

2 [▼]、[▲]で編集したい手書き暗記メモを選び、[検索/決定]を押します。

3 手書きパッドの《編集》にタッチし、操作ガイドメッセージを確認後、[検索/決定]を押します。

4 メモを書き直したり、追加したりします。

5 手書きパッドの《登録》にタッチし、登録方法などを選択します。

- 編集したファイルを上書きするときは《上書き保存》にタッチします。
- 編集したファイルを別ファイルとして新規保存するときは《新規登録》にタッチします。
- 編集に戻るときは《編集に戻る》にタッチします。
- リスト表示画面で表示される順番は手書きパッドに表示される《新しい順》、《古い順》、《名前順》ボタンで切り替えることができます。
  「名前順」は見出し語の文字により次の順番になります。
  数字、英字、半角ひらがな・カタカナ、全角ひらがな・カタカナ、漢字など

【手書き暗記メモを削除する】

手書き暗記メモは、1件ずつの削除、すべての削除ができます。手書き暗記メモを削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

手書き暗記メモを1件ずつ削除する

1 [Home]を押し、「手書き暗記メモ」を選び、削除したい手書き暗記メモを選びます。

2 手書きパッドの《削除》ボタンにタッチします。

3 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

手書き暗記メモをまとめて削除する

1 [Home]を押し、「各種設定」を選びます。

2 [▼]、[▲]で「手書き暗記メモ削除」を選び[検索/決定]を押します。

3 削除の確認画面で[Y]キーを押して削除します。

手紙文を作成する

「手紙文作成」は、質問に答えていくだけで手紙の文例を作成することができます。実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

1 [辞書メニュー]を押し「便利」(便利機能)から「手紙文作成」を選びます。

文例種類選択画面が表示されます。

注：画面のイラストは文例の種類を表すイメージとして使用しています。

2 文例の種類、タイトルを選び、それぞれ[検索/決定]を押します。

質問が表示されます。

3 答えを選び[検索/決定]を押すと、次の質問が表示されますので、順番に答えていきます。※

最後の質問に対する答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

※ 時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下に表示されるメッセージにしたがって[∨]、[∧]で採用する挨拶文を表示させ[検索/決定]を押して採用します。

〓参考〓

＊質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、[戻る]を押すと1つ前の質問に戻ります。

＊作成終了後、[クリア]を押すと文例種類選択画面に戻ります。

＊文例の中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文（文例）の保存は

作成した文例は「しおり」として、最新のものから100件まで記憶されます。

- 呼び出すときは

  手紙文作成の画面で[しおり]を押し、表示されるリスト（一覧）画面で、見たい文例のタイトルを選び[検索/決定]を押します。

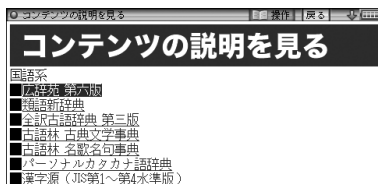
- 手紙文の作成を中止するときは

  手紙文作成中に[クリア]を押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止確認画面が表示されます。このとき、[Y]キーを押すと手紙文の作成が中止されます。[N]キーを押すと、手紙文作成の画面に戻ります。

コンテンツの説明を見る

収録されているコンテンツなどの凡例（編集要旨）などを収録しています。

1 [辞書メニュー] を押し「便利」（便利機能）から「コンテンツの説明を見る」を選びます。

コンテンツ等選択画面が表示されます。

2 コンテンツを選んで内容を見ていきます。

〓参考〓

＊本データはXMDFです。「電子ブックリーダーを使う」の「本を操作する」も参照ください。

＊各コンテンツ内のデータは一つに繋がっていて、各タイトル選択画面からタイトルを選択して見ることや、頭から通して見ることができます。
ただし、上記コンテンツ等選択画面に表示される項目はそれぞれ独立しています。

＊別のコンテンツの凡例などを見るときは、上記コンテンツ等選択画面に戻って選択します。各凡例などの画面で [クリア] を押すか、章の区切りに設けられている「■先頭へ」を選択すると上記の画面に戻ります。

＊説明の中などの下線が引かれている青い文字や、表の中の青い文字は、選択するとその項目位置へ移動できることを示しています。

カラー図鑑を見る

搭載コンテンツに収録されている写真や地図などから、画像や内容を探すことができます。

[Home]を押し「カラー図鑑(動画)」を選ぶと、カラー図鑑メニュー画面が表示されます(メニュー画面などで[機能][広辞苑](カラー図鑑)と押しても表示されます)。

このメニュー画面から、カラー図鑑を利用します。

● 動物図鑑、植物・昆虫図鑑の見かたは「動物図鑑/植物図鑑・昆虫図鑑」および「電子ブックリーダーを使う」の「本を操作する」をご覧ください。

画像から、説明内容を探す

1 上記の画面で「画像から探す」を選び、コンテンツ(例えば「広辞苑 第六版」)、分野(例えば「動物」)、見たい項目(例えば「鳥類1」)を選んでいき、画像を表示させます。

2 [∨][∧]や[▼][▲]で目的の画像を表示させます。

3 [検索/決定]を押し(画面にタッチし)、説明などを表示させます。

★注意★

＊「画像から探す」で表示される画像は、各コンテンツに含まれる画像の中から抜粋しています。すべてを表示することはできません。

動画を見る

1 先のカラー図鑑メニュー画面で「動画を見る」を選びます。
コンテンツ選択画面が表示されます。

2 [▼][▲]などでコンテンツを選び[検索/決定]を押します。

3 分類リストやタイトルリスト、写真リストなどで項目を選んでいき、動画を再生させます。

例：タイトルリスト画面

ブリタニカでは、この画面は表示されません。

サンプル動画について

「学習動画 [sample]」には学習コンテンツのサンプルが収録されています。このコンテンツは弊社コンテンツ購入サイト「ブレーンライブラリー」から、ダウンロードしてご購入いただけます。
なお、コンテンツの内容などのお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ベリタス・アカデミー
（運営会社：株式会社ユナイテッド・インテリジェンス）

〒559-0034　大阪市住之江区南港北 2-1-10
ATC ビル　ITM 棟　N-5
HP　：http://veritas.bz
MAIL：info@veritas.bz

動画再生の操作

次のキーで動画再生の操作をします。なお、（　）内に示すボタンは画面に表示され、タッチして使用します。

- ブリタニカ国際大百科事典の動画再生では停止操作のみが可能です。

[∧]（〔⏮〕）：再生中の動画の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと並びが前の動画※1を再生します。

[∨]（〔▶▶|〕）：同じタイトルリスト内の次の動画※2を再生します。

[◀]（〔◀◀〕）：再生中の動画を少し（約10秒分）戻って、または動画の先頭に戻って再生します。

[▶]（〔▶▶〕）：再生中の動画を少し（約10秒分）送って再生します。動画の最後を超えるときは「動画繰り返し再生設定」の設定に従って、次の動画の再生や同じ動画の再生を行います。

[戻る]（〔■〕）：再生を停止（終了）して、前の画面に戻ります。

[検索/決定]（〔❚❚〕/〔▶〕）：再生の一時停止、解除を交互に行います。

● コンテンツによっては、動画再生中の画面内にタッチすると、拡大表示（全画面表示）と標準表示が切り替わります。

※1 タイトルリスト画面の先頭の動画を再生しているときは、最後の動画を再生します。

※2 タイトルリスト画面の最後のデータを再生しているときは、先頭の動画を再生します。

【動画繰り返し再生を設定する】

次の繰り返し再生を設定することができます（ブリタニカ国際大百科事典の動画を除く）。

オフ　　　：繰り返し再生を行いません。再生を開始したタイトルリスト内の動画をリストで表示された順番に、最後まで再生して終了します。

1ファイル：再生を開始した動画を繰り返し再生します。

全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したタイトルリスト内の動画をリストで表示された順番に繰り返し再生します。

1 タイトルリスト画面で[切替]を押し（〔設定〕にタッチし）、「動画繰り返し再生設定」を選んで[検索/決定]を押します。

動画繰り返し再生設定画面になります。

2 “✔”を設定したい項目へ移し[検索/決定]を押します。

選択した繰り返し再生が設定され、前の画面に戻ります。

地図から探す（地図検索）

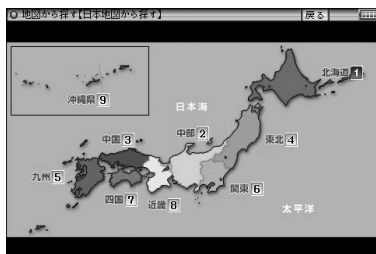
日本地図から、日本の世界遺産や都道府県情報などを調べることができます。
世界地図から、世界遺産を調べることができます。

◆ 地図検索対象コンテンツ
〈日本地図〉 • 日本の世界遺産 • 都道府県小事典
〈世界地図〉 • 世界遺産100選

1 カラー図鑑メニュー画面で「地図から探す」を選び [検索/決定] を押します。

検索する地図選択画面が表示されます。

2 検索する地図（例えば「日本地図から探す」）を選び [検索/決定] を押します。

地図（エリア選択画面）が表示されます。

3 [▶] などでエリア（例えば「近畿」）を選び [検索/決定] を押します。

県名や遺跡などの選択画面が表示されます。

• 画面タッチで地図上の項目を選ぶ場合は、数字にタッチしてください。

◆ 世界地図では、地図上のカーソルがある番号の遺跡名などが画面最下行に表示されます。手順5に進んでください。

4 日本地図では、県名など（例えば「京都府」）を選んで[検索/決定]を押します。

世界遺産などの名称選択画面（画像）が表示されます。

5 名称などを選んで（世界地図ではカーソルを番号に移して）[検索/決定]を押します。

詳細画面に写真や説明が表示されます。

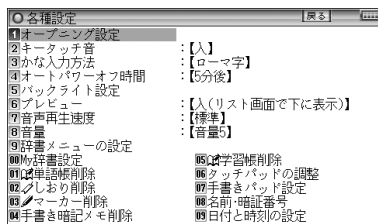
各種設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

1 [Home]を押し「各種設定」を選びます。

各種設定リスト画面が表示されます。

各種設定　戻る

1 オープニング設定
2 キータッチ音　：【入】
3 かな入力方法　：【ローマ字】
4 オートパワーオフ時間　：【5分後】
5 バックライト設定
6 プレビュー　：【入(リスト画面で下に表示)】
7 音声再生速度　：【標準】
8 音量　：【音量5】
9 辞書メニューの設定
00 My辞書設定
01 単語帳削除
02 しおり削除
03 マーカー削除
04 手書き暗記メモ削除
05 学習帳削除
06 タッチパッドの調整
07 手書きパッド設定
08 名前・暗証番号
09 日付と時刻の設定

2 [▼]、[▲]で各項目を選び[検索/決定]を押します。また、数字キーや画面タッチで選ぶこともできます。

設定や切り替えなどを行う画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。
例：各種設定リスト画面で「キータッチ音」を選びます。

● 次の機能のデータ削除については、それぞれの機能の説明の中で述べています。
- 単語帳削除（単語帳機能）
- しおり削除（しおり機能）
- マーカー削除（単語帳機能・マーカー機能）
- 手書き暗記メモ削除（手書き暗記メモ機能）
- 学習帳削除（学習帳機能）

〓参考〓

＊各種設定リスト画面からHome画面に戻るときは[戻る]を押します。

キータッチ音の入／切を設定する

キーを押したときや画面にタッチしたとき「ピッ」と鳴るキータッチ音の「入」、「切」を設定します。

1 各種設定リスト画面で「キータッチ音」を選び、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて「入」「切」を選び [検索/決定] を押します（または画面にタッチします）。

「入」「切」が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

かなの入力方法を設定する

かなの入力方法を「ローマ字かな入力」または「50音かな入力」に設定します。

1 各種設定リスト画面で「かな入力方法」を選び、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて入力方法を選び [検索/決定] を押します（または画面にタッチします）。

入力方法が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

オートパワーオフの時間を設定する

キー操作がないとき、自動的に電源が切れる時間を設定します。（初期状態では「5分後」に設定されています。）

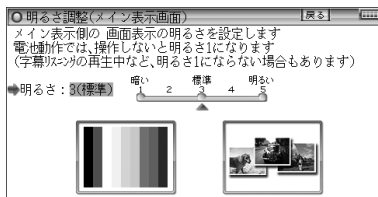
1 各種設定リスト画面で「オートパワーオフ時間」を選び、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて時間を選び [検索/決定] を押します（または画面にタッチします）。

時間が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

バックライト設定をする

メイン表示画面の明るさを調整する

1 各種設定リスト画面で「バックライト設定」を選び、「明るさ調整（メイン表示画面）」を選びます。

2 [◀][▶]や[1]～[5]キーで明るさを調整し[検索/決定]を押します（または画面のバーにタッチします）。

明るさが設定され、1画面戻ります。

減光時間を設定する

充電池で使用しているとき、一定時間キーの操作をしないと画面が“明るさ1”相当になります。この暗くなる（減光する）までの時間を切り替えることができます。

1 各種設定リスト画面で「バックライト設定」を選び、「減光時間設定（メイン表示画面）」を選びます。

2 [▼]、[▲]で“✔”を移動させて時間を選び[検索/決定]を押します（または画面にタッチします）。

時間が設定され、1画面戻ります。

〓参考〓

＊本バックライト設定は、手書きパッドのバックライトの設定は行えません。

プレビュー表示のありなしを設定する

プレビュー表示の入/切および表示位置を設定します。

1 各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で“✔”を移動させて表示位置または「切」を選び[検索/決定]を押します（または画面にタッチします）。

表示位置などが設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

音声の再生速度を設定する

音声再生の速さを切り替えます。

1 各種設定リスト画面で「音声再生速度」を選び、設定画面を表示させます。

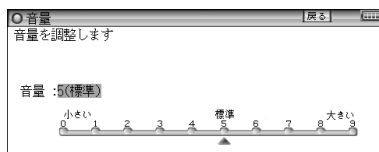
2 [▼]、[▲]で“✔”を移動させて速度を選び[検索/決定]を押します（または画面にタッチします）。

再生速度が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

音量を調整する

音声を再生できるコンテンツやMP3プレーヤー機能などの音量を調整します。

1 各種設定リスト画面で「音量」を選び、設定画面を表示させます。

音量調整画面が表示されます。

2 [▶]、[◀]で音量を選び[検索/決定]を押します（または画面のバーにタッチします）。

音量が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

〓参考〓

＊音声の再生画面で[音量大]、[音量小]を押して音量を調整することができます。

辞書メニューの設定

次の設定を行います。

1 辞書メニューの切り替え

標準メニュー　：出荷時（初期）のデザインの辞書メニュー画面です。

フォトメニュー　：出荷時（初期）の写真またはお客様が設定した写真を表示します（「フォトスライドで写真を見る」を参照）。

2 フォトメニューの写真を初期設定に戻す

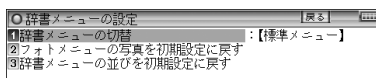
フォトメニューに表示される写真を出荷時（初期）の写真に戻します。

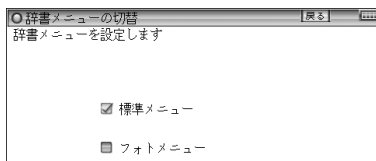
3 辞書メニューの並びを初期設定に戻す

（「辞書メニューをよく使う順番に並べ替える」を参照）

1 辞書メニューの切り替え

1 各種設定リスト画面で「辞書メニューの設定」を選び、[検索/決定]を押します。

辞書メニューの設定画面が表示されます。

2 「辞書メニューの切替」を選び[検索/決定]を押します。

辞書メニューの切替画面が表示されます。

3 [▼]、[▲]で"✔"を移動させて辞書メニューの種類を選び[検索/決定]を押します。

辞書メニューが設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

2 フォトメニューの写真を初期設定に戻す

1 辞書メニューの設定画面で「フォトメニューの写真を初期設定に戻す」を選び[検索/決定]を押します。

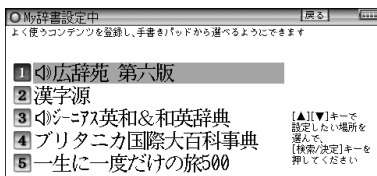
確認画面が表示されます。

2 [Y]キーを押します。

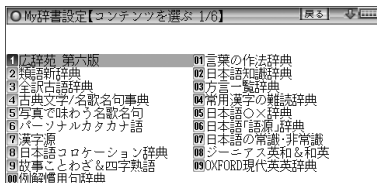
フォトメニューの写真が初期の写真に設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

よく使うコンテンツはMy辞書に登録（My辞書設定）

よく使うコンテンツを登録し、手書きパッドから選べるようにできます。

1 各種設定リスト画面で「My辞書設定」を選び[検索/決定]を押してMy辞書設定画面を表示させます。

- コンテンツを登録するときは、表示されている5コンテンツのどれかと入れ替えます。

2 [▼]、[▲]で、入れ替えるコンテンツ（例えば「ブリタニカ国際大百科事典」）を選び[検索/決定]を押します。

コンテンツ選択画面が表示されます。

3 [∨]、[∧]で登録したいコンテンツを探し、[▼]、[▶]などで選んで[検索/決定]を押します。

コンテンツが登録され、My辞書設定画面に戻ります。

- 続けて登録する場合は、手順2、3を繰り返します。

4 [Home]、[戻る]などを押して終了します。

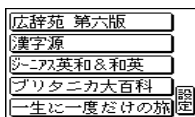
【コンテンツの登録を解除する】

1 登録の手順2で、解除したいコンテンツを選び[検索/決定]を押します。

2 [∨]を押して画面を送り、「(未登録に戻します)」の項目を表示させて選び[検索/決定]を押します。

選択したコンテンツの登録が解除され、My辞書設定画面に戻ります。

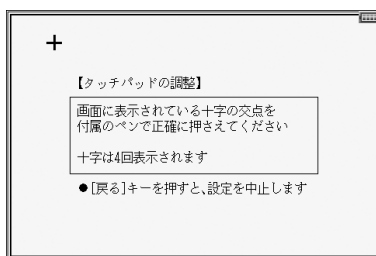
【My辞書を使う】

手書きパッドにMy辞書が表示されているとき、コンテンツ名にタッチしてコンテンツを選びます。

- 《設定》にタッチするとMy辞書設定画面が表示されます。

タッチパッド（メイン画面）の調整をする

タッチパッドは、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があり、このずれが小さくなるように調整します。

1 各種設定リスト画面で「タッチパッドの調整」を選び[検索/決定]を押します。

タッチパッドの調整画面が表示され、左上に ＋ マークが表示されます。

2 付属のタッチペンで、＋ マークの中心（線の交点）に正確にタッチして離します。

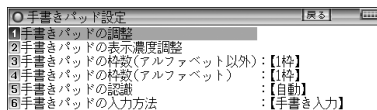
タッチして離すと別の所に ＋ が表示されるので同様にタッチします。＋ は4カ所に表示されます。調整が終わると各種設定リスト画面に戻ります。

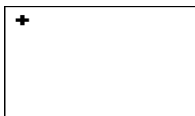
手書きパッドの設定をする

手書きパッドの位置調整をする

手書きパッドは、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があり、このずれが小さくなるように調整します。

1 各種設定リスト画面で「手書きパッド設定」を選び[検索/決定]を押します。

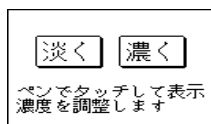
設定項目選択画面が表示されます。

2 [▼]、[▲]で「手書きパッドの調整」を選び[検索/決定]を押します。

手書きパッドに ＋ マークが一つ表示されます。

3 付属のタッチペンで、＋ マークの中心(線の交点)に正確にタッチして離します。

タッチして離すと別の所に ＋ が表示されるので同様にタッチします。＋ は4カ所に表示されます。調整が終わると各種設定リスト画面に戻ります。

手書きパッドの表示濃度を調整する

1 先の設定項目選択画面で「手書きパッドの表示濃度調整」を選び[検索/決定]を押します。

手書きパッドに濃度調整ボタンが表示されます。

2 手書きパッドの《淡く》、《濃く》ボタンにタッチ、または[▶]、[◀]キーで見やすい濃度に調整して[検索/決定]を押します。

手書きパッドの枠数（1枠、2枠、枠無し※）を設定する

※「枠無し」はアルファベットの手書き入力でのみ使用できます。

1 先の設定項目選択画面で「手書きパッドの枠数（アルファベット以外）」または「手書きパッドの枠数（アルファベット）」を選び[検索/決定]を押し、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて枠数を選び[検索/決定]を押します。

選択した項目が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

〓参考〓

＊手書きパッドの《枠数》ボタンでも切り替えられます。

手書き文字の認識方法（自動、手動）を設定する

1 先の設定項目選択画面で「手書きパッドの認識」を選び[検索/決定]を押し、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて認識方法を選び[検索/決定]を押します。

認識方法が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

〓参考〓

＊手書きパッドの《自動/手動》ボタンでも切り替えられます。

手書きパッドの入力方法（手書き入力、50音入力）を設定する

1 先の設定項目選択画面で「手書きパッドの入力方法」を選び[検索/決定]を押し、設定画面を表示させます。

2 [▼]、[▲]で "✔" を移動させて入力方法を選び[検索/決定]を押します。

入力方法が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

〓参考〓

＊手書きパッドの《手書/50音》ボタンでも切り替えられます。

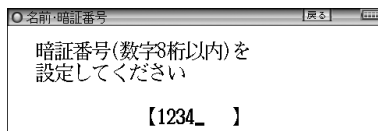
電子辞書に名前・暗証番号を登録する

まちがえて電子辞書を他人が使用しないように、ご自身の名前を登録し、電源を入れたときのオープニング画面として表示させることができます。また、MP3プレーヤー機能で、暗号化されたデータを再生するときに使用します。
名前は暗証番号(パスワード)で保護され、暗証番号が分からないと変更や消去ができません。

【暗証番号と名前を登録する】

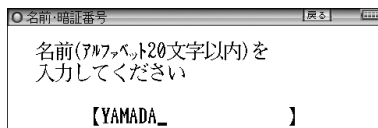
1 各種設定リスト画面で「名前·暗証番号」を選び [検索/決定] を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 数字で暗証番号(例えば「1234」)を入れます。

3 [検索/決定] を押します。

名前の入力画面が表示されます。

4 アルファベットで名前(例えば「YAMADA」)を入れます。

スペースや記号などは使えません。

5 [検索/決定] を押します。

登録が行われ、各種設定リスト画面に戻ります。

★注意★

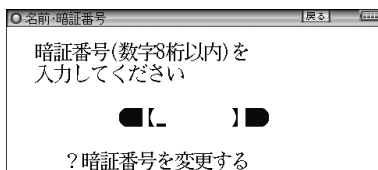
＊暗証番号が分からなくなると、名前の変更や削除ができなくなります。またMP3の暗号化データの作成、再生ができなくなります。
暗証番号は、必ず紙などに控え、他の人に見られない所に保管してください。誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。

【名前をオープニング画面に設定する】

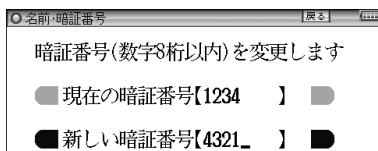
名前をオープニング画面として表示させるには、オープニング設定画面で、「名前」を選択して設定します。（「電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する」を参照）

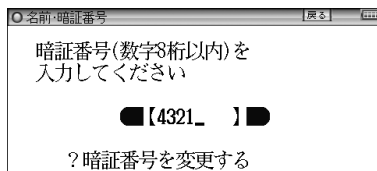
【登録している暗証番号を変更する】

1 各種設定リスト画面で「名前·暗証番号」を選び [検索/決定] を押します。

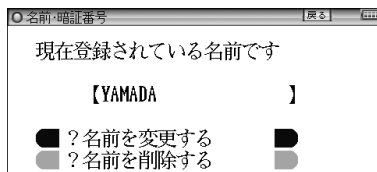
暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

2 [▼] で「？暗証番号を変更する」を選び、[検索/決定] を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

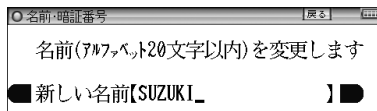
3 現在の暗証番号を入れ、[▼] でカーソルを下に移して新しい暗証番号（例えば「4321」）を入れます。

4 [検索/決定] を押します。

暗証番号が変更され、各種設定リスト画面に戻ります。

【登録している名前を変更する】

登録している名前を変更するときは次の手順で行います。

1 各種設定リスト画面で「名前･暗証番号」を選び［検索/決定］を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

2 登録している暗証番号（例えば「4321」）を入れます。

3 ［検索/決定］を押します。

名前の変更／削除選択画面が表示されます。

4 ［▼］、［▲］で「？名前を変更する」を選んで［検索/決定］を押します。

名前の入力画面が表示されます。

5 アルファベットで名前（例えば「SUZUKI」）を入れます。

6 ［検索/決定］を押します。

名前が変更され、各種設定リスト画面に戻ります。

【登録している名前、暗証番号を削除する】

登録している名前、暗証番号を削除するときは次の手順で行います。名前を削除すると暗証番号も削除されます。

1 先の「登録している名前を変更する」の手順1 ～ 3を行います。

2 [▼]、[▲]で「？名前を削除する」を選んで[検索/決定]を押します。

名前削除の確認画面が表示されます。

3 [Y]キーを押します。

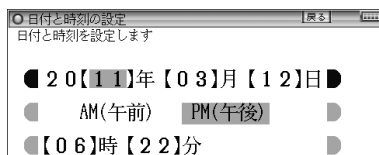
名前が削除され、各種設定リスト画面に戻ります。

- [N]キーを押したときは削除を中止して各種設定リスト画面に戻ります。

日付と時刻の設定

辞書メニュー画面、Home画面に表示される日付、時刻の設定を行います。

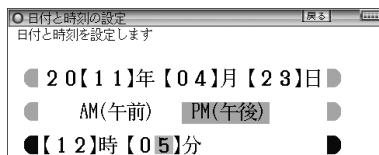
1 各種設定リスト画面で「日付と時刻の設定」を選び[検索/決定]を押します。

日付、時刻の設定画面になります。

2 日付、時刻を入力します。

例えば、2011年4月23日午後12時5分（お昼の12時5分）に設定する場合の操作

11[▶]4[▶]23 ‥‥ 年、月、日入力

[▼][▶]（[◀]）‥‥‥ AM(午前)、PM(午後)選択

[▼]12[▶]05 ‥‥‥ 時、分入力

- 数字は手書きパッドから入力できます。
- カーソルは自動的に次の欄へ移る場合があります。

3 [検索/決定]を押します。

日付・時刻が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

〓参考〓

＊設定できる範囲は次のとおりです。

日付：2000年1月1日～ 2099年12月31日
時刻：AM(午前) 12時00分～ AM(午前) 11時59分
　　　PM(午後) 12時00分～ PM(午後) 11時59分

これらの範囲外の入力、あるいは「4月31日」など、存在しない日付の入力をした場合、手順3の操作で「入力に誤りがあります」とメッセージが表示されますので、入力内容を確認してください。

電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する

[入/切]キーで電源を入れたときに一定時間表示される画面（オープニング画面）を設定します。（初期状態では「表示なし」に設定されています。）

世界遺産：「世界遺産100選」に収録の写真をランダムに表示します。

オートデモ（スライドショー）：
写真をスライドショーで表示します。

「写真」の1枚の画面：カード内、または本体内のメモリーにフォトスライドで表示できる写真や図がある場合に、その中の１枚を設定して表示させます。※

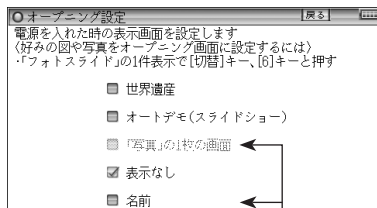
表示なし：オープニング画面は表示しません。

名前　　：登録した名前を表示します。

※ 画面の設定方法は「フォトスライドで写真を見る」をご覧ください。画面を設定すると、その画面データが本体に保存され、カードがなくても表示できるようになります。
なお、保存される画面データは1枚のみです。

- 図や画面を設定したとき、オープニング設定もそれを表示するように自動的に切り替わります。

1 各種設定リスト画面で「オープニング設定」を選び[検索/決定]を押します。

初期状態では「表示なし」になっています。

画面または名前を設定していないと、その項目は淡く表示されます。

2 [▼]、[▲] で “✔” を移動させてオープニングの設定を選び [検索/決定] を押します。

- 「オートデモ（スライドショー）」以外を選んだ場合は、各種設定リスト画面が表示されます。
- 「オートデモ（スライドショー）」を選んだ場合は、デモの開始確認画面が表示されます。[Y] を押すとデモが始まり、[N] を押すとHome画面が表示されます。
  次回から [入/切] で電源を入れると、デモの開始確認画面が表示されるようになりますので、同様に選択します。

★注意★

＊本製品をACアダプターで使用している場合、オートデモ表示中はオートパワーオフ機能が働きません。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときは

オープニング画面表示中に [クリア] など、いずれかのキーを押します。

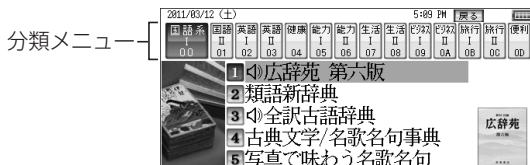
オープニング画面を表示しないようにするには

手順２で「表示なし」を選んで [検索/決定] を押します。

辞書メニューをよく使う順番に並べ替える

辞書メニューの個別メニューに表示されるコンテンツなどの順番を、各分類の中で並べ替えることができます（便利機能を除く）。よく使用するコンテンツなどを前に配置して、利用しやすくすることができます。

【並べ替えの手順】

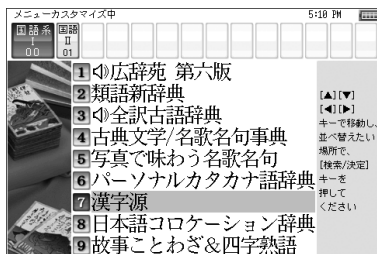
1 [辞書メニュー]を押し、並べ替えたい分類（例えば「国語Ⅰ」）を分類メニューで選びます。

〓参考〓

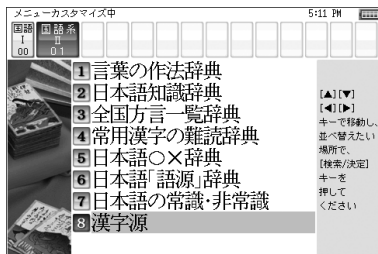
＊ 分類が小分類（例えば、生活Ⅰ、Ⅱ）に分かれている場合は、どの小分類を選んでも同じ操作で並べ替えができます。

2 [機能] [辞書メニュー]（メニューカスタマイズ）と押します。

メニューカスタマイズ画面が表示されます。

3 [▼]、[▲]、[▶]、[◀]※で移動させたいコンテンツにカーソルを移し、 [検索/決定] を押して確定させます（または、コンテンツ名にタッチします）。

（ここでは「国語Ⅰ」の「漢字源」を移動させるコンテンツとして確定させます。）

4 [▼]、[▲]、[▶]、[◀]※で、確定させたコンテンツを目的の位置まで移動させます。

1行ずつ入れ替わりながら移動していきます。

5 [検索/決定]を押して確定させます。

- 続けて移動させる場合は、手順3 ～ 5を繰り返します。
- 手順4で移動させたい位置にタッチすると移動・確定が同時に行われます。

6 すべて並べ替えたら[戻る]を押して終了します。

※ [▶]、[◀]は小分類間（Ⅰ、Ⅱ画面）を移動するときに使用します。

★注意★

＊本「使い方の説明」では、辞書メニューの並びは初期の設定（お買いあげ時の設定）になっているものとして説明しております。メニューを並べ替えている場合は、キー操作が異なる場合がありますのでご注意ください。

【辞書メニューの並びを初期設定に戻す】

辞書メニューのコンテンツなどの並びを初期設定（お買いあげ時の設定）に戻します。

1 [Home]を押し、「各種設定」から「辞書メニューの設定」「辞書メニューの並びを初期設定に戻す」を選び[検索/決定]を押します。

確認画面が表示されます。

2 [Y]キーを押します。

メニューの並びが初期の設定に戻って、各種設定リスト画面に戻ります。

会話アシスト機能を使う

預けた荷物が出てこない･･･、注文が伝わらない･･･、海外旅行でトラブルはつきものです。そんなとき、会話アシスト機能が利用できます。

本機能はキーワードから日本語例文を探し、対応する英文または中文をTTS による合成音声で読み上げさせることができます。

本機能ご使用時のご留意点

- 本機能の例文抽出、生成、翻訳、発音はすべてが正しく行われるものではありません。本機能の使用により生じた損害、逸失利益について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機能は旅行会話に関係する例文のみ収録しています。
- 例文が長い場合、発音操作から発音開始までに時間がかかる場合があります。
- 例文抽出時、同じ例文が複数表示されることがあります。これらの例文は、それぞれ使われる場面が異なり、入れ替えできる単語が異なります。単語を入れ替えるときは、目的に適した入れ替え単語が出る例文をお選びください。

  例）“これ”と“料理”の２つのキーワードで会話文を検出した場合
  『これは何という料理ですか？』という例文が２つ出ますが、入れ替えられる単語が下記のように異なります。

  『料理』を入れ替える場合

  １文目　飲み物、ビバレッジ、ステーキ、ハンバーグ　等
  　　　　レストランでの使用を想定した単語

  ２文目　宝石、鞄、スーツケース、デイパック　等
  　　　　買い物での使用を想定した単語
- 本機能はキーワードが少ない場合や、組み合わせが適切でない場合は、文章的・意味的に正しくない例文が抽出されることがあります。

  例　キーワード「飛行機、駅」→ 例文「駅で飛行機を待ちます。」など

キーワードは、より適切で詳しいものを選ぶほうが目的に近い例文を抽出することができます。

- キーワードの表現の微妙な違いで候補が出なかったり、抽出される例文が異なったりします。目的の候補や例文が出ない場合は表現を変えてみてください。

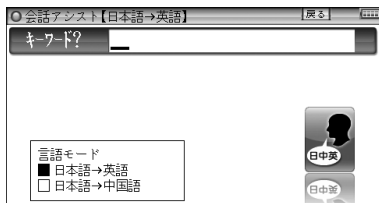
例 「どれくらい」、「どのくらい」（キーワードの候補にありません）
「どれぐらい」、「どのぐらい」（抽出される例文が異なります）

- 例えば「行く」、「行きたい」、「行きます」のように、語形が変化する語は、現在形の終止形で入力してください。例えば「いく」と入力して「行く」をキーワードに選びます。また、願望や疑問の文は「行く」と、「たい（願望）」や「ますか（疑問）」をキーワードにすると、目的により近い例文を抽出できます。
- 例えば「料理、牛肉」、「料理、鶏肉」のように、同種のキーワードを入力した場合でも、例文の表現や抽出数が異なることがあります。
本製品では、キーワードに対してより適した文章を抽出するようになっているため、似たキーワードでも異なる例文になることがあります。
- 本製品はお客様の利便性を考慮し、現在では不適切とされている言葉（「スチュワーデス」「看護婦」など）も収録しています。
（現在は、「スチュワーデス」は客室乗務員やフライトアテンダント、キャビンアテンダント、「看護婦」は看護師と呼ばれています。）
- 名前について、すべての名字が収録されているわけではありません。データとして収録されていない名字は出力できません。
- 単語により、仮名遣いがちがっても候補が出るように配慮しております。

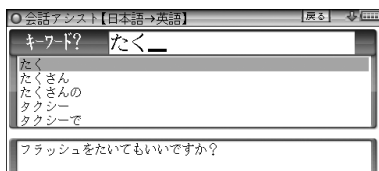
例 「遠い」の場合 ：とおい、とうい、とーい
「偏頭痛」の場合 ：へんずつう、へんづつう
「縮む」の場合 ：ちぢむ、ちじむ

【会話文を探し発音させる】

【例】「タクシー」、「ポーチ」で会話文を探し、英語で発音させます。

1 [会話アシスト]を押します。
入力待ち画面が表示されます。

- [切替]キーまたは画面タッチで言語モードを切り替えることができます（ここでは「日本語→英語」にします）。

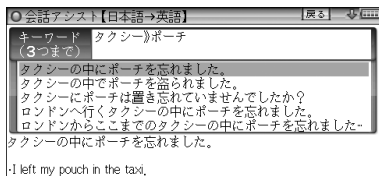
2 キーワード入力欄に、例えば「たく」と入れます。

キーワードの候補および会話文の候補が表示されます。

- カタカナ、漢字は手書き入力します。

3 [▼]、[▲]でキーワード「タクシー」を選び[検索/決定]を押します。

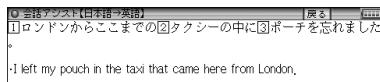
会話文欄の候補へカーソルが移り、下の欄に訳文と共に表示されます。

4 手書きパッドの《キーワード追加》ボタンにタッチする（または[▶]キーを押す）と追加入力画面になります。
手順2、3と同様の操作で「ぽーち」を入れ、キーワードを選んで[検索/決定]を押します。

カーソルが会話文欄へ移ります。

＊キーワード欄の“》”はキーワードの区切りを示すマークです。

5 [▼]、[▲]で会話文を選んで[検索/決定]を押します。

会話文の1件表示画面になります。

会話アシスト【日本語→英語】 戻る
1ロンドンからここまでの2タクシーの中に3ポーチを忘れました。
・I left my pouch in the taxi that came here from London.

6 [音声]を押し(英会話文がカラーでマーキングされます)、[検索/決定]を押すとTTSで読み上げられます。
読み上げ終了後、[戻る]で1件表示画面に戻ります。

〓参考〓

＊英会話文(中国語会話文)にタッチした場合も読み上げられます。
＊音声読み上げ中に[音量大]、[音量小]を押すと音量の調整ができます。
＊会話文をカラーマーキングしたとき、手書きパッドに再生速度の選択ボタンが表示され、再生速度が変更できるようになります。
＊1件表示画面で手書きパッドの《英↔中切替》にタッチすると言語モードが切り替わります。
＊1件表示画面になったとき、例文がしおりに登録されます。
＊キーワード追加で頭に **類推** が表示される例文候補は、入力したキーワードのいずれかを含まない候補です。
＊手順4などの画面で手書きパッドの《キーワード消去》にタッチし、消去確認画面で[Y]を押すと、後から入れたキーワードが消去されます。
＊例文の中の1、2、3など、□囲みの数字や英字は、その後ろの単語が入れ替えられることを示します(下記参照)。
＊本製品の翻訳語は、米語および普通話(北京語を基にした中国標準語)です。

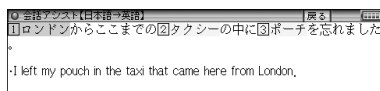
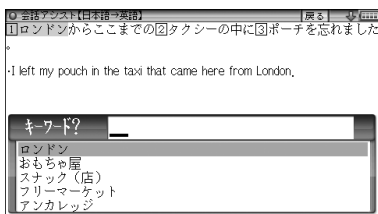
【単語を入れ替えて会話文を作る】

日本語例文の中の単語を入れ替えて会話文を作り、対応する英文または中文を読み上げさせます。

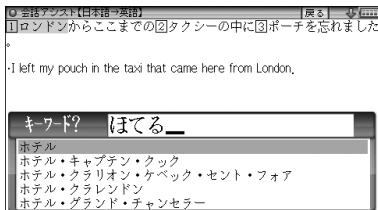
【例】上記の1件表示画面で「ロンドン」を「ホテル」に入れ替えます。

1 1件表示画面で、手書きパッドの《単語入替》にタッチします。

単語入れ替え画面が表示されます。

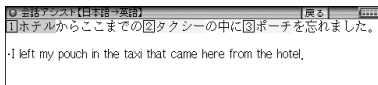
会話アシスト【日本語→英語】 戻る
1ロンドンからここまでの2タクシーの中に3ポーチを忘れました。
・I left my pouch in the taxi that came here from London.

2 [▶]、[◀]で入れ替えたい単語（ここでは「ロンドン」）を選び[検索/決定]を押します。

- キーワード入力欄と、選んだ単語に関連する語（入れ替え候補）が表示されます。

3 キーワード入力欄に「ほてる」と入れます。

入れ替え候補が表示されます。

- カタカナ、漢字は手書き入力します。

4 [▼]、[▲]で入れ替え候補を選び[検索/決定]を押します。

単語（日本語および対応する英語、中国語の単語）が入れ替わります。

会話アシスト【日本語→英語】 戻る
1ホテルからここまでの2タクシーの中に3ポーチを忘れました。
·I left my pouch in the taxi that came here from the hotel.

5 手順2～4と同様の操作で、必要な単語をすべて入れ替えます。入れ替え終わったら[戻る]を押して1件表示画面に戻ります。

6 [🔈 訓]を押し、[検索/決定]を押して英会話文（または中国語会話文）を読み上げさせます。

〓参考〓

＊入れ替える語が数字または英字の場合は、入れ替え候補は表示されません。

＊入れ替え可能な単語を示す番号は1、2～0、A、Bの種類があり、それぞれ対応する数字、英字キーで単語を選択することができます。

例文を単語帳に登録する

例文の1件表示画面で《単語帳に登録》にタッチすると、表示されていた例文が単語帳に登録されます。

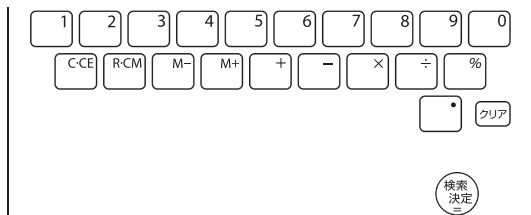
登録された例文は、会話アシストの画面で[機能][しおり](単語帳)と押して、リストから選んで表示させることができます。

〓参考〓

＊会話アシストの例文にはマーカー機能は使用できません。

電卓/便利計算機能を使う

四則計算や消費税計算、通貨や単位の換算、年号や年齢の計算ができます。

電卓で主に使用するキー

これらのキーに加えて、手書きパッドに表示される数字入力画面などを利用することができます。

【電卓(消費税電卓)で計算をする】

12桁までの加減乗除、消費税、メモリー計算などができます。

1 [Home]を押し「電卓」を選びます。

電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。

2 「消費税電卓」を選び[検索/決定]を押します。

電卓画面が表示されます。

手書きパッドには数字入力・計算画面が表示されます。

〓参考〓

計算を始める前に

＊計算を行う前に、[R·CM] [R·CM] [クリア] と押して、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
＊負の数が最初にくるときは、減算記号（[－]）を負数シンボル（マイナス）として計算を始めることができます。
＊入力中に数字を入れまちがえたときは[C·CE] を押して、もう一度入れ直してください。
＊計算の途中や結果を示すため、画面に“＝”、“M＋”、“M－”、“＋”、“－”、“×”、“÷”が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。
“＝”は [＝] または [%] を押したとき、その他の“M＋”、“＋”などは、それぞれのキーを押したときに表示されます。

こんなときはエラーが出ます

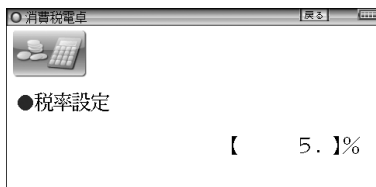
＊計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「**E**」が表示されて、その後の計算ができなくなります。[C·CE] を押してエラー状態を解除してください。
次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例：4567890123[×]4560[＝]	E 20.8295789608
[C·CE]	20.8295789608 ↑ 兆の位

消費税率を変更する場合は

消費税率の変更があったときに行います。
消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

1 電卓画面で[∧] を押します。

消費税率を設定する画面が表示されます。

2 税率を入力し [検索/決定] を押して設定します。

●小数点を数えずに、4桁の範囲で設定できます。

	計算例	キー操作	表示(答)
加減乗除	(−24)÷4−2=	[クリア][−]24[÷]4[−]2[=]	−8.
定数計算	34+57= 45+57=	34[+]57[=]　(加数が定数 45　　[=]　となります)	91. 102.
	68×25= 68×40=	68[×]25[=]　(被乗数が定数 　　40[=]　となります)	1’700. 2’720.
パーセント計算	200の10%は?	200[×]10[%]	20.
	9は36の何%	9[÷]36[%]	25.
割増割引	200の10%増しは?	200[+]10[%] (または200[×]10[%][+][=])	220.
	500の20%引きは?	500[−]20[%] (または500[×]20[%][−][=])	400.
べき乗	$4^6=(4^3)^2=$	4[×][=][=][×][=]	4’096.
逆数計算	1/8=	8[÷][=]	0.125
税込計算 税抜計算	25000円の 税込額(5%) 税額(5%)	25000[◀] [◀]	税込 26’250. 税額 1’250.
	税込額が1050円と525円の合計額 税抜額(5%) 税額(5%)	1050[+]525[=] [▶] [▶]	1’575. 税抜 1’500. 税額 75.
メモリー計算	(累計) 25× 5= −)84÷ 3= +)68+17= (計)=	計算の前にメモリーを消去します →[R·CM][R·CM] 25[×] 5[M+] 84[÷] 3[M−] 68[+]17[M+] [R·CM]	※ M 125. M 28. M 85. M 182.
	(定数記憶) 135×(12+14)= (12+14)÷5=	[R·CM][R·CM] 12[+]14[M+] 135[×][R·CM][=] [R·CM][÷]5[=]	 M 26. M 3’510. M 5.2

※メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。
[M+]、[M−]は[=]の働きもかねています。

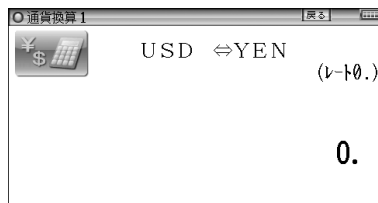
- [−]キーは[H]を押すか手書きパッドのボタンにタッチします。

【通貨換算をする】

通貨のレートを設定する

4種類の通貨レートが設定できます。

1 機能選択画面で「通貨換算」を選び [検索/決定] を押します。

通貨換算画面が表示されます。

〓参考〓

＊画面は「通貨換算1」～「通貨換算4」の4画面あり、[▼]、[▲]で切り替えます。

2 レートを設定する画面（例：「通貨換算1」）を選び、[∧]を押します。

通貨・レート設定画面が表示されます。

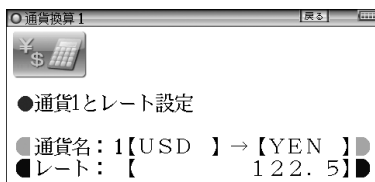
3 通貨名と通貨レートを入力します。

〓参考〓

＊通貨名の入力は
4文字以内の英大文字で通貨名を入力します。
左右の入力項目は[▶]、[◀]でカーソルを移動させて選びます。

＊「通貨換算1」の通貨名の欄には、あらかじめ左側に「USD」（米ドル）、右側に「YEN」（円）が入力されています。

＊通貨・レートの入力は
小数点を数えずに、10桁の範囲で入力できます。

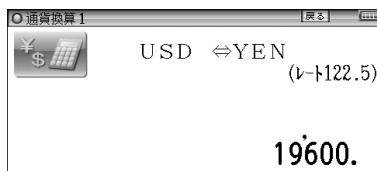
通貨・レート設定画面

＊設定内容を変更するときは、変更したい欄へカーソルを移し、[クリア]で内容を消してから新しい内容を入力してください。

4 [検索/決定]を押します。

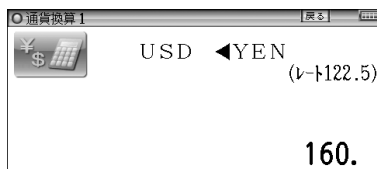
通貨レートが設定されます。

通貨を換算する

事前に通貨レートを設定しておいてください。

1 通貨換算画面で換算する金額（例：「19600」）を入力します。

2 例えば[◀]を押して換算します。

- [▶]で左の通貨から右の通貨へ、[◀]で右の通貨から左の通貨へ換算します。

換算された金額が表示されます。

〓参考〓

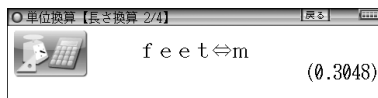
＊入力は、例えば「2450×8=」のような計算をして入れることもできます。

＊別の金額を換算するときは、そのまま数値を入力するか、[C·CE]で数値を消してから、新たに入力します。

【単位換算をする】

単位換算機能で、長さや重さ、温度の単位を換算することができます。

1 機能選択画面で「単位換算」を選び [検索/決定] を押します。
単位換算の入力画面が表示されます。

2 [▼]、[▲] で換算する単位（例：「長さ換算 2/4　feet⇔m」）を選びます。

3 「通貨を換算する」と同様の操作で単位を換算します。

〓参考〓

＊この製品では、次のような単位の換算ができます。

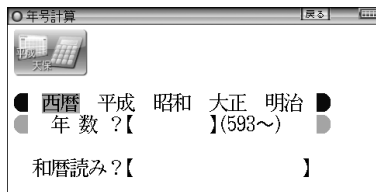
長さ1	inch（インチ）⇔cm（センチメートル）
長さ2	feet（フィート）⇔ m（メートル）
長さ3	yard（ヤード）⇔ m（メートル）
長さ4	mile（マイル）⇔ km（キロメートル）
重さ1	常用oz（オンス）⇔ g（グラム）
重さ2	常用lb（ポンド）⇔ kg（キログラム）
温度	℉（華氏）⇔ ℃（摂氏）

＊上記単位の常用ポンド、常用オンスは、1ポンド＝16オンスになります。

【年号計算をする】

西暦593 ～ 2087年の間で西暦と和暦、干支などを調べることができます。

西暦や和暦の年数から調べる

1 機能選択画面で「年号計算」を選び [検索/決定] を押します。
年号計算の入力画面が表示されます。

2 年号など（例：「西暦」）を選び、年数の入力欄へ年数（例：「1850」）を入力します。

該当する年から順番にリスト（一覧）表示されます。

3 "➡" マークを目的の年数へ移し、[検索/決定] を押します。

その年の詳細画面が表示されます。

和暦の読みから西暦を調べる

1 上記画面の和暦読みの入力欄へ読み（例：「ぶんえい」）を入力します。

入力した読みで始まる和暦が50音順にリスト（一覧）表示されます。

2 上記手順3と同様の操作で、目的の和暦、目的の年を選んでいきます。

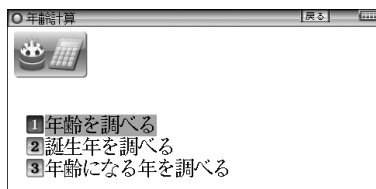
【年齢計算をする】

年齢や誕生年（生まれた年）、干支などが調べられます。

年齢を調べる

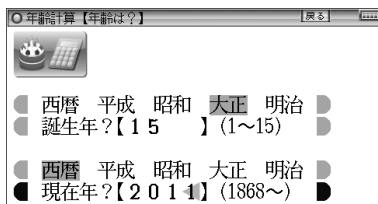
誕生年がわかっているとき、何歳になるのかを調べます。

1 機能選択画面で「年齢計算」を選び [検索/決定] を押します。

年齢計算の機能選択画面が表示されます。

2 「年齢を調べる」を選び[検索/決定]を押します。

誕生年と現在年の入力画面が表示されます。

3 年号など(例:「大正」)を選び、誕生年入力欄へカーソルを移して生まれた年(例:「15」)を入力します。

4 [▼]でカーソルを下段へ移して、年号など(例:「西暦」)を選び現在年(例:「2011」)を入力します。

5 [検索/決定]を押します。

詳細画面に年齢が表示されます。

生まれた年(誕生年)を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べます。

1 年齢計算の機能選択画面で「誕生年を調べる」を選び[検索/決定]を押します。

現在年と年齢の入力画面が表示されます。

2 年号などを選び、現在年、年齢を入力して[検索/決定]を押します。

詳細画面に生まれた年が表示されます。

ある年齢になる年を調べる

誕生年がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べます。

1 年齢計算の機能選択画面で「年齢になる年を調べる」を選び[検索/決定]を押します。

誕生年と年齢の入力画面が表示されます。

2 年号などを選び、誕生年、年齢を入力して[検索/決定]を押します。

詳細画面に、指定した年齢になる年が表示されます。

カードやパソコンを使う

カードの取り付け/取り外し

本製品は、市販のmicroSDメモリーカード、microSDHCメモリーカードを使用することができます。下記内容をお読みいただき正しくご使用ください。

- 本「使い方の説明」では、上記２種類のメモリーカードを区別しないときは カード と記載します。

★注意★

＊カードの取り付け、取り外しは[Home]を押してHome画面になったことを確認してから行ってください。他の状態で行うと未登録のデータやカードのデータが消える、動作しなくなる等の異常が発生することがあります。

＊たて続けにカードの取り付け／取り外し操作を行わないでください。データが消えたり、故障したりすることがあります。

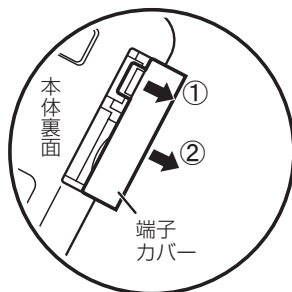
＊カードに強い力を加えたり、端子部に指などで触れたりしないでください。

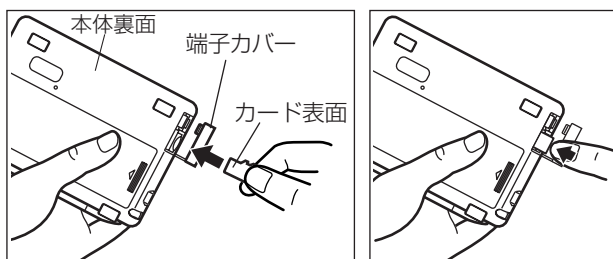
＊カードはまっすぐ挿入してください。斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。

カードを取り付ける

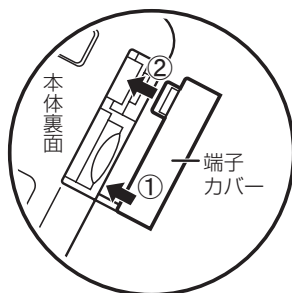
1 [Home]を押してHome画面にします。

2 端子カバーを開きます。

矢印①部分を引いて少し開き、矢印②部分を真っ直ぐ引きます。

- 端子カバーを無理に引っぱらないでください。無理に引っぱると取り付け部のライン（紐）が切れ、取り付けられなくなります。

3 図のように電子辞書の裏面とカードの表面が同じ方向になるようにして、カードスロットに奥まで確実に挿入します。

● カードの取り付け、取り外し時に、爪でカードを弾くように指を離すと、カードが飛び出すことがありますので、ゆっくり押し、ゆっくり離してください。

4 端子カバーを閉じます。

ライン（紐）を本体に挿入していき（矢印①）、矢印②で示すタブを本体に入れます。

5 Home画面で、機能を選びます。

〓参考〓

＊カードの使用に関するメッセージが表示された場合は

● 「カードが入っていません」　カードが装着されていません。前述の方法でカードを正しく装着してください。

● 「このカードでは使用できません」　この電子辞書で扱えないカード、データが壊れているなどで、この電子辞書で使用することができません。使用できるカードを装着してください。

● 「ファイルがロックされているため削除できません（読み取り専用ファイル）」　ファイルがロックされているため、削除できません。

＊電源が切れたり、カードが使えないときは
カードを取り付けて電源を入れてもすぐに電源が切れたり、「カードが入っていません」と表示されるときは、電池が消耗している場合がありますので、充電、またはACアダプターで使用してみてください。

カードを取り外す

1 [Home]を押してHome画面にします。

2 「カードを取り付ける」と同様の操作で端子カバーを開きます。そして、カードの端を指で押し込み、ゆっくり離します。

ロックが外れ、カードが少し出てきます。

3 カードを抜き取り、端子カバーを元どおり閉じます。

本製品で使用できるカードについて

本製品では、microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカードがご使用いただけます。
ただし、これらのカードであっても使用できない場合がありますので、動作確認済みのカードを次のWebサイトでご確認ください。

http://www.sharp.co.jp/brain/

カードのフォーマット(初期化)について

カードのフォーマット(初期化)は、この電子辞書で行ってください。パソコン等でフォーマットを行うと、カードが使えなかったり、データの読み取りに通常より多くの時間がかかったりする場合があります。

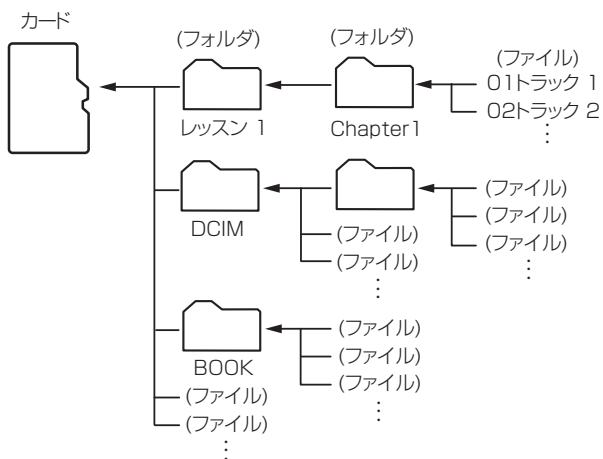
表示可能なファイル数とファイル名の長さについて

注：テキストメモは「テキストメモ for Brain 使用説明」をご覧ください。

1 カードの中の1つのフォルダには200件を超えてデータ(ファイル)を入れないでください。200件を超えたデータは表示されません。なお、カード自体も1つのフォルダと見なします。

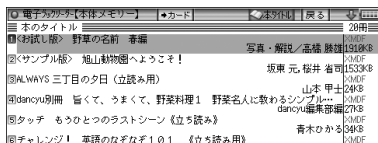
2 ファイル名の長さは、一番上のフォルダからファイルまでの、フォルダ名やファイル名の文字数を加えた合計文字数が拡張子を含めて248文字以下になるようにしてください。また、数字、英字、全角ひらがな・カタカナ、漢字をお

使いください。特殊な記号や文字は表示されません。

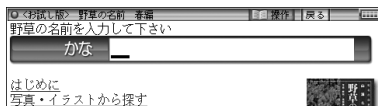
● フォルダ・ファイル構造

電子ブックリーダーを使う

ダウンロードコンテンツ管理ソフトで、カードまたは本体メモリーに転送した電子書籍（XMDFデータ）を表示させせます。

- カードは「カードの取り付け/取り外し」を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

1 [Home] を押し「電子ブックリーダー」を選びます。
本のタイトル画面が表示されます。

- 「本体メモリー」には、電子ブックのサンプルが入っています。

2 必要に応じて〔➡カード〕または〔➡本体〕にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

3 本のタイトルを選び [検索/決定] を押します。
本の最初のページなどが表示されます。

- 入力欄の前に複数の文字種が表示されている場合、〔操作〕にタッチすると表示される操作メニューの「キー入力文字」で入力文字種の切り替えができます。

4 コンテンツの仕様に合わせて使用します。

参考

＊ダウンロードコンテンツには、辞書コンテンツや、図鑑コンテンツなどもあり、操作方法が異なります。
＊辞書系のコンテンツは、基本的に本体に搭載の辞書コンテンツと同様の機能を使用することができます。ただし、早見機能、マーカー機能など、一部の機能が使えません。また、動作が異なることがあります。
＊パスワード付きコンテンツは、手順3でパスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
＊電子ブックリーダーを選んだとき、以前テキストデータを開いていた

場合などに、それらのタイトル画面になることがあります。その場合は、次の「テキストデータを表示させる」と同様の操作で「BOOK」フォルダを開いて[切替]を押すと、ダウンロードしたコンテンツなどのタイトル画面になります。

＊ オートパワーオフ時間、減光時間は、Home画面の「各種設定」から「オートパワーオフ時間」および「バックライト設定」を選んで変更できます。

＊「本体メモリー」内の電子ブックサンプルは、お試し版であり、内容の一部が収録されています。

＊「本体メモリー」の容量は約300MBですが電子ブックサンプル収録に約5MBが使用されます。サンプルは「メモリーのデータを削除する」の方法で削除してメモリーを空けることができます。削除したサンプルを復活させるには、本製品を初期化してすべてをお買いあげ時の状態に戻す必要がありますのでご注意ください。

【テキストデータを表示させる】

ダウンロードコンテンツ管理ソフトで、パソコンから電子辞書に装着しているカードに転送したデータは、「BOOK」という名前のフォルダに保存されます。
テキストデータなどをカード内の他のフォルダなどに入れている場合は次の方法で表示させます。

1 本のタイトル画面で[切替]を押してファイルリスト画面にします。

2 [戻る]を押します。
上位のフォルダへ移ります。

3 目的のデータがあるフォルダなどを選んで、データを表示させます。

〓参考〓

＊ キテストデータ(ファイル)はパソコンのメモ帳やワープロソフト、本製品のテキストメモ機能などでも作成でき、次のファイルが表示可能です。

- 拡張子が .txt のテキストファイル

- JIS第1・第2水準漢字、仮名、数字、英字を使ったテキストファイル
  ※ ファイル名やフォルダ名にも同様の文字を使用してください。全角記号などを使用した場合、リストに表示されない場合があります。
  ※ 表示できない文字や記号は、スペースなどに置き換えて表示されます。
  ※ 作成した機器やアプリケーションにより、字形が変わることがあります。

★注意★

＊XMDFコンテンツ（電子書籍）の中に特別な形式の音声が含まれる場合、一部の音声データが再生できない場合があります。また、特別な形式の画像など、一部の画像データは表示されない場合があります。

＊XMDFコンテンツのデータ形式によっては、本製品で見ることができない場合があります。

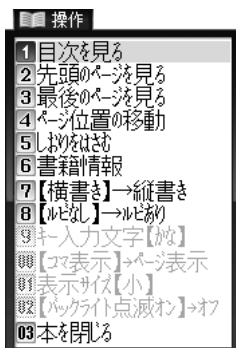
＊XMDFコンテンツの説明の中に、タッチ、スクロール、縦持ち表示など、本製品で使用できない機能や、操作が異なる説明がなされているものがありますが、これらはPDA（携帯情報端末）を想定した説明ですので、本製品に合わないことがあります。

＊XMDFの辞書コンテンツなどのしおりや単語帳は、そのコンテンツがカード内にある場合はカードに記憶・登録されます。カードの空き容量が少ないと、これらが記憶・登録できない場合があります。

【本を操作する】

本を開いているとき、[切替]を押すと画面右上の操作タブが選ばれて、操作メニューが表示されます。
この操作メニューを使用して操作します。

操作メニュー

※表示している本または画面で操作できない項目は淡い表示になります。

◆「目次を見る」

「目次」がある本では目次が表示されます。目次の中の項目を選べば、その項目のページを開くことができます。

◆「先頭のページを見る」、「最後のページを見る」

先頭のページ、または最後のページを開きます。

◆「ページ位置の移動」

この項目を選ぶとページ移動指定画面が表示されます。
移動する（開く）ページを先頭から何パーセント位置にするかを数字で入れ[検索/決定]を押して移動します。
なお、漫画本など、コマのみで構成されている場合は「コマの移動」指定画面が表示され、全コマの何パーセントの位置かを指定して移動します。

◆「しおりをはさむ」※

現在開いている場所をしおりとして登録します。登録したしおりは、その本を開いて、またはタイトル画面でしおりマークが付いているタイトルにカーソルを移して[しおり]を押すとリスト表示されます。表示されたリストから、開きたい箇所を選んで[検索/決定]を押すと、その箇所が表示されます。

- しおりは1冊の本につき9カ所まで登録できます。
  9カ所を超えて登録しようとすると、古いしおりが消され、新しいしおりが登録されます。なお、上記とは別に、本を閉じたときや辞書など他の機能に移ったとき、最後に開いていた1カ所が自動的に登録されます。
- しおりを消したいときは「一度調べた語を再度調べたいとき（しおりを使う）」を参照してください。

※ 辞書系のコンテンツでは「しおりをはさむ」は淡く表示されて選択できない場合があります。
このときは「一度調べた語を再度調べたいとき（しおりを使う）」で説明しているしおり機能をご確認ください。なお、コンテンツによってはしおりがない場合があります。

◆「書籍情報」

開いている本に著者や出版社などの情報が付けられている場合に、これを表示します。[戻る]で前の画面に戻ります。

- 「配布時の刻印情報」は本の商品番号などであり、日付ではありません。

◆「【縦書き】→横書き」（「【横書き】→縦書き」）
縦書き表示と横書き表示を切り替えます。

◆「【ルビあり】→ルビなし」（「【ルビなし】→ルビあり」）
ルビ（振りがな）の表示のあり/なしを切り替えます。「ルビあり」では行間が広くなります。

◆「キー入力文字【かな】（「キー入力文字【英字】）
（「キー入力文字【数字】）
文字入力ができるコンテンツで、例えば英字と数字のように複数の文字種が入力できるとき、入力する文字の種類を設定します。この項目を選択すると文字種選択画面が表示されますので[▼]、[▲]で文字種を選び[検索/決定]を押します。

◆「【コマ表示】→ページ表示」
（「【ページ表示】→コマ表示」）
漫画本などのようにコマで構成された書籍において、コマごとに表示させるか、ページごとに表示させるかを切り替えます。

◆「表示サイズ【小】」（「表示サイズ【中】」）
（「表示サイズ【大】」）
漫画本などで、表示するページサイズを設定します。
この項目を選択すると表示サイズ選択画面が表示されますので[▼]、[▲]でサイズを選び[検索/決定]を押します。

◆「【バックライト点滅オン】→オフ」
（「【バックライト点滅オフ】→オン」）
漫画本などで、バックライトの点滅を行うような設定があるとき、それを有効（オン）にするか、無効（オフ）にするかを切り替えます。

◆「本を閉じる」
本を閉じて、タイトル画面になります。

その他の操作

リンクの操作
本の中には文中の文字や図などにリンクが張られていて、リンク先の内容などを見ることができるものがあります。
リンクされている文字は青色で表示され、下線が引かれています。また、選択されているときは青色の四角の中に白文字で示されます。図にリンクが張られている場合は、図が青色の線で囲まれています。
[▼]、[▲]、[▶]、[◀]でリンクされている文字または図を選択し[検索/決定]を押すとリンク先に移動して表示します。
戻るときは[戻る]を押します。リンク先からリンク先へ移動をくり返している場合、最高20回まで戻ることができます。

マスクの操作
英単語などの学習用文書など、本によっては、文中の文字の一部が ■■■ などの四角で隠されているものがあります。
選択されているときは ■■■ のようになります。
[▼]、[▲]、[▶]、[◀]でマスクを選択し[検索/決定]を押すとマスクが外れ文字が表示されます。
もう一度[検索/決定]を押すと再びマスクがかかります。

文字サイズの切り替え
[文字大]、[文字小]を押して、表示される文字の大きさを12/16/24ドット文字に切り替えます。

オートスクロール(自動送り)で本を読む
[機能][▼](スクロール)と押すと、オートスクロールが始まり、自動的に1行ずつ文章が送られます(「オートスクロール機能での自動画面送り」を参照ください)。

Sジャンプで言葉の意味などを調べる
本の中に意味などが分からない言葉が出てきた場合、ジャンプ機能を使って辞書へジャンプして調べることができます(「画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)」を参照ください)。

MP3プレーヤーを使う

パソコンなどで市販のmicroSD/microSDHCメモリーカードにMP3形式の音声データ（MP3データ）を入れ、そのカードを本製品に装着して再生することができ、語学学習などにご利用いただけます。なお、音声データを本体メモリーに入れて利用することもできます。

〓参考〓

＊パソコンなどからカードや本体にMP3データ（ファイル）を入れる方法は、パソコンなど使用機器の説明書をご覧ください。また、「パソコンと接続する」もご覧ください。

＊カードは「カードの取り付け/取り外し」を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

＊MP3データの再生可能ビットレート：32～256kbps
可変ビットレート（VBR）のMP3データは再生できません。

カードに入れたMP3データは、誤操作・事故・カードの紛失などにより失われることがあります。MP3データは必ずパソコンに保存しておいてください。

【MP3プレーヤーの使いかた】

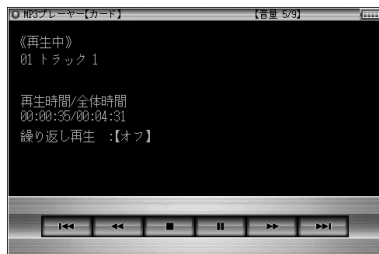
MP3データを再生する

1 [Home]を押し「MP3プレーヤー」を選びます。

MP3データ（ファイル）やフォルダがリスト表示されます。

2 必要に応じ〔➜カード〕または〔➜本体〕にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

3 再生したいMP3データを選び[検索/決定]を押します。

MP3データの再生が開始されます。

〓参考〓

＊ フォルダ内のデータを選ぶ場合は、フォルダを選び [検索/決定] を押して、表示されるMP3データやフォルダのリスト表示から選んでください。

＊ イヤホンで聞く場合や、音量調整は「イヤホンで音声を聞くときは」、「音量を調整する」を参照してください。

再生の操作

次のキーでMP3再生時の操作をします。なお、（　）内に示すボタンは画面に表示され、タッチして使用します。

[∧]（〔⏮〕）：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。

[∨]（〔⏭〕）：同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。

[◀]（〔◀◀〕）：再生中のデータを少し（約10秒分）戻って、またはデータの先頭に戻って再生します。

[▶]（〔▶▶〕）：再生中のデータを少し（約10秒分）送って再生します。データの最後を超えるときは、「MP3繰り返し再生設定」の設定に従って、次のデータの再生や同じデータの再生を行います。

[戻る]（〔■〕）：再生を終了して、前の画面に戻ります。

[検索/決定]（〔⏸〕/〔▶〕）：再生の一時停止、解除を交互に行います。

● 本プレーヤーは、カードを一つのフォルダと見なして、フォルダと同様に扱います。

※1 フォルダ内の先頭のデータを再生しているときは、並び順で最後のデータを再生します。

※2 フォルダ内の最後のデータを再生しているときは、並び順で先頭のデータを再生します。

★注意★

＊再生中はオートパワーオフ機能および、本体を閉じたときの電源オフ機能が働きません。電池が消耗しますので再生状態のままで放置しないでください。

〓参考〓

＊本プレーヤー機能では、音声再生速度を変更することはできません（各種設定の「音声再生速度」の設定で再生速度を切り替えても、本プレーヤー機能の再生速度は切り替わりません）。

＝暗号化データの再生＝

下記のWebサイトで、CDのリスニング教材などを本製品で再生できるようにデータ変換をするソフトウェア「CDデータ転送ソフト」をご案内しています。

http://www.sharp.co.jp/brain/

このソフトウェアは著作権保護のため、データ（ファイル）を作成するときに、ご自身の名前を登録して暗号化します。
この暗号化データは、「電子辞書に名前・暗証番号を登録する」の方法で登録した名前と一致した場合にのみ再生することができます。
名前が一致しない暗号化データは、次のメッセージを一時表示し、再生を行いません。

このファイルに設定されている名前が本体の設定と
異なるため再生できません

正しく再生させるために、名前は正しく登録してください。

【MP3繰り返し再生を設定する】

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ　　　：繰り返し再生を行いません。
再生を開始したフォルダ内のMP3データや暗号化データ※をリスト表示で表示された順番に、最後まで再生して終了します。

1ファイル：再生を開始したMP3データ（ファイル）を繰り返

し再生します。

全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したフォルダ内のデータ※をリスト表示で表示された順番に繰り返し再生します。

※ 順番にデータを再生しているとき、名前が一致しない暗号化データがあると、その時点で再生を終了します。

1 ファイルなどのリスト表示画面で [切替] を押し（〔設定〕にタッチし）「MP3繰り返し再生設定」を選んで [検索/決定] を押します。

MP3繰り返し再生設定画面になります。

2 "✔" を設定したい項目へ移し [検索/決定] を押します。

選択した繰り返し再生が設定され、前の画面に戻ります。

フォトスライドで写真を見る

フォトスライドはデジタルカメラで写した写真データ、またはパソコンから写真データや画像データを市販のmicroSD/microSDHCメモリーカードや、本体メモリーに入れて見ることができる機能です。写真を1枚ずつ見たり、スライドショーで（自動的に切り替えながら）見ていくことができます。

表示できる画像データの形式：JPEG形式※（拡張子：.JPEG、.JPG）
※一部のデータを除く

表示できる画像データの最大容量：約10MB（メガバイト）

表示できる画像データの最大サイズ：5000×5000ドット

● デジタルカメラが上記カードを使用している場合は、そのカードをこの電子辞書に装着して写真を見ることができます。デジタルカメラが他のカードを使用している場合は、パソコンを利用して、DCIMフォルダごと上記カードにコピーし、そのカードを装着して写真を見ます。なお、フォルダ名は"DCIM"以外も使用可能です。

◆カードは「カードの取り付け/取り外し」を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

> 写真などのデータは、必ずパソコンなどで保存してください。
> 使用誤りや静電気、強度の外来ノイズ、カードの破壊などでカードのデータが消えたり読み出せなくなることがあります。

【写真を見る】

1枚ずつ見る

1 [Home]を押し「フォトスライド」を選びます。

2 必要に応じ〔➡カード〕または〔➡本体〕にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

写真のアルバム、または写真データ（ファイル）やフォルダのリストが表示されます。

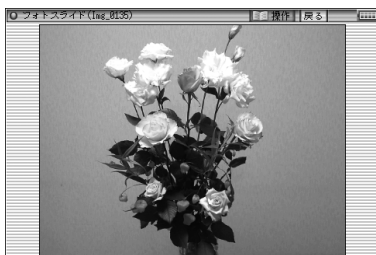
アルバム表示画面

リスト表示画面

- 手書きパッドの《アルバムを表示》、《リストを表示》にタッチして画面を切り替えることができます。

3 表示させせたい写真データを選び [検索/決定] を押します。

写真1件表示画面が表示されます。

- 《▼》、《▲》にタッチすると、写真をめくっていくことができます。

〓参考〓

＊別のフォルダ内の写真データを選ぶ場合はリスト表示画面で[戻る]を押して現在開いているフォルダを閉じ、別のフォルダを選んでください。

＊装着されているカードを交換するまでは、以前、フォルダやアルバムを開いていると「フォトスライド」を選んだとき、そのフォルダやアルバムが開きます。なお、カードを交換しても、カードの名前やフォルダ名などが同じときは、同じカードと見なしてフォルダやアルバムが開く場合があります。

＊「表示できません」と表示されるときは、ファイルサイズが大きすぎ

たり、対応していない形式のデータのため、写真を表示できません。
＊アルバム表示で、表示できない写真や、描画を中断したときの写真はグレー（灰色）表示になります。

★注意★
＊大きな容量のデータは表示に時間がかかることがあります。
また、一部のデジタルカメラの写真や、パソコン等で扱った写真データは、アルバム表示に時間がかかることがあります。
アルバム画面で、画像を描画中に[▼]、[▲]、[▶]、[◀]などを押すと描画を中断することができます。

画面のサイズを変えて見る

通常の１件表示画面は、画面サイズより小さい写真はそのまま、大きい写真は画面に入るように縮小して表示します。このときのサイズを基準にし、1.5倍（×1.5）、2倍（×2）に拡大して表示させることができます。
1件表示画面で[文字大]を押すと拡大され、[文字小]を押すと戻ります。

- 写真が画面サイズより大きくなると、▼、▲、▶、◀マークで写真の一部が隠れていることを示します。このときは[▼]、[▲]、[▶]、[◀]などで、またはマークにタッチして隠れた部分を見ることができます。

スライドショーを見る

フォルダ内の写真を順番に、自動的に表示させることができます。

1 写真データのリスト表示画面やアルバム表示画面で、最初に表示させる写真データを選び（カーソルを移し）ます。

写真１件表示画面からでも行えます。

2 手書きパッドの《スライドショー開始》にタッチします。

フォルダ内の写真データが順番に一枚ずつ表示されていきます。全て表示すると、繰り返し最初から表示します。
- スライドショーを停止させるときは[検索/決定]を押します。
- フォルダの中にフォルダがあるとき、中のフォルダ内の写真データは表示されません。そのフォルダを開いて表示させてください。

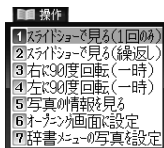
〓参考〓

＊スライドショーで１画面を表示させる時間は、「設定メニューを使う」の「写真の表示時間」で設定できます。

★注意★

＊ACアダプターで使用しているとき、スライドショー実行中はオートパワーオフ機能が働きません。電源を切り忘れないようにご注意ください。

【操作メニューを使う】

写真１件表示画面で [切替] を押すと、右の操作メニューが表示されます。この操作メニューで、次のことができます。

[１] スライドショーで見る（1回のみ）

[２] スライドショーで見る（繰返し）

この項目を選択すると表示している写真を先頭に、同じフォルダ内の写真を並び順で最後まで１回のみ、または繰り返して表示します。
停止させるときは[検索/決定]を押します。

[３] 右に90度回転（一時）

[４] 左に90度回転（一時）

表示している写真を右に、または左に90度回転させます。

〓参考〓

＊同じ操作をくり返せば写真を90度ずつ回転できます。

＊写真１件表示画面で、手書きパッドの《画像回転》にタッチすると右（時計回り）に90度回転します。

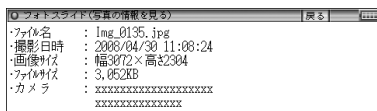
＊回転は他の写真を表示させるなど、画面を切り替えると解除されます。

＊写真を回転させると、写真の縮小率の指定は解除され、画面に合わせたサイズで表示されます。ただし回転後、縮小率を変えて見ることができます。

[５] 写真の情報を見る

写真のファイル名や画像サイズ、ファイルサイズなど、

写真の情報が表示されます。

フォトスライド（写真の情報を見る）　戻る
・ﾌｧｲﾙ名　: Img_0135.jpg
・撮影日時　: 2008/04/30 11:08:24
・画像ｻｲｽﾞ　: 幅3072×高さ2304
・ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ　: 3,052KB
・カメラ　: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxxxxxxxxx

〓参考〓

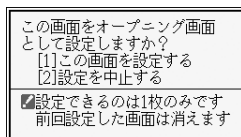
＊「カメラ」の項目は、メーカー名や機種名が表示されます。
＊写真に情報が付加されていない場合や、パソコンで登録し直す等により、情報が失われている場合などには表示されないことがあります。

[6] オープニング画面に設定する

表示されている写真を、電源を入れたときに表示されるオープニング画面に表示させるよう設定することができます。

この項目を選択すると、右の設定画面が表示されます。
この画面で[1]を押すと、確認画面が表示されますので[Y]を押します。メッセージが表示されて写真が登録されます。

この画面をオープニング画面
として設定しますか？
[1]この画面を設定する
[2]設定を中止する
設定できるのは1枚のみです
前回設定した画面は消えます

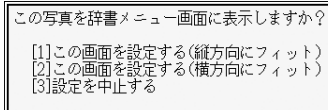
以降、[入/切]で電源を入れたとき、表示されるようになります。
設定した写真を表示させたくないときは、「電源を入れたときの画面（オープニング画面）を設定する」を参照して『表示なし』などに設定してください。

[7] 辞書メニューの写真を設定する

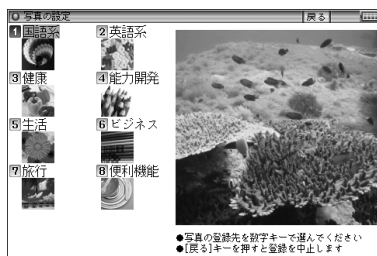
表示されている写真を、辞書メニュー画面に表示させるよう設定することができます。
辞書メニュー画面は「辞書メニューの設定」方法で標準メニューとフォトメニューを切り替えることができます。
フォトメニューには、ご自身で撮影した写真などを表示させることができます。

1 「辞書メニューの写真を設定する」を選び[検索/決定]を押します。

設定画面が表示されます。

この写真を辞書メニュー画面に表示しますか？

[1]この画面を設定する（縦方向にフィット）
[2]この画面を設定する（横方向にフィット）
[3]設定を中止する

2 [1]または[2]で写真を表示エリアの縦横どちらのサイズに合わせるかを選択します。

設定するメニューの分類項目選択画面が表示されます。

3 設定する分類項目を選び[検索/決定]を押して選択します。
写真の上書き確認画面が表示されます。

4 [Y]を押します。

メッセージが表示されて写真が登録され、辞書メニュー画面がフォトメニューに切り替わります。

〓参考〓

＊ 辞書メニュー画面の表示の切り替えは「辞書メニューの設定」をご覧ください。
＊ 写真は１つの分類項目に１枚設定できます。１つの分類項目が２つ以上に分かれている場合でも、同じ写真が表示されます。
＊ 写真を上書きすると、前の写真は表示できなくなります。なお、本製品出荷時の写真に戻すときは、Home画面の「各種設定」から「辞書メニューの設定」「フォトメニューの写真を初期設定に戻す」と選んで行います。

【設定メニューを使う】

リスト表示画面やアルバム表示画面で[切替]を押して、設定メニューを表示させます。この設定メニューで、次の設定ができます。

[1] 台紙の変更

アルバム表示画面や写真1件表示画面で、写真の下（バック）に表示される台紙を変更することができます。

項目を選択すると、台紙の選択画面が表示されます。

台紙を数字キーで選択、またはカーソルを移動させて選び[検索/決定]を押して選択します。

台紙を変更した旨のメッセージを表示して、設定メニューに戻ります。

[2] 写真の表示方向

携帯電話で写した写真など縦型の写真が多いときに、すべての写真を常に90度回転して表示するように設定できます。

この項目を選択すると、表示方向設定画面が表示されますので"✔"を設定したい項目に移し[検索/決定]を押します。

選択した方向にする旨のメッセージを表示して、設定メニューに戻ります。

[3] 写真の表示時間

スライドショーで1枚の写真を表示する時間を設定します。

この項目を選択すると、表示時間設定画面が表示されます。ので "✔" を設定したい時間に移し [検索/決定] を押します。

表示する時間を設定した旨メッセージを表示して、設定メニューに戻ります。

★注意★
＊容量が大きい写真は、表示に時間がかかることがあります。

字幕リスニング追加コンテンツを使う

コンテンツ購入サイトで購入し、パソコンからカードまたは本体メモリーへ転送した字幕リスニング追加コンテンツを使用します。

● カードは「カードの取り付け/取り外し」を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

1 [Home]を押し「字幕リスニング」を選びます。

分類(フォルダ)画面が表示されます。

2 必要に応じ〔➡カード〕または〔➡本体〕にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

3 分類(フォルダ)を選び[検索/決定]を押します。

項目(ファイル)が表示されます。

4 再生したい項目(ファイル)を選び[検索/決定]を押します。

選んだ項目(ファイル)が再生されます。

◆ 字幕リスニング機能の操作方法などは「字幕リスニング機能を使う」をご覧ください。

★注意★

＊追加コンテンツの再生には「前回のファイルを再生」機能はありませんので、「前回のファイルを再生／目次を表示」の選択画面は表示されません。

追加のアプリケーションを使う

コンテンツ購入サイトで購入し、パソコンからカードまたは本体メモリーへ転送したアプリ（アプリケーションプログラム）を使用します。

- カードは「カードの取り付け/取り外し」を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

アプリケーションの起動方法

1 [Home]を押し「追加アプリ」を選びます。

アプリケーション名のリスト画面が表示されます。

2 必要に応じ〔➡カード〕または〔➡本体〕にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

3 使いたいアプリケーションを選び[検索/決定]を押します。

アプリケーションが起動します。

以降の動作はアプリケーションによって異なります。アプリケーションの使いかたは、それぞれの説明書等をご参照ください。

アプリケーションの終了方法

基本的には、[Home]や[辞書メニュー]、[一括検索]、[広辞苑]などのキーを押すと、アプリケーションを終了して、それぞれのキーの機能が働きます。
ただし、アプリケーションによっては、これらのキーでは終了しない場合がありますので、アプリケーションの説明書等をご確認ください。

お願い
追加のアプリケーションについてのご質問等は、各アプリケーションソフトの開発元にお問い合わせください。

メモリーのデータを削除する

本体メモリー、カード内の本のデータなどを削除するときは、ファイル名やタイトルのリスト表示画面で、削除したいデータを選び（カーソルを移し）、[後退] を押します。
削除確認の画面が表示されますので、[Y] を押すと削除されます。

〓参考〓

＊テキストメモのデータなどの削除はここでの説明とは異なります。「テキストメモ for Brain 使用説明」をご覧のうえ操作してください。
＊字幕リスニング以外のデータ（アプリ）は、１データ（１アプリ）ずつ削除できます。字幕リスニングのデータは１データ、１フォルダずつ削除できます。
＊字幕リスニングを除いて、フォルダを削除することはできません。全データを削除する場合は、「カードを初期化（フォーマット）する」の方法でカードを初期化します。
また、電子辞書を初期化すると本体メモリーの全データが削除され、本のサンプルデータが再登録されます。
＊コンテンツ購入サイトで購入したコンテンツを消去後、再度必要になった場合は、パソコンから転送してください（パソコン内のデータを消去していると、再購入しないと転送できません）。
＊ファイルがロック（読み取り専用）になっているときは、削除できません。

★注意★

＊データ削除中にACアダプターを抜き差ししないでください。カード内のデータが壊れて使えなくなる恐れがあります。

メモリーを確認する

本体およびカードのメモリーの容量や空き容量を確認します。

1 [Home] を押し「パソコン接続」を選びます。

2 「カードのメモリー確認」または「本体のメモリー確認」を選び [検索/決定] を押します。

メモリーの容量など、使用状況が表示されます。

カードを初期化（フォーマット）する

他で使用していたカードを使用したい場合や、内容をすべて消去する場合に初期化（フォーマット）します。

★注意★

＊初期化するとカード内のすべての内容が消去されますので、注意してください。

1 [Home] を押し「パソコン接続」を選びます。

2 「カードの初期化」を選び [検索/決定] を押します。

初期化の確認画面が表示されます。

3 [Y] を押します。

カードが初期化されます。

〓参考〓

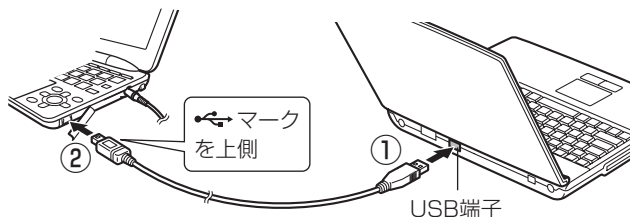
＊電池が消耗しているときは初期化できません。

パソコンと接続する

パソコンと接続して、本体およびカードのメモリーの内容を操作します。

1 [Home]を押し「パソコン接続」を選びます。
パソコン接続機能選択画面が表示されます。

2 接続するメモリーにより「本体メモリーと接続」または「メモリーカードと接続」を選び[検索/決定]を押します。
パソコンとの接続を求めるメッセージが表示されます。

3 端子カバーを開き、付属のUSBケーブルで電子辞書とパソコンを接続します。

4 電子辞書に「パソコンで必要な操作を行ってください」と表示され、パソコンにリムーバブルディスクとして認識されます。
パソコンでデータのコピーや移動など必要な操作を行います。
- パソコンの操作は、パソコンの説明書を参照ください。

5 パソコンでの操作が終了したらパソコンから取り外します。
1 パソコンの取扱説明書を参照して、「ハードウェアの安全な取り外し」操作を行います。(例えば Windows® XPでは、画面右下の をクリックし、表示されるリストから取り外したいハードウェア(デバイス)を選びます。)
2 パソコンと電子辞書からUSBケーブルを取り外します。

★注意★
＊コピーや移動などの動作中は絶対にUSBケーブルを抜かないでください。データが壊れたり、電子辞書が故障する恐れがあります。
＊パソコンで、電子辞書の本体メモリーを初期化(フォーマット)しないでください。初期化すると使用できなくなることがあります。
＊パソコンとの接続中は、電子辞書の画面は暗く(明るさ「1」)なり、電子辞書のキーは働きません。

ダウンロードコンテンツ管理ソフトをパソコンへインストールする・電子辞書と接続する

本製品は、パソコン用ソフト「ダウンロードコンテンツ管理ソフト」(以降、「管理ソフト」と記載) と、電子辞書とパソコンを接続するドライバソフトが収録されており、付属のUSBケーブルで接続してインストールすることができます。
管理ソフトは、弊社のコンテンツ購入サイトへの接続、コンテンツ購入・ダウンロード、電子辞書への転送を実行・管理するプログラムです。

動作環境および対象OS

『管理ソフト』をご使用いただくには、以下の動作環境が必要となります。

電子辞書：　本製品

パソコン：

- 対応OS　Windows® XP、Windows Vista™、Windows 7
  (64bit版はサポートしておりません。)
- CPU
  - (XPの場合)　500MHz以上の32bit(x86)プロセッサ搭載のIBM PC/AT互換機
  - (Vista/7の場合)　1GHz以上の32bit(x86)プロセッサ搭載のIBM PC/AT互換機
- メモリー
  - (XPの場合)　128MB以上 (256MB以上を推奨)
  - (Vistaの場合)　512MB以上 (1GB以上を推奨)
  - (7の場合)　1GB以上
- ハードディスク空き容量　30MB以上の空き容量とコンテンツ保存用の空き容量が必要
- ディスプレイ　SVGA(800×600ドット)以上およびハイカラー(65,536色)以上の解像度を持つカラーディスプレイ
- 必要な周辺機器　USB2.0インターフェース
- インターネット接続　本ソフトウェアの使用にあたっては、インターネット接続環境が必須

本管理ソフトは1台のパソコンに1本のみインストールして使用いただけます。ご使用いただけるのはインストールしたアカウントユーザーのみです。ご使用になるアカウントでログインしてからインストールしてください。※

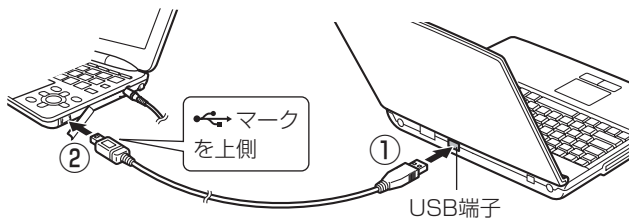
※インストール時にサーバーとのリンク情報が作成されるため、電子辞書とパソコンは1対1でなければ使用できません。

【管理ソフトをインストールする】

1 パソコンでソフトウェアを使用しているときは、それらをすべて終了させます。

2 電子辞書の[Home]を押し「パソコン接続」を選びます。
パソコン接続の機能選択画面が表示されます。

3 「ダウンロードコンテンツ管理ソフトインストール」を選びます。
「USBケーブルで接続してください」と表示されます。

4 端子カバーを開き、付属のUSBケーブルで電子辞書とパソコンを接続します。
- ●パソコンのOSおよび設定により、自動的にインストールプログラムが起動する場合とそうでない場合があります。
  インストールプログラムが起動した場合は手順6へ進んでください。

5 インストールプログラムが自動で起動しない場合は、パソコンで、新しく認識されたドライブ(リムーバブルディスク)内の「setup」をクリックして実行します。
インストールプログラムが起動します。

6 インストールプログラムの画面に従って、インストールを行ってください。

7 インストールが終了したらパソコンから取り外します。
1 パソコンの取扱説明書を参照して、「ハードウェアの安全な取り外し」操作を行います。(例えば Windows® XPでは、画面右下の をクリックし、表示されるリストから取

り外したいハードウェア（デバイス）を選びます。）
2 パソコンと電子辞書からUSBケーブルを取り外します。

【管理ソフトを起動させ電子辞書を接続する】

1 管理ソフトを起動させます。

インストール時にショートカットをデスクトップに作るよう設定していると、右のアイコンがデスクトップに表示されます（標準設定で作成されます）。
このアイコンをダブルクリックします。

● アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「SHARP ダウンロードコンテンツ管理ソフト」と選び「ダウンロードコンテンツ管理ソフト」をクリックしてください。

2 初回起動時は、XMDFリーダーID取得画面が表示されますので、画面の説明に従って取得します。

XMDFリーダーIDと、XMDFリーダーID復旧ファイルが提供されます。
これらは、microSDメモリーカードやUSBメモリーなどで保存しておくことをお勧めします。

〓参考〓

＊XMDFリーダーIDは、ダウンロードしたXMDF形式の電子書籍を表示･再生させるときに必要な著作権保護のためのIDです。

3 パソコンと電子辞書を接続します。

1 電子辞書の[Home]を押し、「パソコン接続」を選びます。
2 「ダウンロードコンテンツ管理ソフト」を選び[検索/決定]を押します。
パソコン接続画面が表示されます。
3 電子辞書に付属のUSBケーブルで、パソコンと電子辞書を接続します。
4 接続されると電子辞書に「パソコンと接続中！」の画面が表示され、パソコンに電子辞書の登録確認画面が表示されますので、[登録]ボタンをクリックして登録します。
● 登録確認画面は、接続した電子辞書が管理ソフトに登録されていないときにのみ表示されます。すでに登録されていると

きは表示されません。

4 管理ソフトを操作して、コンテンツの購入や電子辞書への転送などを行います。

◆ ダウンロードコンテンツ管理ソフトの使用方法は、管理ソフトのヘルプを参照してください。

★注意★

＊パソコンとの接続中は、USBケーブルを抜かないでください。データの破壊や故障の原因になります。
電子辞書を取り外すときは、必ず管理ソフトを終了させてから行ってください。

＊パソコンとの接続中は、電子辞書の画面は暗く（明るさ「1」）なり、電子辞書のキーは働きません。

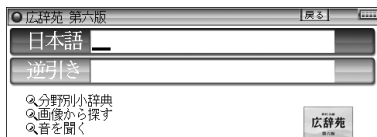
〓参考〓

＊パソコンとの接続中に電池が消耗すると、転送などを中止し、パソコンとの接続が切れます。できるだけACアダプターを接続してご使用になられることをお勧めいたします。

国語系コンテンツ I

広辞苑 第六版

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

逆引き

調べたい言葉の後ろにつく文字（例:「つばき」）を入れます。

分野別小事典　人名　地名　作品名　季語　慣用句

人名　地名　作品名　季語
項目を選択後、必要に応じて読みを入れます。

慣用句：読み
慣用句の読みの先頭２文字を入れます。

慣用句：キーワード
慣用句に含まれる言葉を１～３語入れます。

画像から探す

分野を選んでいって画像を表示させ[▼]、[▲] などで目的の画像を探します。画像を表示させて [検索/決定] を押すと説明などが表示されます。

音を聞く

クラシック音楽のさわり、鳥の鳴き声、日本民謡（出だし）が収録されています。
各項目を選んで再生させます。音再生中に [検索/決定] を押すと説明などが表示されます。

〓参考〓

＊スピーカーで音声を聞くとき
収録している鳥の鳴き声は、自然の中での録音のため電子辞書本体のスピーカーの音響特性上聞き取りにくい場合があります。
スピーカーの音量を大きくしても音が小さい場合は、付属のイヤホンで聞いていただくことをお勧めします。

分野別小辞典のグループ一覧

分野名	グループ		
人名	日本 中国・朝鮮	ヨーロッパ・北アメリカ インド・アフリカなど	
地名	日本	全域 北海道 東北地方 関東地方 中部地方 近畿地方 中国地方 四国地方 九州地方	(全部) 自然地理 地方・県名など 都市名・区町村名など 歴史的地名 自然公園・観光地など その他
	アジア	全域 中国・朝鮮 東南アジア・南アジア 中近東・中央アジア	(全部) 自然地理 国名 地方・州名・省名・県名など 都市名・区町村名など その他
	ヨーロッパ	全域 イギリス・アイルランド 北ヨーロッパ 西ヨーロッパ 南ヨーロッパ 東ヨーロッパ 中部ヨーロッパ 旧ソ連地域	(全部) 自然地理 国名 地方・州名など 都市名・区町村名など その他
	アフリカ		
	北アメリカ		
	中部アメリカ・南アメリカ		
	オセアニア・南極		
作品名	日本	(全部) 文学 芸能 能・狂言 歌舞伎・浄瑠璃	音楽・舞踏 映画・演劇 美術 宗教書 歴史・思想・学術・記録
	中国・インドなど	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸能	美術 宗教書 歴史・思想・学術・記録
	その他の外国作品	(全部) 文学 音楽・舞踏・芸能	映画・演劇 宗教書 歴史・思想・学術・記録
季語	春 夏 秋 冬 新年	(全部) 時候・天文・気象・地形 行事・祭事・習俗・俗信 衣食住 人事(遊び・病気など) 農耕・狩猟・漁労など	動物 植物

類語新辞典

日本語

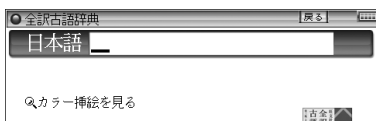
調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

語彙分類体系から探す

各分類を選んでいきます。

全訳古語辞典

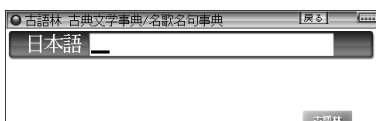
日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

カラー挿絵を見る

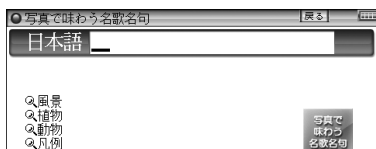
各分類などを選んでいって、挿絵を表示させます。

古語林 古典文学/名歌名句事典

日本語

古典の書籍名、作者名、歌など、調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

写真で味わう名歌名句

日本語

調べたい歌・句のキーワード（仮名または漢字）を入れます。

風景　植物　動物

各項目に関連する歌・句を選んで写真や解説を表示させます。

凡例

凡例（はんれい）を表示させます。

パーソナルカタカナ語辞典

読み

調べたい言葉の読みを入れます。

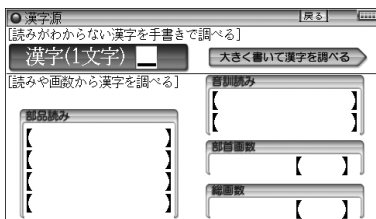
アルファベット略語集　スペル

調べたい略語のスペルを入れます。

漢字源（JIS第1～第4水準版）

JIS第1～第4水準の漢字を調べることができます。

漢字（1文字）

手書き入力パッドで漢字を手書き入力して検索します。

熟語を調べる

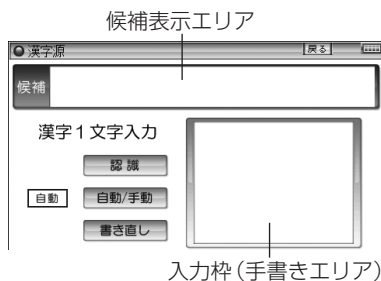
漢字を調べて詳細画面に表示させ、画面上部の〔熟語〕タブにタッチして熟語を表示させて選びます。

注：〔熟語〕タブが表示されないときは熟語が収録されていません。

筆順を調べる

詳細画面に「筆順：図」と表示されているときは、漢字の筆順が収録されています。図にタッチするなどで表示させて確認します。

大きく書いて漢字を調べる

〔大きく書いて漢字を調べる〕にタッチして漢字1文字入力画面を表示させ、入力枠に漢字を書いて候補の中から目的の漢字を選択します。

● 漢字の手書きのしかたや、各ボタンの働きは手書きパッドと同様ですので、手書きパッドの説明を参照ください。

部品読み

漢字を構成する各部分（部品）の読みを1～４種入れます。

【例】「辞」の部品と読みの例

「舌」	した、ぜつ、したへん
「辛」	からい、つらい、しん、かのと
「立」	たつ、りつ、りゅう、りっとる
「十」	じゅう、とお

●どの読みを入れても検索できます。

音訓読み

漢字の読み（音読み、訓読み）を1～2種入れます。

部首画数

部首の画数を入れ [検索/決定] を押し、表示される部首の候補選択画面から部首を選択して [検索/決定] を押して部首を入れます。

総画数

漢字の総画数を入れます。

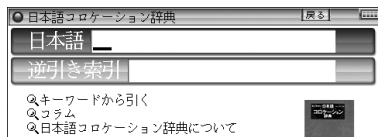
〓参考〓

＊「部品読み」、「音訓読み」、「部首画数」、「総画数」は組み合わせて調べることができます。

日本語コロケーション辞典

二つ以上の語の慣用的なつながりかた（連語）を調べます。

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

逆引き索引

連語の後ろに付く言葉（仮名または漢字）から前にくる言葉を調べます。

キーワードから引く

各項目を選んでいき言葉を調べます。

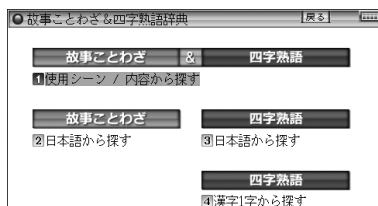
コラム　各項目を選んでいきます。

日本語コロケーション辞典について

この辞典の編集要旨（凡例）などを表示します。

故事ことわざ辞典＆四字熟語辞典

使用シーン/内容から探す

使用シーンなどの項目を選んでいきます。

日本語から探す　（故事ことわざ、四字熟語）

「日本語から探す」を選択すると表示される日本語入力欄に、調べたい言葉（仮名または漢字）を入力します。

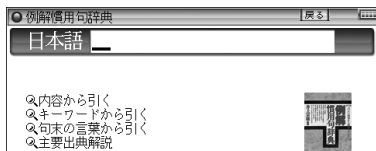
漢字1字から探す　（四字熟語）

漢字源と同様の画面・操作で漢字１字を入力または選択し、その漢字を含む四字熟語を調べます。（「大きく書いて漢字を調べる」機能はありません。）

国語系コンテンツⅡ

例解慣用句辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

内容から引く

内容の分類項目を選んでいきます。

キーワードから引く

キーワードの分類項目を選んでいきます。

句末の言葉から引く

慣用句の後ろに付く言葉を分類項目から選んでいきます。

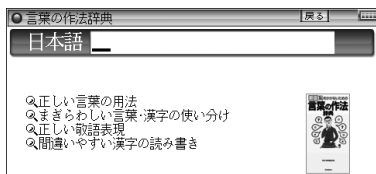
主要出典解説

出典名を選び解説を調べます。

言葉の作法辞典

まちがえやすい言葉の用法などを調べます。

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

正しい言葉の用法

各分類を選んでいきます。

まぎらわしい言葉・漢字の使い分け

各分類を選んでいきます。

正しい敬語表現

各分類を選んでいきます。

間違いやすい漢字の読み書き

各分類を選んでいきます。

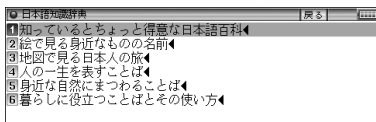
〓参考〓

＊略号などの説明

- ○　：正しい用法・読み・表記の例文。
- ×　：誤った用法・読み・表記の例文。
- △　：本来は誤用だが、現在は広く使われており、辞書でも容認されているなど、必ずしも誤りとはいえない例文。
- ▼　：単文や熟語による用例。
- 参考：言葉の語源や出典、別の読み方や表記など、説明を補完する参考解説。
- ●　：常用漢字表外の漢字。
- ☆　：表記されている訓（読み）が常用漢字表で認められていない字。
- ◆　：書き換え可能。

日本語知識辞典

各項目を選んでいきます。

日本語知識辞典　戻る
1 知っているとちょっと得意な日本語百科
2 絵で見る身近なものの名前
3 地図で見る日本人の旅
4 人の一生を表すことば
5 身近な自然にまつわることば
6 暮らしに役立つことばとその使い方

〓参考〓

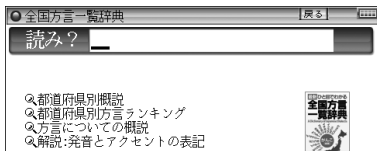
＊記号などの説明

▼用語の解説、誤用の注意など、見出し語に関する情報を必要に応じて示しています。

- [語源]　見出し語の語源を示しています。
- [例]　見出し語の使い方の例を示しています。
- [訳]　和歌の現代語訳を示しています。
- [慣用表現]　見出し語を用いた慣用表現を示しています。
- [出]　見出し語の出典となる書名を示しています。詩文の場合は、作者名と題名を示しました。
- [類]　見出し語と類似した意味を持つ語を示しました。
- [対]　見出し語と反対の意味を持つ語を示しました。

全国方言一覧辞典

読み

調べたい方言の標準的な表現の読みを入力します。

都道府県別概説

内容の分類項目を選んでいきます。

都道府県別方言ランキング

各項目を選んでいきます。

方言についての概説

各項目を選んでいきます。

解説：発音とアクセントの表記

タイトルを選んでいきます。

〓参考〓

＊ガ゚ギ゚グ゚ゲ゚ゴ゚や キャ゚ キュ゚ キョ゚の表記は、ガ ギ グ ゲ ゴ や ギャ ギュ ギョ の鼻音（鼻濁音）を示します。アクセントなどの表記については「解説：発音とアクセントの表記」を選んで、内容をお読みください。

＊「都道府県別方言ランキング」について

① その地方（都道府県）の代表的な方言を方言番付のようなものをイメージして並べました。これは、地方の居酒屋などにある「方言番付のれん」をイメージしています。

② その地方（都道府県）を代表する地域を中心にして選ぶことを原則としましたが、調査者の判断で特定の地域を選んだ地方もあります。しかし、特定の地点ではなく、その地方の広い範囲から方言を選んでいる場合が多いので、読者固有の方言とは異なると感じられることがあるかもしれません。

常用漢字の難読辞典

読み

読み（音読みなど）を入れて漢字を探し、その漢字から始まる言葉の読みや意味を調べます。

読みの五十音順

50音別の分類から言葉を選びます。

読み書き　問題編

問題の種類を選んで、問題のリストを表示させ、□部分に入る漢字や［　］部分の読みを考え、紙などに書きます。そして、その問題を選択して解答を表示させ、答えが合っているか確認します。
確認後、[戻る]でリスト表示に戻って次の問題を解きます。

コラム

タイトルを選んでいきます。

日本語○×辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

目次から探す

各項目を選んでいきます。

〓参考〓

＊表示される記号について
○：正しい使いかた　　×：間違った使いかた
△：本来の使いかたではないが、慣用的に使われているもの

日本語「語源」辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れて言葉の語源を調べます。

目次から探す

各項目を選んでいきます。

〓参考〓

＊表示される記号について

▶ ：見出し語を用いた慣用表現を示します。
⇔ ：見出し語の対義語を示します。
◆ ：見出し語に関する誤用例や追加の解説等を示します。
➡ ：ジャンプして参照できることを示します。

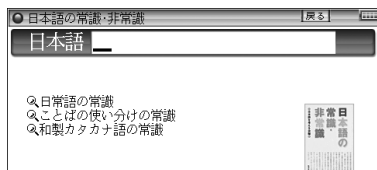
＊略称一覧

〔日故〕 日本の故事・地名に由来することば
〔人名〕 日本の人名に由来することば
〔制度〕 国や社会の制度に由来することば
〔武具〕 戦・武具に由来することば
〔仕事〕 仕事・商いに由来することば
〔芸能〕 芸能に由来することば
〔文芸〕 文芸に由来することば
〔囲碁〕 囲碁・将棋に由来することば
〔賭博〕 賭博やゲームに由来することば
〔相撲〕 相撲・柔道・剣道に由来することば
〔神事〕 神事・祈願・信仰に由来することば
〔陰陽〕 陰陽道・占いに由来することば
〔建築〕 建築・住居にかかわることば
〔着物〕 着物・織物に由来することば
〔単位〕 さまざまな単位に由来することば
〔遊び〕 子どもの遊びに由来することば
〔病名〕 病名・症状にかかわることば
〔挨拶〕 挨拶のことばの由来
〔食物〕 食べ物のことばの由来
〔台所〕 台所仕事にかかわることば
〔女性〕 女性語に由来することば
〔動植〕 動植物の形や性質に由来することば
〔動物〕 動物の名前の由来
〔植物〕 植物の名前の由来

〔自然〕 自然・季節・時間にかかわることば
〔地名〕 日本の地名の由来
〔漢籍〕 漢籍その他に由来することば
〔漢語〕 さまざまな由来をもつ漢語
〔漢文〕 漢文の訓読に由来することば
〔仏教〕 仏教語・梵語に由来することば
〔仏像〕 仏像などに由来することば
〔訳語〕 近・現代の知識人による訳語
〔西故〕 西洋の故事・書物に由来することば
〔基督〕 キリスト教に由来することば
〔西人〕 西洋の人名に由来することば
〔俗語〕 俗語・隠語の由来
〔文筆〕 文筆家などの広めたことば
〔罵言〕 罵倒のことば・嘲笑のことば
〔様様〕 さまざまなことばの由来
〔外来〕 日本語の中の外来語

日本語の常識・非常識

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

日常語の常識

各項目を選んでいきます。

ことばの使い分けの常識

各項目を選んでいきます。

和製カタカナ語の常識

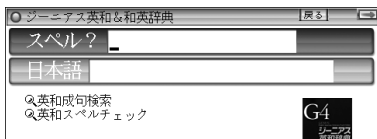
各項目を選んでいきます。

英語系コンテンツ I

ジーニアス英和＆和英辞典

スペル

調べたい単語のスペルを入れます。英和辞典で調べます。

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。和英辞典で調べます。

英和成句検索

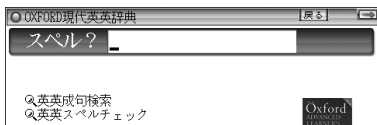
単語（スペル）を1～3語入れ、それをすべて含んだ成句（熟語）を調べます。

英和スペルチェック

確信が持てない単語（スペル）を入れ、該当する単語を調べます（「スペルチェックをする」を参照）。

OXFORD現代英英辞典

スペル

調べたい単語のスペルを入れます。

英英成句検索

単語（スペル）を1～3語入れ、それをすべて含んだ成句（熟語）を調べます。

英英スペルチェック

確信が持てない単語（スペル）を入れ、該当する単語を調べます。

カタカナで引ける英和辞典

読み

調べたい単語の読みを入れます。

スペル

調べたい単語のスペルを入れます。

英会話とっさのひとこと辞典

場面別会話

各項目を選んでいきます。

キーワード検索　読み

キーワードの読み（かな）を入れて、その語を含む会話文を調べます。

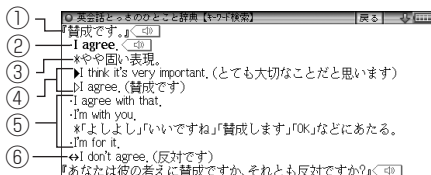
キーワード検索　スペル

キーワード（単語）のスペルを入れて、その語を含む会話文を調べます。

音声連続再生

各項目を選んで会話文を表示させ[🔊 音声]を押すと音声を連続再生します。

〓参考〓

＊詳細画面に表示される説明の構成

①見出し文　　　：日本語の会話文による見出し。

②英語見出し文　：①に対応する英語会話文。

③文・語彙の説明　：②のニュアンス・用法・発音・単語や熟語の意味の解説。日本人が用いるときに注意すべきことなども含みます。

④会話例　　　　　：②を用いた会話例。対話・問答になっているので、どのような場面での会話か、より具体的にわかります。▷が英語見出し文を使った例文です。

⑤類似表現　　　　：①②とほぼ同じ意味をもつ言い換え表現。ニュアンスの異なるときは＊や（　）の日本語訳で説明しています。この言い換え表現は、①②とまったく同じ意味とはかぎりませんので注意してください。同じような場面で用いたときに、ほぼ同じ内容を表現できるものです。

⑥反意文（↔で示す）：①②の文とほぼ対をなす表現。
　応答表現（→で示す）：①もしくは⑤に答えるときの決まった表現。

＊しおりや単語帳には、場面別やキーワードから調べた会話文と、音声連続再生で調べた会話文は、別のデータとして登録されます。音声連続再生で登録された会話文は、各リスト画面でタイトルの前に“[連続]”と表示されます。

音声付き英語発音解説

母音や子音、音のつながりなどの発音の解説と、アメリカ発音、イギリス発音の発音例（一部除く）を調べます。

各項目を選んでいって調べます。

〓参考〓

＊詳細画面で〈🔊〉にタッチすると、下部に掲載の語を発音します。「アメリカ発音」の後ろの〈🔊〉にタッチするとアメリカ発音を、「イギリス発音」の後ろの〈🔊〉にタッチするとイギリス発音を聞くことができます。（ただし、一方の音声しか収録されていない場合もあります。）

英会話Make it!

日常生活で必要な基本表現や、さまざまな場面や状況での応用表現などを調べます。

基本表現編

各項目を選んでいきます。

場面攻略編

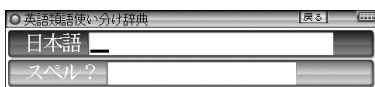
各項目を選んでいきます。

索引　読み

キーワードの読みを入れ、決まり文句の例文や解説を調べます。

英語類語使い分け辞典

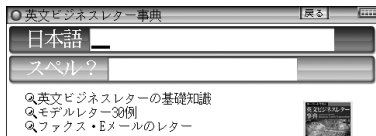
日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れ、その言葉の類語や使い分けを調べます。

スペル

調べたい単語のスペルを入れ、その単語の類語や使い分けを調べます。

英文ビジネスレター事典

日本語

言葉（仮名または漢字）を入れ、決まり文句や例、解説を調べます。

スペル

単語のスペルを入れ、決まり文句や例、解説を調べます。

英文ビジネスレターの基礎知識　ファクス・Eメールのレター

モデルレター 30例

それぞれ各項目を選んでいき、英文レターやファクス、Eメールの書き方、例文などを調べます。

英文手紙用例辞典

手紙用例　Eメール用例　Eメール1行表現

英文手紙の書き方　英語のEメール入門

それぞれ各項目を選んでいき例文や書き方などを調べます。

〓参考〓

＊用例は次の項目に分類して収録されています。

◆例文　英語の手紙文です。例文内の【　】で囲まれた語句は、後ろに用意されている置き換え用の語句と置き換えて練習ができます。なお、【　】の前に(1)、(2)などの番号がある場合は、対応する番号の置き換え用語句と置き換えます。

◆訳文　例文の日本語訳です。訳文内の【　】で囲まれた語句は、例文で【　】部分を置き換えたとき、対応する日本語語句に置き換える語句を示します。

◆語句　例文の語句注です。

【置き換え】

例文の【　】で囲まれた部分と置き換えて練習する語句です。

□応用　手紙文と同じテーマの別の文や発展的な表現を示しています。(収録されていない場合もあります。)

★注意★

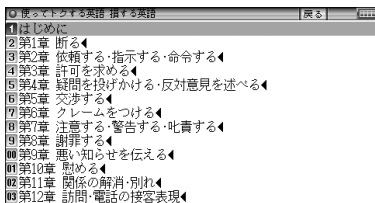
＊本辞典の例文その他に使用されている会社名、製品名、人名、住所などは架空のものです。

英語系コンテンツⅡ

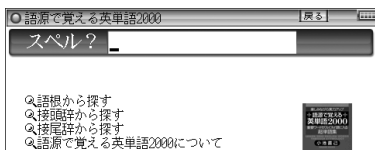
使ってトクする英語 損する英語

英語のネイティブ流の流儀やノウハウ、表現など調べます。

各項目を選んでいって調べます。

使ってトクする英語 損する英語　戻る
1 はじめに
2 第1章 断る
3 第2章 依頼する・指示する・命令する
4 第3章 許可を求める
5 第4章 疑問を投げかける・反対意見を述べる
6 第5章 交渉する
7 第6章 クレームをつける
8 第7章 注意する・警告する・叱責する
9 第8章 謝罪する
00 第9章 悪い知らせを伝える
01 第10章 慰める
02 第11章 関係の解消・別れ
03 第12章 訪問・電話の接客表現

語源で覚える「英単語」2000

スペル

単語のスペルを入れ、意味や語源を調べます。

語根から探す　　接頭辞から探す　　接尾辞から探す

それぞれ各項目を選んでいきます。

語源で覚える英単語2000について

本コンテンツの解説を調べます。

〓参考〓

＊前に＊マークが付く語は重要語、⁑マークが付く語は最重要語です。

＊本コンテンツでは「語根」で扱った単語が「接頭辞」または「接尾辞」でも出てくることがあります。知識の定着と、語源の知識をさらに応用できるようにするため、135個の単語に関しては敢えて複数収録しています。

英単語・熟語ダイアローグ1200

字幕リスニングコンテンツです。「字幕リスニング機能を使う」を参照ください。

名演説・名せりふ集

字幕リスニングコンテンツです。「字幕リスニング機能を使う」を参照ください。

健康コンテンツ

新 家庭の医学

「新 家庭の医学」の記述内容に関するお問い合わせは下記へお願いいたします。
株式会社　時事通信社　電話　03-3591-8690

★注意★
＊ひとつの症状に対して、さまざまな病気や原因がありますので、自己診断は禁物です。必ず早めに医師の診察を受けてください。

【家庭の医学の見かた】

からだに異常が見られたときは？

「症状から探す」をご覧ください。熱っぽい、だるい、せきが出るなど、いつもと違う症状があらわれたときは、その症状から考えられる病気とその病気特有の他の症状を挙げておきました。さらにその病気についてより深く知りたいときは、その箇所にジャンプすることができます。

病名がわかっているときは？

病名がはっきりとわからないときは「項目から探す」をご覧ください。病名がはっきりとわかっているときは「病名から探す」で読みを入力して探します。おもな病気について、原因、症状、診断、検査、治療、予防など多面的に解説してあります。

一刻を争う事故やけが、病気のときは？

「応急手当て」をご覧ください。人工呼吸や心臓マッサージ、止血など、特に一刻を争うものから包帯や三角巾のしかたなど、イラストとともにわかりやすく解説してあります。

検査を受けたときは？

「検査の知識」をご覧ください。健康検査などでおこなわれる一般的な検査から精密検査まで、検査の意味と役割、検査値の見かた等をくわしく解説してあります。

結婚・妊娠・出産・子育てのときは？

「妊娠・出産」をご覧ください。これから新たに親になる方々に役立つ知識をわかりやすく解説してあります。

病気を防ぎたい・身近な人が病気になったときは？

「病気の予防と家庭での健康知識」をご覧ください。成人病（生活習慣病）やいろいろな病気にならないための日常生活の注意を解説してあります。

話題の医療・医学用語を知りたいときは？

「医学の知識」をご覧ください。進歩めざましい現代の医学界のトピックスや重要な医学用語等についてわかりやすく解説してあります。

病院・診療所に行くときは？

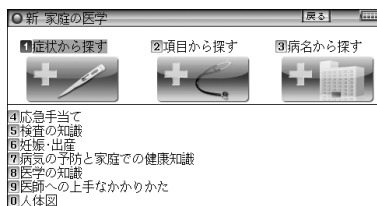
「医師への上手なかかりかた」をご覧ください。医療施設や診療科目の選びかた、家庭医の重要性などについても知ることができます。

人体の構造・名称は？

「人体図」をご覧ください。詳細なイラストで各部位の名称がわかるようになっています。それ以外に、本文中にもそれぞれの部位ごとに構造とはたらきをイラストを使いながら紹介してありますので、併せてご覧ください。

【新 家庭の医学を使う】

症状から探す

各項目を選んでいきます。

➡マークがついた病名は、タッチする（または[Sジャンプ]で選んで[検索/決定]を押す）と説明が表示されます。

項目から探す

各項目を選んでいきます。

病名から探す

調べたい病名や検査名などを入れます。

応急手当て　検査の知識　妊娠・出産

病気の予防と家庭での健康知識　医学の知識

医師への上手なかかりかた　人体図

それぞれ各項目を選んでいきます。

医者からもらった薬がわかる本2010年版

「医者からもらった薬がわかる本」に収録された薬の解説を薬の名前から調べることができます。また、内服薬は識別コードから調べることもできます。重大な副作用の初発症状一覧も収録しています。

★注意★

＊本製品に搭載している「医者からもらった薬がわかる本2010年版」（法研）は、2009年7月に刊行された書籍を元に収録しております。本製品で扱っている薬は約9,100品目で、内服薬 約7,200品目、外用薬 約1,600品目を収録しております。また、抗がん薬については注射薬を含めて約300品目を収録しています。収録されなかった薬は、使用頻度が極めて少ないもの、ごくまれな病気の治療に用いられる薬などに限られます。また、書籍の発刊後に承認された新薬もありますので、不明の薬については、処方医や薬剤師にお問い合わせください。

【識別コードの見かた】

お医者さんからもらった薬を知りたいとき、薬の本体や包装（パック）についているしるし（識別コード）をもとに調べることができます。

「内服薬をコードで探す」では、包装についているコードや薬本体についているコードをもとに薬の名前を探して、薬の内容を調べます。

- 商品名や一般名がわかっている場合は「名前から探す」でも調べられます。

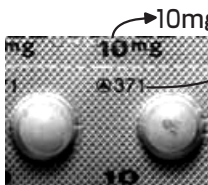
★注意★

＊製薬メーカーのマークは入力しません。

■ 識別コードをもとに内服薬を調べましょう

包装（パック）にある数字で調べる場合

- 包装コードに記載の数字（左では「0.5」）で調べます。
- アルファベットは先頭から2文字を用いて調べます。ハイフンで区切られている場合は、その前または後ろのアルファベットで調べます（左では「Y」または「DP」で調べます）。

包装（パック）に異なる数字がある場合

- どちらかの数字（左では「10」か「371」）で調べます。
  多くの場合は、どちらでも調べられます。
- 数字のみでアルファベットがついていないものは、数字だけで調べます。

包装（パック）に数字がない場合

- 包装コードに数字が入っていない場合には、アルファベット（左では「OL」）で調べます。

包装にコードがないものは本体コードで調べてください。

★注意★

＊製剤パッケージの耳の部分についているコードは、切り落とされることがあります。そのため、本製品では原則的には識別コードとして扱いません。例外として使用している場合は、（耳）と表示しています。

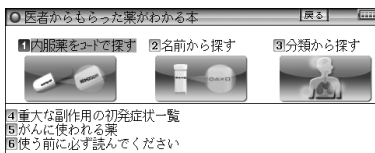
＊識別コードは最新の情報にもとづいて収録されていますが、変更されることがありますので、不審な点がある場合は処方医や薬剤師にたずねてください。

※ 記述内容などのお問い合わせは下記事務局まで文書にてお願いします。

医薬制度研究会事務局
〒461-0040 名古屋市東区矢田二丁目11番36号
インターネット・ホームページ
http://www.et-jr.org

【医者からもらった薬がわかる本を使う】

内服薬をコードで探す

薬の包装（パック）または薬本体に記されている数字やアルファベット（識別コード）を入れます。

名前から探す

薬の名前（仮名または漢字）を入れます。
数字やアルファベットから始まる薬は、リストから名前を選びます。

分類から探す

各項目を選んでいきます。

重大な副作用の初発症状一覧

各項目を選んでいきます。

がんに使われる薬

- 識別コードから探す：薬の包装または薬本体に記されている数字やアルファベットを入れます。
- 名前から探す：クスリのリストから名前を選びます。
- 分類から探す：各項目を選んでいきます。
- コラム：共通事項のみかた：この項目を選ぶと内容が表示されます。

使う前に必ず読んでください

項目を選ぶと内容が表示されます。

〓参考〓

＊薬のリスト画面や詳細画面で表示される 4 2、③8 などの数字は、薬の分類を示す番号です。

□…内服薬　○…外用薬　漢…漢方薬
■…抗がん（内服）　●…抗がん（外用）　注…抗がん（注射）

なお、記号と分類名は次のとおりです。

1 痛み・熱
2 中枢神経用薬剤
3 心臓疾患用剤
4 血圧改善用剤
5 その他の循環器系薬剤
6 呼吸器系薬剤
7 胃腸疾患用薬剤
8 肝・膵・胆道・痔疾疾患用剤
9 ビタミン・アミノ酸・ミネラル・血液疾患用剤
10 女性専科
11 内分泌疾患用剤
12 皮膚科用薬剤・泌尿器科用薬剤
13 その他の薬剤
14 抗生物質
15 抗菌製剤・抗結核薬

① 催眠・鎮静薬
② 解熱・鎮痛・鎮けい薬
③ 眼科用薬
④ 点耳・点鼻薬
⑤ 腟用薬剤
⑥ 便秘・痔疾用薬剤
⑦ 皮膚病（湿疹・おでき類）用薬
⑧ 皮膚病（たむし・水虫類）用薬
⑨ 抗生物質坐薬
⑩ 吸入薬
⑪ その他の外皮用薬

1 非特異的抗がん薬
2 アルキル化剤
3 代謝拮抗薬
4 アルカロイド製剤
5 ホルモン・抗ホルモン剤
6 その他の抗がん薬
7 がんに使われるその他の薬剤

❶ 代謝拮抗薬
❷ 抗生物質
❸ がんに使われるその他の薬剤

注1　免疫増強剤
注2　アルキル化剤
注3　代謝拮抗薬
注4　アルカロイド製剤
注5　抗生物質
注6　白金錯体製剤
注7　抗ホルモン剤
注8　インターフェロン・インターロイキン製剤
注9　その他の抗がん薬
注10　がんに使われるその他の薬剤

＊薬の形状などは、次の略称で示しています。

錠：錠剤	カ：カプセル剤	散：散剤・顆粒剤	液：液剤
シ：シート剤	ゼ：ゼリー剤	坐：坐剤	軟：軟膏

EBM 正しい治療がわかる本

★注意★

＊本製品に搭載している「EBM　正しい治療がわかる本」（法研）は、2003年10月に刊行された書籍を元に収録しております。
本製品では177の病気に対して、現在一般的に行われている治療や、おもに使われている薬の効果を「EBMでチェック」する問題として設定しました。それらについて、医学論文を検索・検証し、その結果から、根拠を評価しています。根拠の強さを☆の数で示し、「評価のポイント」を解説しました。どんな治療や薬が信頼性が高く、行うべき治療なのか、あるいは使うべき薬なのかが一目でわかるようになっています。セカンド・オピニオンとしてお役立てください。
なお、本製品で検索した医学論文は、2003年春までのものです。
※セカンド・オピニオンについての解説は、本コンテンツの最初の画面から、次の順に項目を選んでご参照ください。
「EBMについて」―「EBMキーワード」―最後の項目「セカンド・オピニオン」

【見方・使い方】

セカンド・オピニオンがほしいときに活用！

ある日、T雄さんのお父さんは、がんと診断されました。お医者さんの説明はていねいでしたが、気が動転してしまったお父さんは、専門的で難しい医学用語について尋（たず）ねることもできずに、帰ってきました。治療方法を選ばなくてはいけないのに、どうも、受けた説明の内容をほとんど忘れてしまっているようです。すっかり弱気になったお父さんはT雄さんに決めてくれといいます。とはいえ、T雄さんも特別、医学にくわしいわけではなく困ってしまいました。
一方、子宮内膜症（しきゅうないまくしょう）と診断されたA子さん

は、担当のお医者さんに手術を勧められましたが、数年前同じ病気にかかったＢ代さんは、確かなにもしないでようすをみることにしたことを思いだしました。しかも、Ｂ代さんはいまも元気そうです。どうして、私には手術が必要なのかしら、とＡ子さんは少し納得がいきません。

こんなとき、Ｔ雄さん（か、お父さん本人）もＡ子さんも本来は、担当のお医者さんにそのままの気持ちを告げて、十分納得のいく説明を受けるべきなのでしょう。

しかし、日本の医療では、まだまだ、医師と患者が対等の関係で話し合えるという環境が整っていないのが現実です。また、質問はしたいのですが、なにをどのように聞いたら知りたいことがわかるのか、それがわからないという人も少なくないでしょう。

病気や薬に対する情報は、いまや巷（ちまた）にあふれていますが、量が膨大なだけに、本当に信頼できる情報がどれなのかを見極める目が、求められるようになっています。

本コンテンツは、病気に対してなにかしら不安があるとき、あるいは診断や治療にどうも納得がいかないといったときに、確かな情報を得るために、ご利用ください。

EBMで医療への不安や不満を解消する

本コンテンツでは、一般的にかかりやすく、医療機関を受診する理由となることが多い177の病気を取り上げ、それら一つひとつの病気に対してEBM（Evidence-based Medicine 科学的根拠に基づく医療）の手順にしたがって、いま、もっとも適切と考えられる治療を示しています。

EBMという言葉をはじめて聞く方も多いかもしれませんが、ＥＢＭは、まさにＴ雄さんやＡ子さんがもつような医療に対する不安や不満を解消し、信頼できる確かな情報を提供してくれるものなのです。

EBMとその手順については、「はじめに」でくわしく述べられていますが、ごく簡単にいうと、医師が日常の診療をするうえでなにかしらの疑問点（問題の設定）にであったとき、その疑問点についてそれまでに世界中で発表された医学論文をでき得る限り検索し、それらの結論（エビデンス＝根拠）を評価し、そのなかでもっとも信頼できると考えられる結論を知ったうえで、実際の診療を行おうというものです。

☆の数で評価がひと目でわかる

本コンテンツは、医師が実際に用いる手順にしたがって構成されています。それぞれの病気の治療の一つひとつについて、「お医者さんと同じプロセスで、同じ情報を共有する」画期的な試みです。

まず、177の病気に対して、現在一般的に行われている治療や、おもに使われている薬の効果を「ＥＢＭでチェック」する問題として設定しました。それらについて、医学論文を検索・検証し、その結果から、

根拠を評価します。根拠の強さ（＝どれくらい信頼性が高いか）を☆の数で示し、「評価のポイント」を解説しました。☆の数で根拠の強さがひと目でわかる、これが大きな特色です。そして、根拠の強さは、もっとも信頼性の高いものから5段階で示しています（「治療と薬の評価基準」）。どんな治療や薬が信頼性が高く、行うべき治療なのか、あるいは使うべき薬なのか、この判断についても専門家が実際に医学論文の結論を評価する際に用いる基準を参考にしました。本コンテンツを有効に活用し、正しい情報を得るためには、☆の示す意味の理解が欠かせません。

☆☆☆☆☆～☆☆☆は行う根拠が明確である

☆☆☆☆☆で示された治療や薬は、ランダム化比較試験（「研究方法（研究デザイン）の種類」）と呼ばれる研究方法や、そうした研究方法による成果を複数集めて、統計学的に統合するといった研究方法によって効果が確認されたものです。臨床研究のデータが豊富で、非常に信頼性の高い根拠に裏づけられた治療や薬といえます。

☆☆☆☆で示された治療や薬は、ランダム化比較試験などよりは少し信頼性が劣りますが、十分信頼性の高い臨床研究によって、その効果が確認されているものです。

☆☆☆で示された治療や薬は、効果を認める研究論文はあるのですが、臨床研究の規模が小さかったり、比較試験ではなかったりするもので、信頼性の高さからいうとやや低くなります。ただし、新しい治療などは、効果は期待されていても、それを確認するための十分な裏づけ（臨床研究の結果）が揃うまでには、ある程度の時間が必要となる場合もあります。☆☆☆には、今後のさらなる研究成果が待たれるものなどが含まれます。

このように、☆☆☆☆☆～☆☆☆は、実際の患者さんを対象にした医学研究で有効性が示されている治療や薬です。

一概に評価するのが難しい☆☆、やってはいけない★

一方、☆☆には、いくつかの意味が含まれています。まず、今回の検索では根拠となる医学論文が見つからなかったものの、その有効性が専門家の意見や経験から支持されている治療や薬です。

医学論文が見つからない、つまり臨床研究が行われていない理由には次のようなものがあります。経験的に効果がすでに明らかであって、あまりにも医学的に当然と考えられているため、改めて治療や投薬を行わない患者さんのグループをつくって、治療や薬の効果を検討することができないもの（ペニシリンなど）、妊婦や胎児への影響が大きいと考えられたり、救急時の対応でそれを行わないと生命にかかわる可能性が高く、臨床研究は倫理的に行えないもの（心停止時の心肺蘇生（そせい）法など）、などです。

また、臨床研究が行われ、医学論文は発表されているのですが、相

反する結論がでていて、統一した見解が得られないものも☆☆で示しました。

さらに、効果がはっきりしないこと（あるいは害があること）を示す医学論文が見つかったのですが、その信頼性がそれほど高いわけではない場合や、効果を認めるにしても非常にわずかなものであったり、副作用が大きすぎたりして勧められない場合にも☆☆で示しています。

そして、わが国で市販されている薬については、その承認審査で用いられたときの研究データや論文が簡単に入手できないものはすべて☆☆で示しました。

このように、☆☆には効果があると考えられるものと、注意深く検討しなければならないものが含まれています。これらのどれに当たるかは、評価のポイントに解説していますので、よくお読みください。

★で示された治療や薬は、取り上げた病気に対して効果がない、あるいは害があるという結論の医学論文があるか、専門家の意見や経験から否定されているものを示します。

このようにして治療や薬の科学的な評価をふまえたうえで、最終的には著者の視点から判断して、「総合的に見て現在もっとも確かな治療法」を病気ごとにまとめています。177の病気に対して、現時点で適切と考えられる治療の一つの指標となるものであり、読むセカンド･オピニオンとして活用していただければと思います。

より質の高い医療を得るための情報として役立てる

医学研究の結論は、あくまでも過去の患者さんを集団として観察し、得られたデータを統計学的に解析したものです。どのような事柄についても、平均値からはずれる人がいる（だからといって異常とはいえない）のは当然なように、医療においても医学研究の結論があてはまらない患者さんも少なからずいるのが実情であり当然です。

したがって、☆☆☆☆☆～☆☆☆で示された治療が行われていない、あるいは薬が使われていない、また、★で示された治療が行われている、あるいは、薬が使われているからといって、そのことがただちに誤った医療ということにはなりません。医師は一人ひとりの患者さんの特徴をよく考えたうえで、その患者さんに最適な治療や薬を決めるのですから、医学研究の結論（標準的な治療）とは異なることもしばしばおこりえます。そのような場合には、なぜ標準的な治療と異なるのか、医師から説明されるものと思われます。

セカンド・オピニオンとは、医療への不信を募（つの）らせるための情報ではなく、より質の高い医療を得るために役立てることができる情報です。本コンテンツがその役割の一端を果たせることを願っています。

現在も世界中で多くの臨床研究が行われています。それらの結論が蓄積されることによって、最良の根拠は、日々刻々と変わり得るものであることもまた、EBMの大きな特徴です。今回検索した医学論文は、

2003年春までのものであることをお断りしておきます。

■ 治療と薬の評価基準

☆☆☆☆☆‥非常に信頼性の高い臨床研究によって効果が確認されている
（ランダム化比較試験やメタ分析などによる根拠がある）
☆☆☆☆‥‥信頼性の高い臨床研究によって効果が確認されている
（非ランダム化比較試験による根拠がある）
☆☆☆‥‥‥臨床研究によって効果が確認されている
（観察研究による根拠がある）
☆☆‥‥‥‥臨床研究によって効果が確認されていないが、専門家の意見や経験から支持されている
（患者さんのデータに基づかない、専門委員会報告や専門家・権威者の意見によって支持されている）
臨床研究によって効果がないことが示唆されている
（効果がないこと、有害であることが質の高い臨床研究によって明確に確認されているわけではないが、小規模な観察研究などによって示唆されている）
いろいろな理由によって臨床研究が行われていないが支持されている
（効果がすでに明らかであって、無治療群を対照とする臨床研究を行うことは認められない）
（妊婦や胎児への影響が大きいと考えられたり、救急時の対応であって、あらためて臨床研究を行うことは倫理的に許されず、病態生理学的判断や、経験上支持されている）
異なった結論（効果があったとする場合、効果がなかったとする場合）を示す臨床研究が報告されており、評価が定まっていない
（有効、無効両者の結論を示す臨床研究がある）
（質の高い臨床研究によって有効なことは認められているが、有効率が非常にわずかであったり、大きな副作用が認められる）
薬の承認審査などに用いられたはずの研究データや論文が、簡単に入手できないもの
★‥‥‥‥‥臨床研究によって行う（使う）べきではないという結果が示されている
（健康上の害や副作用が有効性を上まわる、あるいは医療経済的にあまりにも負担が大きい）
（行うべきではないという根拠がある）
専門家の意見や経験から支持されていない

（患者さんのデータに基づかない、専門委員会報告や専門家・権威者の意見によって否定されている）

推奨度との関係

本コンテンツでは、推奨度の強さを示さないが、エビデンス（☆（★）の数）と推奨度の関係はほぼ下記のようになる

☆☆☆☆☆〜☆☆☆…行うよう（強く）勧められる

☆☆……………………行うよう勧められる場合と現段階ではどちらともいえない場合がある

★………………………行わないよう勧められる

行うべきでない

※ 本コンテンツではおもに国際的データベースや英文雑誌をその検索対象としております。

■ 研究方法（研究デザイン）の種類

［1］観察研究

1. 記述研究

症例報告やケースシリーズなど、日常診療のなかで観察した患者さん（一人ないし複数）についてデータをまとめたもの。まれな病気の患者さんについてのものが多い。

2. 分析疫学的研究

非実験的な観察研究で、このなかにはコホート研究や症例対照研究、横断研究などが含まれる。たとえば、喫煙と肺がんの関連性を示すために、コホート研究では、喫煙者と非喫煙者を10年間観察して、両群での肺がんの発生率を比べる、症例対照研究では、肺がんになった患者さん100人と、年齢や性別が同様で肺がんのない100人の間で、過去喫煙していた人の割合を比べる、といった方法が取られる。横断研究では、ある一時点で、喫煙者で肺がんの既往がある人の割合、非喫煙者で肺がんの既往のある人の割合を比べる。

3. 質的研究

患者さんなどへのインタビューや質問票により、または特定の地域に短期間住み着いて住民の行動、言動を観察することにより、価値観や考え方を記述する。

［2］実験的研究（または介入研究）

1. 非ランダム化比較試験

薬などの効果を調べる研究のうち、たとえば、新薬と対照となる薬（プラセボや従来使われている薬）のどちらに患者さんが割り付

けられるのかが、無作為（ランダム）に決定されないものをいう。

2. ランダム化比較試験

薬などの効果を調べる研究のうち、たとえば、新薬と対照となる薬（プラセボや従来使われている薬）のどちらに患者さんが割り付けられるのかが、ランダムに決定されるものをいう。現在のところ、もっとも信頼性の高い結論（質の高いエビデンス）を導きだすことのできる研究デザインと考えられている。

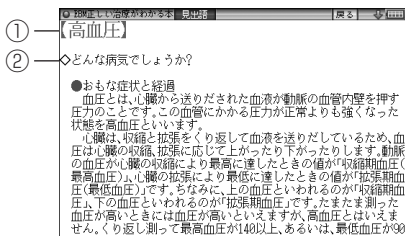
［3］データ統合型研究

1. システマティック・レビュー／メタ分析

システマティック・レビューとは、特定のテーマについて、過去に発表された複数の論文を、一定の体系的な方法でまとめることをいう。メタ分析は、そのなかでも、複数の論文のデータを統計学的な方法で統合して、対象患者数を増やしたデータとする研究手法である。たとえば、全世界で、かぜ（咽頭痛）の患者さんでの抗菌薬の有効性について、これまでに行われた25篇のランダム化比較試験のデータを統合したメタ分析では、抗菌薬が用いられた患者さんの群で、かぜの症状の持続時間が16時間短くなっていた。

2. 決断分析／費用効果分析

特定のテーマ（たとえば脳ドックでみつかった脳動脈瘤）について、臨床決断（予防的に手術するべきかどうか）に必要なさまざまなデータ（破裂する確率、破裂した場合の死亡率、自覚症状や機能障害で苦しむ度合い－完全に健康な状態を1.0、死亡を0としたときにどれくらいの数値になるか、を表す効用値、医療費など）を統計学的に組み合わせて、もっとも適切で効率的な診療行為を特定する

［内容の見方］

①一般的にかかりやすいと考えられ、医療機関で受診する理由となることの多い177の病気を取り上げています。

②おもな症状や経過、病気の原因やおこってくるしくみ、統計的に見た特徴などを解説しています。

③現在、一般的に行われている治療やケアを取り上げ、EBMの手順にしたがってチェックしていきます。

④具体的な治療やケアの方法です。個々の治療法や手術法など難しい専門用語があげられている場合は「評価のポイント」で解説しています。

⑤あげられている治療やケアについて、根拠の信頼性を☆（★）の数で示しています。

⑥治療やケアについて、検索・検証した結果を簡潔にまとめ、☆の数の評価のポイントを解説しています。とくに☆☆については、いろいろな場合がありますので、よくお読みください。➡マークに続く(1)、(2)などの数字は、参考にした文献を示す番号で、文献のタイトルなどの情報へジャンプして参照できます。

⑦よく使われているおもな薬を取り上げ、EBMの手順にしたがってチェックしていきます。

⑧どのような治療のために用いる薬であるかを示し、代表的な薬剤の商品名（一般名）で表記しています。➡マークに続く数字は、参考にした文献を示す番号で、文献のタイトルなどの情報へジャンプして参照できます。

⑨あげられている薬について、根拠の信頼性を☆（★）の数で示しています。

⑩それぞれの薬について、検索・検証した結果を簡潔にまとめ、☆の数の評価のポイントを解説しています。

⑪

EBM正しい治療がわかる本　見出語　戻る

◇総合的に見て現在もっとも確かな治療法

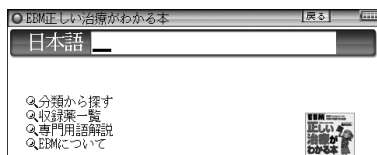
●生命を左右する危険な病気を招く高血圧
　高血圧は、血圧が高いことそれ自体が問題というよりも、長年血圧が高いままだと動脈の壁に動脈硬化性の変化が現れ血管がつまったり、破れたりすることによって深刻な病気を招く危険性が高くなるということがより重要な点です。すなわち、動脈硬化によって引きおこされうる病気を防ぐために、血圧をあるレベルまで下げる必要がでてくるのです。したがって、高血圧の患者さんでは、高血圧以外の動脈硬化を促進する要因(喫煙、高脂血症、糖尿病、肥満など)があるかどうかに配慮することが非常に重要になってきます。

●生活習慣の改善から治療を開始する
　高血圧は、わが国を含め、先進諸国では重大な問題であり、長年にわたって非常に多くの信頼性の高い研究が行われてきたテーマ

⑪治療やケア、薬についての評価をふまえ、著者の視点から総合的に判断して、現時点でもっとも適切と思われる治療をまとめています。自分や家族が病気にかかり、受けている治療についてなにか不安を感じる場合にはセカンド・オピニオンとして参考にしてください。

【EBM 正しい治療がわかる本を使う】

日本語

調べたい病名（仮名または漢字）を入れます。

分類から探す　収録薬一覧　専門用語解説

EBMについて

それぞれ、各項目を選んでいきます。

〓参考〓

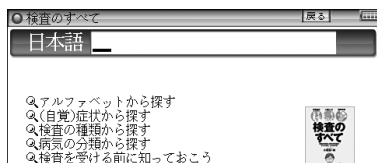
＊「収録薬一覧」では、収録しているすべての薬の名前を数字･アルファベット順、および50音順に掲載しました。名前のあとには掲載されている病名を記してあります。
なお、一覧表の薬品名の前に【先】、【後】をつけて、先発品、後発品を示しています。先発品とは日本で最初に発売された薬（新薬）のことです。新薬には開発したメーカーの特許権があり、特許出願後の20～25年間、そのメーカーから独占販売されます。新薬の開発には、長い年月と莫大な投資が必要とされるため薬価もやはり高くなります。一方、先発品の特許が切れたあとに、先発品と同じ成分でつくられた薬を後発品と呼びます。後発品は厚生労働省の承認を得て販売される薬ですので、効きめなどは先発品と変わらないと考えられています。世界的にはジェネリック医薬品と呼ばれており、開発費が先発品よりは少なくてすむため薬価は安くなります。

検査のすべて

★注意★

＊本コンテンツの数値は2003年4月現在のものです。
検査基準値は毎年見直されており、変更される場合があります。
検査手段や検査機関によって異なる検査基準値が設けられている場合があり、本コンテンツの数値と必ずしも一致しない場合があります。
検査の結果については医師の判断を受け、指示に従ってください。
自覚症状から病名を調べる場合、ひとつの症状に対して、さまざまな病気や原因がありますので、自己診断は禁物です。
必ず早めに医師の診察を受けてください。

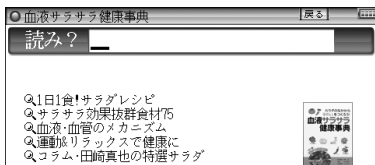
日本語

調べたい検査名や病名（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す
（自覚）症状から探す
検査の種類から探す
病気の分類から探す
検査を受ける前に知っておこう

各分類を選んでいきます。

血液サラサラ健康事典

読み

調べたい食材、料理名の読みを入れます。

1日1食！サラダレシピ
サラサラ効果抜群食材75
血液・血管のメカニズム
運動＆リラックスで健康に
コラム・田崎真也の特選サラダ

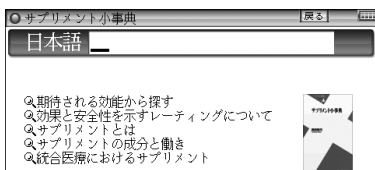
各分類を選んでいきます。

〓参考〓

＊"〈図〉[パラパラアニメ]"は、複数の図を切り替えてパラパラアニメ風に表示することを示します。最後まで表示すると「[検索/決定]で終了します」と表示されますので[検索/決定]を押します。

サプリメント小事典

日本語

サプリメントの名前（仮名または漢字）を入れます。

期待される効能から探す
効果と安全性を示すレーティングについて
サプリメントとは
サプリメントの成分と働き
統合医療におけるサプリメント

それぞれ、各項目を選んでいきます。

〓参考〓

＊サプリメント付表、図
サプリメントの詳細画面で「➡ 表、図」と表示された場合は、付属の取扱説明書に収録している表や図を参照してください。

サプリメント小事典の記述内容などに関するお問い合わせは下記へ書面にてお願い致します。
〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4 株式会社 平凡社
ホームページ：http://www.heibonsha.co.jp/

健康管理事典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

目次から探す

各分類を選んでいきます。

能力開発コンテンツⅠ

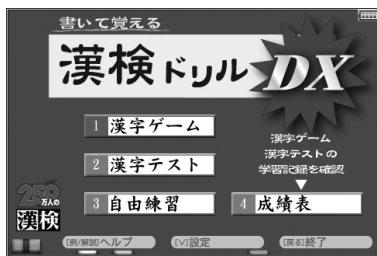
漢検ドリル

「漢検」5級から2級までの問題演習ができるアプリケーションです。漢字力のアップや、「漢検」の受験準備などにご利用いただけます。

[例/解説] ヘルプ

使いかた、解答方法などを確認します。

漢字ゲーム

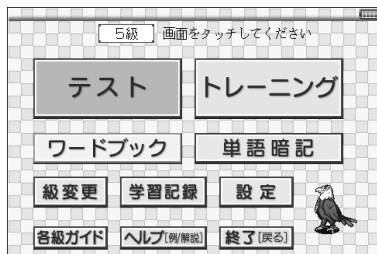
種類やレベルを選んでゲームをします。

漢字テスト	種類やレベルを選んでテストをします。
自由練習	問題数や制限時間を設定して練習をします。
成績表	漢字ゲーム、漢字テストの成績表（学習記録）を見ます。
[V] 設定	判定音の音量設定や学習記録の削除をします。
[戻る] 終了	アプリケーションを終了します。

【操作・内容についてのお問い合わせ先】
アスク　ユーザーサポート係
○電話：03-3267-6500　　月曜日から金曜日　10:00～17:00
　※年末年始、祝日、弊社（アスク）休業日などは除く
○電子メール：support@ask-digital.co.jp

英検トレーニング

「英検」5級から1級までの問題演習ができるアプリケーションです。英語力のアップや、「英検」の受験準備などにご利用いただけます。

各級ガイド
　問題の種類や傾向などを確認します。

級変更
　学習する「級」を選択します。

テスト	出題される問題を解いていきます。
トレーニング	問題の種類などを選んで練習します。
ワードブック	単語リストなどで学習をします。
単語暗記	単語カードのような学習をします。
学習記録	学習記録を表示します。
設定	音量の設定や学習記録の初期化などをします。
ヘルプ[例/解説]	操作方法などを確認します。
終了[戻る]	アプリケーションを終了します。

【操作・内容についてのお問い合わせ先】
(株) 旺文社デジタル事業部
　〒162-8680　東京都新宿区横寺町55
　電話：03-3266-6018（11:00-16:00）
　　※年末年始、土日祝日および弊社休業日などを除く

新TOEIC®テスト完全攻略

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This product is not endorsed or approved by ETS.

本ソフトは新TOEICテストの出題傾向に合わせて作成した模擬試験問題と単語を収録したTOEIC®テスト対策トレーニングソフトです。

[例/解説] ヘルプ
　使いかた、解答方法などを確認します。

実力診断
　現在の実力を診断し学習アドバイスを見ます。

模擬試験　模擬試験を行います。

Part別トレーニング　パート別に練習を行います。

単語力強化レッスン　レベル別に単語学習を行います。

単語帳　重要単語を収めた単語帳です。

成績　実力診断および模擬試験の成績を確認します。

[切替] 設定　設定画面を表示させます。

[戻る] 終了　アプリケーションを終了します。

【操作・内容についてのお問い合わせ先】

（株）学研教育出版　デジタルコンテンツ事業室
ユーザーサポート係

〒141-8510　東京都品川区西五反田2-11-8
TEL　03-5487-1361
（受付時間：祝日を除く月～金曜日の13:00 ～ 17:00）
FAX　03-6431-1709
E-mail　supportdc@gakken.co.jp

漢字ターゲット1700

「漢字ターゲット1700」の詳細画面に表示される48ドット漢字(大きい漢字)は教科書などで使用される字形に合わせています。
本製品の他の辞書などで使用されている漢字の字形は、JISの漢字表に準拠しており、「漢字ターゲット1700」や一般の辞典などに採用されている字形と異なることがあります。漢字の学習には、漢字ターゲット1700の字形により学習ください。

学習をする

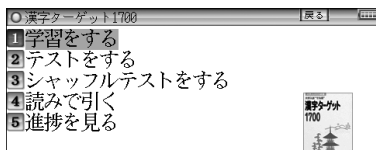
学習の種類や範囲を選んで問題例を表示させ〈　〉で囲まれた部分の漢字または読みを学習します。

次の問題例は[▶]で表示させます。

画面上部に“参照”タブが表示されたときは[切替]でタブを切り替えて参照内容などを表示させることができます。

〓参考〓

＊参照内容には、難語句の意味のほか、次の記号で示す発展・参考事項を収録しています。

(対)……対義語・対照語　　(類)……類義語
(語)……よく使われる語例　　(注)……注意事項

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させ〈　〉で囲まれた部分の漢字または読みを手書き入力(仮名はキー入力も可)し[検索/決定]を押します。正解/不正解を判定後、解答が表示されます。

次の問題を[検索/決定]で表示させます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類(範囲)に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。

＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

読みで引く

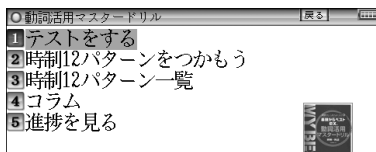
収録されている漢字の読みを入れ、漢字を調べます。

進捗を見る

学習（テスト）の進捗状況がグラフに表示されます。

動詞活用マスタードリル

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

時制12パターンをつかもう

タイトルを選んで動詞の時制の解説などを見ます。

時制12パターン一覧

動詞を選んで時制のパターンなどを見ます。

コラム

タイトルを選んで、コラムを表示させます。

進捗を見る

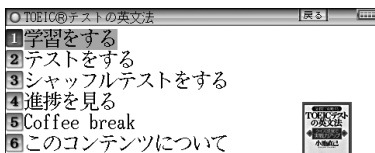
テストの進捗状況がグラフに表示されます。

TOEIC®テストの英文法

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

学習をする

学習の範囲などを選んでいって学習内容を表示させ学習します。

[▶] で次の内容を表示させて学習します。

テストをする

テストの範囲などを選んでいって問題を表示させて解答していきます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。

＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

進捗を見る

学習（テスト）の進捗状況がグラフに表示されます。

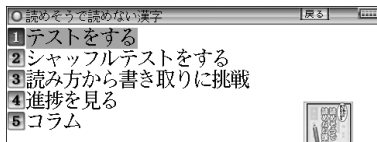
Coffee break

タイトルを選んで、コラムを表示させます。

このコンテンツについて

コンテンツの構成などを見ます。

読めそうで読めない漢字

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。

＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

読み方から書き取りに挑戦

● プレビュー機能を「切」にして行ってください。

日本語入力欄に言葉を入れ、リストに表示されることばの漢字を紙などに書きます。その後、書いた言葉を選んで漢字を表示させ、答え合せを行います。

進捗を見る

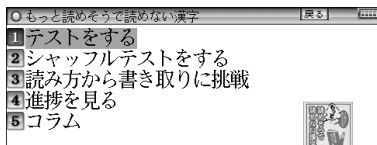
テストの進捗状況がグラフに表示されます。

コラム

タイトルを選びコラムを表示させます。

もっと読めそうで読めない漢字

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

漢字を考える問題

範囲の選択で「クイズに挑戦」を選んだ場合、漢字を考える問題が出題されることがあります。そのときは答えを紙などに書き [検索/決定] を押して解答を表示させて答え合せをします。答えが正しいときは[Y]、違っているときは[N]を押して、次の問題に進みます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。
＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

読み方から書き取りに挑戦

● プレビュー機能を「切」にして行ってください。

日本語入力欄に言葉を入れ、リストに表示されることばの漢字を紙などに書きます。その後、書いた言葉を選んで漢字を表示させ、答え合せを行います。

進捗を見る

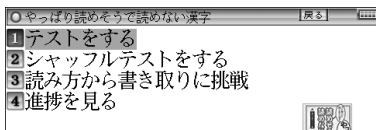
テストの進捗状況がグラフに表示されます。

コラム

タイトルを選びコラムを表示させせます。

やっぱり読めそうで読めない漢字

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

漢字のクロスワード

「クイズに挑戦」の「漢字のクロスワード」を選んだ場合、右のような問題が出題されます。これは上下左右の漢字と組み合わせると熟語になる漢字を考える問題です。

答えを紙などに書き[検索/決定]を押して解答を表示させて答え合せをします。答えが正しいときは[Y]、違っているときは[N]を押して、次の問題に進みます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類(範囲)に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。

＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

読み方から書き取りに挑戦

● プレビュー機能を「切」にして行ってください。

日本語入力欄に言葉を入れ、リストに表示されることばの漢字を紙などに書きます。その後、書いた言葉を選んで漢字を表示させ、答え合せを行います。

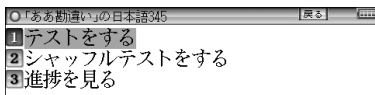
進捗を見る

テストの進捗状況がグラフに表示されます。

能力開発コンテンツⅡ

「ああ勘違い」の日本語 345

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

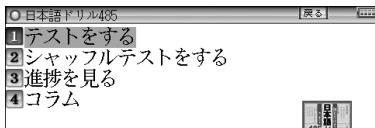
＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。
＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

進捗を見る

テストの進捗状況がグラフに表示されます。

日本語ドリル485

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。
＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

進捗を見る

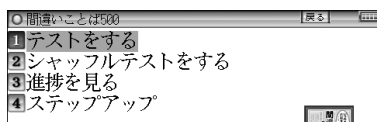
テストの進捗状況がグラフに表示されます。

コラム

項目を選んでいき、コラムを表示させます。

間違いことば500

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

シャッフルテストをする

「テストをする」の問題の順番をランダムに並べ替えて出題します。選んだ分類（範囲）に20問以上問題がある場合は、20問出題します。

〓参考〓

＊最後の問題に解答すると、正解数が一時表示されます。
＊シャッフルテストの結果は「進捗を見る」のグラフには反映されません。

進捗を見る

テストの進捗状況がグラフに表示されます。

ステップアップ

項目を選んでいき、問題の解説などを表示させます。

大人のIQテスト

テストをする

テストの種類や範囲を選んで問題を表示させて解答していきます。

成績を見る

テストの進捗状況がグラフに表示されます。

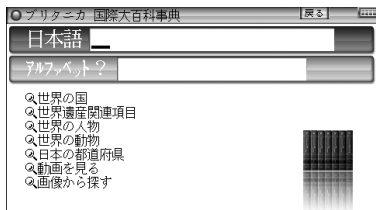
〓参考〓

＊ 図形については、ドット表示のため、印刷物とは異なることがあります。

生活コンテンツ I

ブリタニカ国際大百科事典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベット

調べたい語のアルファベットを入れます。

世界の国　世界遺産関連項目　世界の人物

世界の動物　日本の都道府県　動画を見る

画像から探す

それぞれ、各項目を選んでいきます。

〓参考〓

＊「動画を見る」、「画像から探す」は「カラー図鑑を見る」も参照ください。

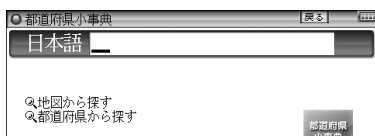
＊国名の詳細画面で「詳細地図：〈図」と表示されているとき、〈図 にタッチすると、その国を含んだ地図が表示されます。また、地図上の都市名などにタッチすると、その説明内容などが表示されます。
地図が大きいときは画面に▼▲▶◀マークが表示されます。それぞれの方向のマークにタッチして画面を送ることができます。

本製品に収録しているブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version は、当社に版権を許諾いただいたデータを電子辞書用に編集して収録したもので、CD-ROM版ブリタニカ国際大百科事典 Quick Search Version と比較して、イラスト・図表・動画の収録数は少なくなっております。

都道府県小事典

都道府県の話題や基礎知識を調べます。

日本語

調べたい都道府県名など（仮名または漢字）を入れます。

地図から探す

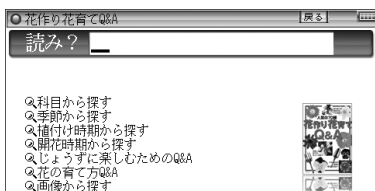
地図上の地域、都道府県名を選んでいきます。

都道府県から探す

地域、都道府県名を選んでいきます。

花作り花育てQ&A

読み

調べたい花などの名前の読みを入れます。

科目から探す

季節から探す

植付け時期から探す

開花時期から探す

じょうずに楽しむためのQ&A

花の育て方Q&A

画像から探す

それぞれ、各項目を選んでいきます。

- 写真の下の花名の後に（タ）などの記載があるものは、下記の各社が取り扱い、写真が提供されています。取り扱いが中止になることもありますのでご了承ください。
  （サン）＝サントリーフラワーズ　　　（タ）＝タキイ種苗

動物図鑑/植物図鑑・昆虫図鑑

動物図鑑は、哺乳類、鳥類、魚類の３種類の図鑑で構成されており、植物・昆虫図鑑は、植物、昆虫の２種類の図鑑で構成されています。

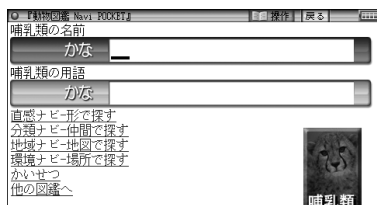
各図鑑の見かた、操作方法は基本的に共通ですので、ここでは、「動物図鑑」の「哺乳類図鑑」で説明します。

これらの図鑑は、電子ブックリーダーの機能を使って表示されますので、電子ブックリーダーの「本を操作する」の説明もお読みください。

哺乳類の名前　かな

調べたい名前の読みを入れます。

哺乳類の用語　かな

調べたい用語の読みを入れます。

直感ナビ－形で探す

分類ナビ－仲間で探す

地域ナビ－地図で探す

環境ナビ－場所で探す

それぞれ、画面の指示に従って選んでいきます。

かいせつ

タイトルを選びます。

他の図鑑へ

図鑑の選択画面（動物図鑑の最初の画面）へ戻ります。

〓参考〓

＊画面内のアンダーライン付きの青い文字にタッチすると、関連する画面や説明箇所にジャンプします。例えば、説明画面（詳細画面）右上に ナビへ と青色で書かれているとき、この文字にタッチすると上記の画面に戻ります。

＊説明画面（詳細画面）の写真にタッチすると、大きい写真が表示されます。写真の上の青い文字にタッチすれば、別の写真を表示したり、説明画面に戻ることができます。

日本史事典・世界史事典

歴史的な事実（史実）を調べます。

日本語

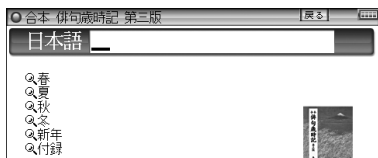
調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

画像から探す

画像を選んで説明内容を調べます。

合本 俳句歳時記 第三版

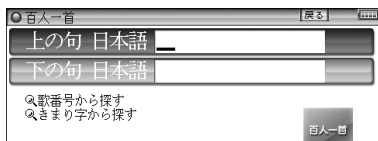
日本語

調べたい季語（仮名または漢字）を入れます。

春　夏　秋　冬　新年　付録

それぞれ、項目を選んでいきます。

百人一首

上の句 日本語

上の句の初めの言葉（仮名または漢字）を入れて歌を調べます。

下の句 日本語

下の句の初めの言葉（仮名または漢字）を入れて歌を調べます。

歌番号から探す

番号を選んで歌を調べます。

きまり字から探す

　きまり字を選んで歌を調べます。

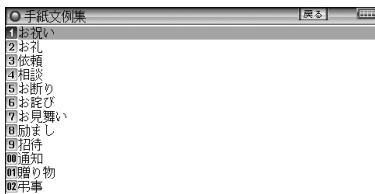
〓参考〓

＊ きまり字とは、先頭から何文字かが分ると、どの歌か決まる文字のことです。

＊ 音声は上の句、下の句を連続して再生します。片方だけの再生は行えません。

生活コンテンツⅡ

手紙文例集

各項目を選んでいって、目的に合った文例を探します。

〓参考〓

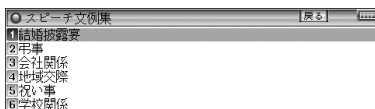
＊手紙の文例を参考にして、ご自身の状況・実情に合った手紙を作成してください。

＊文例中に〈　〉等のカッコで囲まれた部分がありますが、この部分は適宜変更してください。カッコ部分はそれぞれ次の内容になります。

〈　〉　　　：固有名詞や日付など
〈　〉様　　：受取人名
〈〈　〉〉　　：時候の挨拶
〈〈〈　〉〉〉：差出人名

なお、変更が必要な部分を目立たさせるため、カッコ内に★マークを入れています。

スピーチ文例集

各項目を選んでいって、目的に合った文例を探します。

〓参考〓

＊スピーチの文例を参考にして、状況・実情に合った草案を作成してください。

＊文例中に〈　〉等のカッコで囲まれた部分がありますが、この部分は適宜変更してください。
なお、変更が必要な部分を目立たさせるため、カッコ内に★マークを入れています。

裁判員～選ばれる前にこの１冊～

各項目を選んでいって、裁判員の制度や仕事などを調べます。

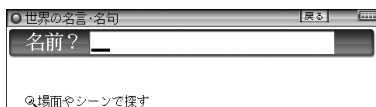
世界人名事典

名前

調べたい名前（仮名または漢字）を入れます。

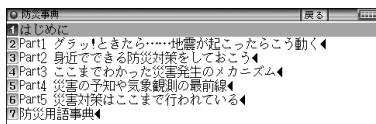
世界の名言・名句

名前

名前（仮名または漢字）を入れて、その人の名言・名句を調べます。

場面やシーンで探す

場面などを選んで調べます。

防災事典

各項目を選んでいって、防災に関する解説を読みます。

命を守る　最新防災事典
監修：独立行政法人 防災科学技術研究所

無敵の雑学

各項目を選んでいって、内容を探します。

花マル雑学塾

　各項目を選んでいって、内容を探します。

「花マル雑学塾」編集にあたって、さまざまな辞典・事典・書籍等を参考にさせていただきました。その主なものを、列記します。

『世界大百科事典』 平凡社
『広辞苑第五版』 岩波書店
『雑学新聞』 読売新聞大阪編集局　PHP研究所
『目からウロコの健康常識なるほど事典』 高宮和彦監修　PHP研究所
『知ってるようで知らない日本語』 柴田武　PHP研究所
『知っていると楽しい「通」学』 日本博学倶楽部編　PHP研究所
『「ことわざ」なるほど雑学辞典』 日本博学倶楽部編　PHP研究所
『今さら誰にも聞けない500の常識』 平川陽一編　廣済堂出版
『本当はどうなのか!?「常識通説」の大疑問』 データバンク21編　成美堂出版
『教科書に載らない雑学系230の疑問』 テリー伊藤監修　成美堂出版
『その道のプロが教える裏ワザ大事典』 知的生活追跡班　青春出版社
『大愚問』 素朴な疑問研究会編　青春出版社
『大珍説』 珍雑学博士協会編　青春出版社
『天才の不思議』 博学こだわり倶楽部　青春出版社
『渡る世間の日本語クイズ』 石井英夫　光文社
『不思議いっぱい おもしろ起源312』 樋口清之監修　日本文芸社
『学校では教えない歴史 近代編』 フリーランス歴史研究会　永岡書店
『ものしり雑学王』 竹内均編　三笠書房
『世界史おもしろこぼれ話』 石井武夫　三笠書房
『アメリカ「珍」商売カタログ』 木谷高康　ベストセラーズ
『先生を困らせた324の質問』 マーチン・M・ゴールドウィン／山崎昶訳　ベストセラーズ
『ここまでわかった!?　最新雑学の本』 小橋昭彦　講談社
『つい誰かに話したくなる雑学の本』 日本社　講談社
『雑学王』 博学こだわり倶楽部編　河出書房新社

「冠婚葬祭」ワザあり事典

　各項目を選んでいって、冠婚葬祭について調べます。

ことばから探す

　言葉（仮名または漢字）を入れて関連する内容を探します。

ビジネスコンテンツⅠ

経済新語辞典

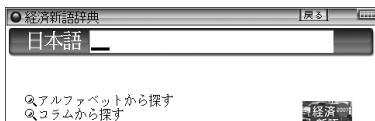
日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

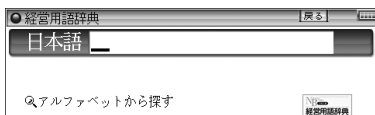
用語または範囲を選んでいきます。

コラムから探す

タイトルを選び、コラムを見ます。

経営用語辞典

日本語

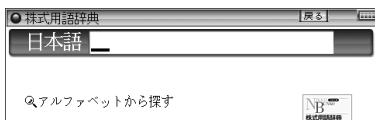
調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

用語を選びます。

株式用語辞典

日本語

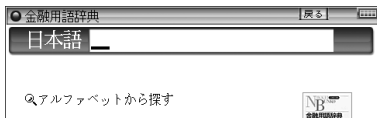
調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

用語を選びます。

金融用語辞典

日本語

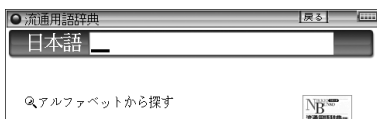
調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

用語を選びます。

流通用語辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

用語を選びます。

不動産用語辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

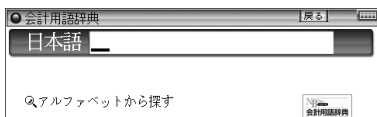
アルファベットから探す

用語を選びます。

会計用語辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

アルファベットから探す

用語を選びます。

広告用語辞典

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

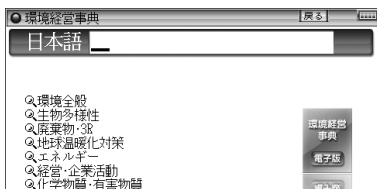
アルファベットから探す

用語を選びます。

環境経営事典

法律や国際会議、化学物質や地球温暖化、リサイクルなどの側面からみた「環境」を取り巻くキーワードの解説を収録しています。

日本語

調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

環境全般　生物多様性　廃棄物・3R

地球温暖化対策　エネルギー　経営・企業活動

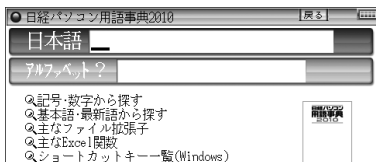
化学物質・有害物質

用語を選びます。

ビジネスコンテンツⅡ

日経パソコン用語事典2010

日本語

調べたい用語（仮名または漢字）を入れます。

アルファベット

アルファベットを入れて、アルファベットで始まる用語を調べます。

記号・数字から探す

項目を選んでいって、記号または数字から始まる用語を調べます。

基本語・最新語から探す

項目を選んでいって、基本および最新の用語を調べます。

主なファイル拡張子

項目を選んでいって、ファイル拡張子を調べます。

主なExcel関数

項目を選んでいって、Excelの関数を調べます。

ショートカットキー一覧（Windows）

項目を選んでいって、ショートカットキーを調べます。

〓参考〓

＊入力欄に数字や記号を入れることはできません。途中に数字や記号がある場合は、その前までの文字を入れ、表示される候補の中から選んでください。

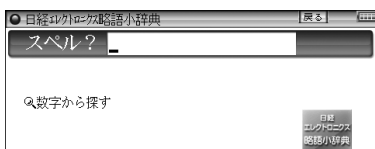
＊見出し語の前に 基本 または 最新 マークが表示されている場合は、それぞれ基本語、最新語を示します。両方のマークが表示される場合もあります。
また、見出し語の前に Win または Office と表示されている場合は、Windows または Officeソフトに関する用語を示しています。

もっとうまい eメールの書き方

各項目を選んでいって、eメールの例文、書き方などを調べます。

日経エレクトロニクス略語小辞典

スペル

略語のスペルを入れます。

数字から探す

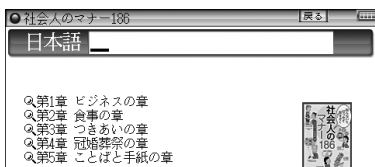
数字から始まる用語を調べます。

〓参考〓

＊入力欄に数字や記号を入れることはできません。途中に数字や記号がある場合は、その前までの文字を入れ、表示される候補の中から選んでください。
なお、μは「MICRO」と入れてください。

社会人のマナー 186

日本語

言葉（仮名または漢字）を入れて、関連する内容を調べます。

第1章　ビジネスの章

第2章　食事の章

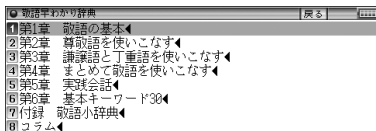
第3章　つきあいの章

第4章　冠婚葬祭の章

第5章　ことばと手紙の章

各項目を選んでいき、それぞれのマナーを調べます。

敬語早わかり辞典

各項目を選んでいって、敬語の使いかたなどを調べます。

旅行コンテンツⅠ

会話アシスト

会話アシストは、「会話アシスト機能を使う」をご覧ください。

デイリー日韓英・韓日英辞典

日本語の読みから韓国語および英語の単語などを調べたり、韓国語から日本語の意味、英語の単語などを調べることができます。

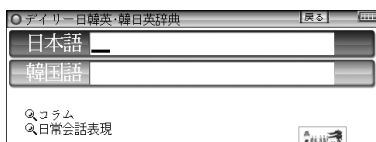
日本語

　調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

韓国語

　調べたい言葉（ハングル）を手書き入力します。

コラム

　分類項目を選びます。

日常会話表現

　分類項目を選びます。

デイリー日中英・中日英辞典

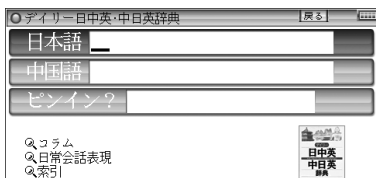
日本語の読みから中国語および英語の単語などを調べたり、中国語のピンインから日本語の意味、英語の単語などを調べることができます。

デイリー日中英·中日英辞典
戻る
日本語
中国語
ピンイン？
コラム
日常会話表現
索引

日本語

　調べたい言葉（仮名または漢字）を入れます。

中国語

　調べたい中国語（簡体字）を手書き入力します。

ピンイン

調べたい中国語のピンインを入力します。

コラム

分類項目を選びます。

日常会話表現

分類項目を選びます。

索引

各項目を選んでいきます。

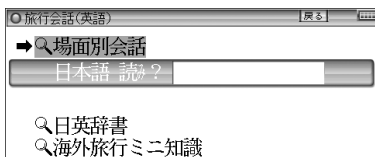
〓参考〓

＊ピンイン入力で四声（声調）の指定を省略した場合は
ピンイン入力時に四声の指定がない場合、声調を区別せずに候補を探します。

＊ピンインの入力を省略して検索する(“？”や“～”を使う)
“？”や“～”を使って、ピンインの入力を省略したり、はっきりしない言葉を調べることができます（「読みやスペルの一部を省略して検索する」を参照）。
なお、通常の検索では、入力したピンインを先頭に持つ語から、ピンインの並び順にリスト表示されますが、“？”を使用した場合、“？”以外の部分は声調の指定も含めて、入力した文字、文字数が一致する語が検索されます。同様に“～”を使用した場合、前後の文字は入力した文字と一致する語が検索されます。

わがまま歩き旅行会話　英語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

わがまま歩き旅行会話　イタリア語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英伊辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

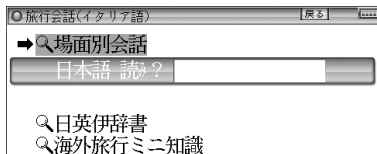
海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

〓参考〓

＊ 語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性名詞　(pl)＝複数形

語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを［ ］内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合（ ）内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話　フランス語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英仏辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

〓参考〓

＊ 語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。こ

れは、その名詞の性を表します。
(m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性名詞　(pl)＝複数形
語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを［ ］内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合（ ）内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話　スペイン語

旅行会話(スペイン語)　戻る
➡場面別会話
日本語 読み？
日英西辞書
海外旅行ミニ知識

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英西辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

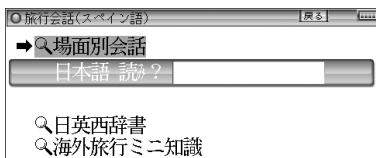
海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

〓参考〓

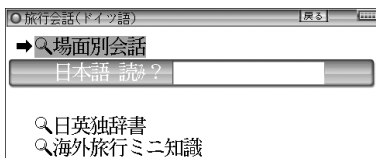
＊語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。
(m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性名詞　(pl)＝複数形
語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを［ ］内に表記してあります。また、男性形、女性形で語尾変化をする形容詞の場合（ ）内に女性形の語尾とルビを付けてあります。

わがまま歩き旅行会話　ドイツ語

旅行会話(ドイツ語)　戻る
➡場面別会話
日本語 読み？
日英独辞書
海外旅行ミニ知識

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英独辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

〓参考〓

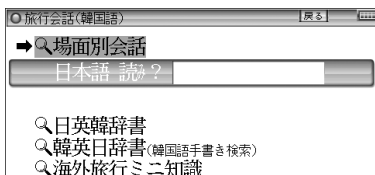
＊ 語が名詞の場合、後ろに (m)、(f) などの記号が付されています。これは、その名詞の性を表します。

(m)＝男性形　(f)＝女性形　(n)＝中性形　(pl)＝複数形

語尾変化をする場合には、女性形の語尾とルビを（　）内に表記してあります。

わがまま歩き旅行会話　韓国語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英韓辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

韓英日辞書（韓国語手書き検索）

調べたい韓国語（ハングル）を手書き入力します。

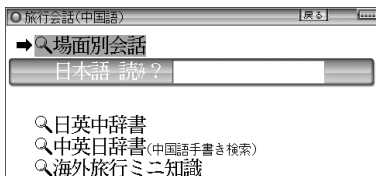
海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

旅行コンテンツⅡ

わがまま歩き旅行会話　中国語

場面別会話

各項目を選んでいきます。

日本語 読み

日本語の言葉の読みを入れて調べます。

日英中辞書

調べたい言葉の読みを入れます。

中英日辞書（中国語手書き検索）

調べたい中国語（簡体字）を手書き入力します。

海外旅行ミニ知識

各項目を選びます。

〓参考〓

＊中国語の発音においては、音節の最後に少し舌を巻く「儿化」という現象がしばしば起こります（英語の「r」に近い発音です）。書くときは省略されることが多いですが、発音する際には、「儿化」が起こることがしばしばあります。

トラベル英会話

場面別会話

項目を選んでいき、会話文を探します。

行動別会話

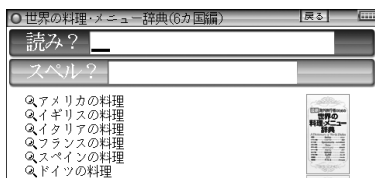
項目を選んでいき、会話文を探します。

世界の料理・メニュー辞典

各国の料理の特色や、レストランのメニューによく出てくる料理や素材を調べることができます。

この製品に搭載している「世界の料理・メニュー辞典」は、書籍版『世界の料理・メニュー辞典』に基づいて『世界の料理・メニュー辞典（6カ国編）』として編集したものです。

読み

料理名などの読みを入れます。

スペル

料理名などのスペルを入れます。

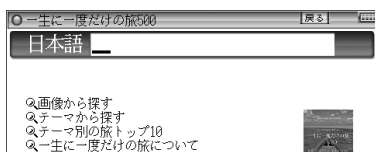
アメリカの料理　イギリスの料理　イタリアの料理

フランスの料理　スペインの料理　ドイツの料理

それぞれ項目を選んでいき、料理の特徴などを調べます。

一生に一度だけの旅BEST500

日本語

観光地名など（仮名または漢字）を入れ、関連する旅を調べます。

画像から探す

画像を選んで、旅の案内を探します。

テーマから探す　テーマ別の旅トップ10

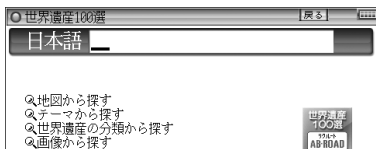
それぞれ、各項目を選んでいきます。

一生に一度だけの旅について

本コンテンツについての説明を表示します。

世界遺産100選

日本語

言葉（仮名または漢字）を入れ、関連する世界遺産を調べます。

地図から探す

地図から地域などを選んで、世界遺産を調べます。

テーマから探す　　世界遺産の分類から探す

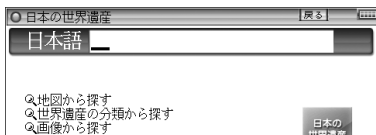
それぞれ、各項目を選んでいって世界遺産を調べます。

画像から探す

画像を選んで、世界遺産を調べます。

日本の世界遺産

日本語

言葉（仮名または漢字）を入れ、関連する世界遺産を調べます。

地図から探す

地図から地域などを選んで、世界遺産を調べます。

世界遺産の分類から探す

それぞれ、各項目を選んでいって世界遺産を調べます。

画像から探す

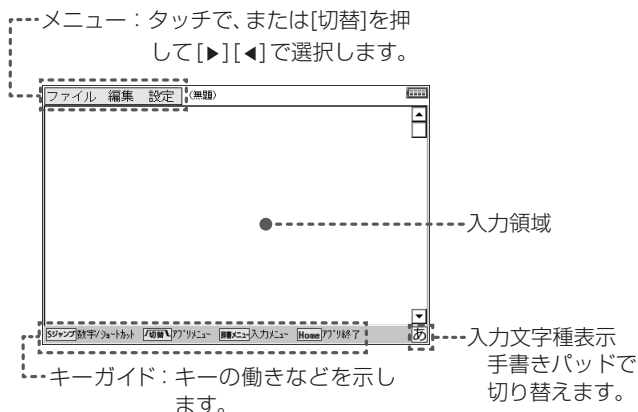
画像を選んで、世界遺産を調べます。

テキストメモ for Brain の使いかた

テキストメモ for Brain（以降「テキストメモ」と記載）は、電子辞書機能とは独立した、文字入力・かな漢字変換機能を持ち、最大32,768文字までのテキストデータを作成できますので、ちょっとした覚え書きから、ビジネスレポートの下書き作成など、幅広くご利用いただけます。
作成したテキストデータは、microSD/microSDHCメモリーカードで、またはUSBケーブルで接続してパソコンなどに送り、文章作成などに利用することもできます。

【テキストメモの起動と終了】

●カードを使用する場合は、先に取り付けておいてください。

[Home]を押し（Home画面にし）、「テキストメモ」を選びます。テキストメモのメイン画面が表示され新規入力画面になります。このメイン画面から、各操作を行います。

テキストメモを終了させるときは[Home]を押します。このとき、新規入力したデータ、または編集したデータがある場合

は、保存の確認画面が表示されますので、画面のボタンにタッチし、終了させます。

〓参考〓

＊テキストメモの起動は[機能][英和/和英](テキストメモ)と押して行うこともできます。
＊テキストメモの終了は、メニューの「ファイル」－「アプリケーションの終了」を選んで行います。また、データの保存直後など、文字の候補が表示されていないときに[戻る]を押した場合も終了します。
＊テキストメモ使用中にカードが抜き差しされた場合、テキストメモは終了します。もし、このとき入力・編集中のデータがある場合、本体メモリーに保存できる空きがあれば、次のようなファイル名で保存されます。
ファイル名：[日付]：temp.txt
(例 110316_142034：temp. txt)

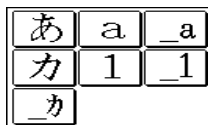
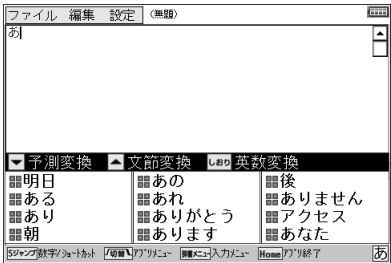
1. 文字入力

【入力文字種】

1 入力できる文字の種類

ひらがな	全角カタカナ	半角カタカナ	
全角英字	半角英字	全角数字	半角数字
全角記号	半角記号		

2 入力文字種の切り替え方法

手書きパッドに表示されている文字種ボタンにタッチして、入力する文字の種類を切り替えます。

〓参考〓

＊ひらがな、カタカナの入力は、ローマ字かな入力で行います。50音かな入力および手書き入力はできません。
なお、ローマ字入力の綴りは辞書と一部異なりますので「キーボード入力対応表(ローマ字→かな変換表)」を参照して入力してください。
＊英字の大文字を入れるときは、[機能]を押してから入力します。

【変換方法・入力方法】

入力文字や文章の流れを把握し、自動的に候補を表示させる、連文節変換、近似予測変換、連携予測変換といった変換機能があります。

近似予測変換	1～6文字の範囲で、ひらがなを1字入力するたびに入力した文字で始まる変換候補が表示されます。この状態で[▼]または[音声]を押すと予測候補の先頭を選択することができます。
連文節変換	文字入力状態で[▲]または[音量小]を押すと、自動的に文節を区切り、各文節文字に対して候補を表示します。 7文字以上入力して[▼]を押した場合も、連文節変換になります。 文節区切り範囲の拡大/縮小は[◀][▶]で行うことができます。
連携予測変換	入力文字・候補選択を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

1 音読み、訓読みからの変換（単漢字変換）

漢字の音読み、訓読みを入力して1漢字に変換できます。
文字を入力し、[辞書メニュー]を押して入力メニューを表示させ「単漢字」を選択すると、単漢字の候補を表示します。

〓参考〓

＊入力文字に該当する単漢字が存在しないと、候補は表示されません。

2 区点コードでの文字入力

[辞書メニュー]を押すと表示される入力メニューで「区点入力」を選択すると、区点コード入力欄が表示されます。入力したい文字の区点コード(数字4桁)を入力すると、そのコードの文字が入力されます。

3 ひらがな、カタカナ、英字変換(強制変換)

文字種の切り替えをせずに文字を入力する場合に利用します。

文字を入力し、[辞書メニュー]を押すと表示される入力メニューで「全ひらがな」「全カタカナ」「半カタカナ」「全英」「半英」のいずれかを選択して変換します。

〓参考〓

＊英字への変換は、文字入力後[しおり]を押してもできます。

4 「数字」「記号」「Tab」「、」「。」「スペース」などの入力

数字の入力：手書きパッドの文字種ボタンにタッチして文字種を「数字」にし、[1]〜[0]で数字を入力します。
または、[Sジャンプ]を押し、[1]〜[0]で数字を入力します。

記号の入力：[音量大]で記号パレットの表示、および切り替えをして、目的の記号を選びます。
なお、記号パレットで記号にカーソルを移して[音量小]を押すと同じ記号を連続して入れることができます。

[辞書メニュー]を押すと表示される入力メニューで「記号」を選んだときも記号パレットが表示されます。

Tabの入力：[音量小]でTabが入力されます。ただし、文字確定前や変換中には入力できません。

「、」の入力：[文字大]で「、」(読点)が入力されます。ただし、文字種が英字、数字のときは「, 」(コンマ)が入力されます。

「。」の入力：　[文字小]で「。」（句点）が入力されます。ただし、文字種が英字、数字のときは「.」（ピリオド）が入力されます。

スペースの入力：[🔊音声]でスペース（全角または半角）が入力されます。

5 顔文字・定型文の入力

顔文字や定型文を入力できます。また、これらはご自身で追加登録することもできます。

[辞書メニュー]を押し、表示される入力メニューで「顔文字」または「定型文」を選択すると、各入力パレットが表示されますので、目的の顔文字または定型文を選択します。

6 ドメイン変換

半角の「@」を入力したとき、画面に「ドメイン候補」が表示されます。候補には「@」の後に続くと思われるメールアドレスのドメインが表示され、選択することができます。

2. ファイルの操作

作成したメモデータを保存したり、呼び出したり、登録名を変更したりする操作を説明します。

【ファイルメニュー】

テキストメモのメイン画面で、メニュー項目の「ファイル」にタッチ、または[切替]を押すと、ファイルメニューが表示されます。メニューは
①タッチする。
②前の数字に対応するキーを押す。
③カーソルを移して[検索/決定]を押す。
のいずれかで選択します。

ファイル　編集　設定
1 新規作成
2 開く
3 上書き保存
4 名前を付けて保存
5 ファイルのコピー
6 ファイルの削除
7 ファイルの名前変更
8 アプリケーションの終了

ファイルメニューの項目

新規作成	新しいファイルを開き、編集することができます。※
開く	保存されているテキストファイルを開くことができます。※
上書き保存	現在のファイル名を変更せずに、編集した内容を保存することができます。
名前を付けて保存	現在編集中のファイルに任意の名前を付けて保存することができます。
ファイルのコピー	カードから本体、または本体からカードへテキストファイルをコピーすることができます。
ファイルの削除	カード、または本体に保存されているテキストファイルを削除することができます。
ファイルの名前変更	カード、または本体に保存されているテキストファイルのファイル名を変更することができます。
アプリケーションの終了	テキストメモを終了させることができます。※

※「新規作成」「開く」「アプリケーションの終了」を選択したとき、保存していないデータがあると、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1 テキストファイルを開く

① ファイルメニューで「開く」を選択します。
ファイル選択画面にファイルリストが表示されます。

② 必要に応じ〔本体〕または〔カード〕にタッチし（または、[切替]を押して）メモリーを切り替えます。

③ ファイルにタッチして開きます。

〓参考〓

＊カード内に複数のフォルダがある場合に、他のフォルダを選びたいときは〔フォルダ変更〕にタッチし、表示されるフォルダ名を選んで〔OK〕にタッチします。フォルダ名の前に⊞マークが表示されているときは、そのフォルダ内に別のフォルダがあることを示します。⊞にタッチすればそのフォルダ内のフォルダが表示されます。

2 テキストファイルを保存する

上書き保存

① ファイルメニューで「上書き保存」を選択します。
ファイルが書き換えられて保存されます。

名前を付けて保存

① ファイルメニューで「名前を付けて保存」を選択します。
ファイル保存画面が表示されます。

② 必要に応じ〔本体〕または〔カード〕にタッチし（または、[切替]を押して）メモリーを選択します。

カード内の別フォルダを選択する場合は〔フォルダ変更〕にタッチして、フォルダを選んで〔OK〕にタッチします。

③ ファイル名入力欄にファイル名を入力して確定させ

〔保存〕にタッチします。

入力した名前でファイルが保存されます。

〓参考〓

＊入力できるファイル名は最大18文字までです。
＊無題のファイル名で編集したデータを「上書き保存」しようとした場合は、「名前を付けて保存」と同様となります。

3 テキストファイルを本体またはカードへコピーする

カード内のファイルを本体メモリーへ、または本体メモリー内のファイルをカードへコピーします。

① ファイルメニューで「ファイルのコピー」を選択します。
ファイル選択画面が表示されます。

② 必要に応じ〔本体〕または〔カード〕にタッチし（または、[切替]を押して）メモリーを選択し、コピーするファイルを表示させます。

カード内の別フォルダを選択する場合は〔フォルダ変更〕にタッチし、フォルダを選んで〔OK〕にタッチします。また、カードにコピーする場合は、同様の操作でファイルを入れるフォルダを選んでおいてください。

③ [▼][▲]でファイルを選んで〔コピー〕にタッチします。選んだファイルが相手側（本体メモリーまたはカード）にコピーされます。

4 テキストファイルを削除する

① ファイルメニューで「ファイルの削除」を選択します。ファイル選択画面が表示されます。

② 必要に応じ〔本体〕または〔カード〕にタッチし（または、[切替]を押して）メモリーを選択し、削除するファイルを表示させます。

カード内の別フォルダを選択する場合は〔フォルダ変更〕にタッチし、フォルダを選んで〔OK〕にタッチします。

③ [▼][▲]でファイルを選んで〔削除〕にタッチします。確認画面が表示されますので〔はい(Y)〕にタッチします。ファイルが削除されます。

5 テキストファイルの名前を変更する

① ファイルメニューで「ファイルの名前変更」を選択します。ファイル選択画面が表示されます。

② 必要に応じ〔本体〕または〔カード〕にタッチし（または、[切替]を押して）メモリーを選択し、名前を変更するファイルを表示させます。

カード内の別フォルダを選択する場合は〔フォルダ変更〕にタッチして、フォルダを選んで〔OK〕にタッチします。

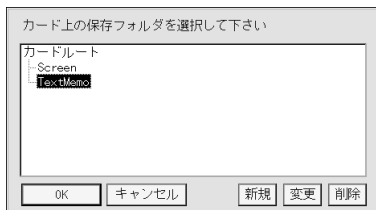
③ [▼][▲]でファイルを選んで[検索/決定]を押します。

④ ファイル名を修正または新しく入れて〔変更〕にタッチします。ファイル名が変更されます。

3. フォルダの操作

カード内のフォルダ名変更、新規作成、フォルダ削除、カレントフォルダ（現在操作対象フォルダ）の変更ができます。

1 カード上の対象フォルダを変更する

① 先のファイル操作で、カードのファイル選択画面にして〔フォルダ変更〕にタッチします（または[しおり]を押します）。
カードフォルダ選択画面が表示されます。

② タッチしてフォルダを選び〔OK〕にタッチします。
カレントフォルダに設定され、ファイルの「開く」や「保存」、「コピー」などの操作で最初に選択されるフォルダになります。

〓参考〓

＊カードフォルダ選択画面でフォルダ名の前に田マークが表示されているときは、そのフォルダ内に別のフォルダがあり、田にタッチすれば表示されます。

2 カード上の保存フォルダを新規に作成する

① 先のカードフォルダ選択画面で作成したいフォルダの親となるフォルダを選択します。

② 〔新規〕にタッチし、表示される入力欄に新規作成するフォルダ名を入力して確定させ〔OK〕にタッチします。
①で選択したフォルダの下にフォルダが作成されます。

3 カード上の保存フォルダ名を変更する

① 先のカードフォルダ選択画面で名前を変更したいフォルダを選択します。

② 〔変更〕にタッチし、表示される入力欄に新しいフォルダ名を入力して確定させ〔OK〕にタッチします。

フォルダ名が変更されます。

4 カード上の保存フォルダを削除する

① 先のカードフォルダ選択画面で削除したいフォルダを選択します。

② 〔削除〕にタッチし、表示される削除確認画面で〔OK〕にタッチします。フォルダが削除されます。

4. メモの編集

テキストメモのデータを編集します。

【編集メニュー】

テキストメモのメイン画面で、メニュー項目の「編集」にタッチ、または[切替][▶]と押すと、編集メニューが表示されます。
メニューは
①タッチする。
②前の数字・英字に対応するキーを押す。
③カーソルを移して[検索/決定]を押す。
のいずれかで選択します。

ファイル　編集　設定

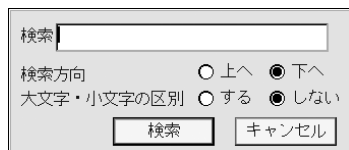
1 元に戻す
2 やり直し
3 切り取り
4 コピー
5 貼り付け
6 検索
7 上候補
8 下候補
9 置換
0 すべて選択
A 行ジャンプ
B タイムスタンプ挿入

編集メニューの項目

元に戻す	直前に行った編集内容を元に戻します。
やり直し	直前に行った「元に戻す」操作を取り消します。
切り取り	ドラッグなどで範囲指定した文字列を切り取ります。
コピー	ドラッグなどで範囲指定した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーした文字列をカーソル位置に貼り付けます。
検索	検索画面を表示します。検索文字列を入力し、テキスト内から一致する文字列を検索します。
上候補	前回検索した文字列を、カーソル位置から上方向に検索します。
下候補	前回検索した文字列を、カーソル位置から下方向に検索します。
置換	置換画面を表示します。検索文字列と置換文字列を入力し、一致する文字列を置換します。
すべて選択	入力されているすべての文字列を選択状態にします。
行ジャンプ	指定行へジャンプすることができます。
タイムスタンプ挿入	カーソル位置へ、現在の日付 / 時刻を挿入します。 書式は固定です。 例：2011/03/16 15:34:01

多くの編集を続けていくと、編集メモリーがいっぱいになり「メモリーが足りません」と表示して編集メモリーの内容を消去する場合があります。その場合は「元に戻す」で以前の状態に戻すことができなくなります。それ以降の編集内容は新たに記憶されていきます。

1 文字列を検索する

① 編集メニューで「検索」を選択します。
検索画面が表示されます。

② 検索文字入力欄に検索文字列を入力します。

③「上へ」「下へ」のどちらかにタッチして文頭方向へ検索するか、文末方向へ検索するか選択します。

④「する」「しない」のどちらかにタッチしてアルファベットの大文字・小文字を区別するか、しないか選択します。

⑤〔検索〕にタッチします。

文字列が検索され、その位置が表示されます。

2 文字を置換する

① 編集メニューで「置換」を選択します。
置換画面が表示されます。

② 検索文字列、置換文字列を各入力欄に入力します。

③ 検索方向を選択します。

④ 大文字・小文字の区別の有無を選択します。

⑤〔次を検索〕〔置換して次に〕〔全置換〕のいずれかにタッチします。

タッチしたボタンに対応した動作が行われます。

〓参考〓

＊検索、置換で入力できる文字列は最大32文字までです。

5. メモの設定

【設定メニュー】

テキストメモのメイン画面で、メニュー項目の「設定」にタッチ、または[切替][▶][▶]と押すと設定メニューが表示されます。

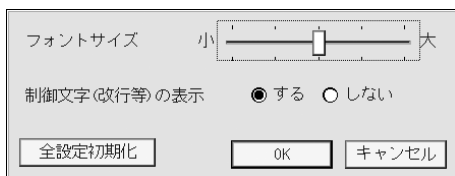
ファイル　編集　設定
1 アプリケーション設定
2 バージョン情報

メニューは　①タッチする。
　　　　　　②前の数字に対応するキーを押す。
　　　　　　③カーソルを移して[検索/決定]を押す。
のいずれかで選択します。

設定メニューの項目

アプリケーション設定	テキストメモの表示に関する設定画面を表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

1 フォントサイズの変更／制御文字の表示

① 設定メニューで「アプリケーション設定」を選択します。
　設定画面が表示されます。

② 「フォントサイズ」のバーをタッチやドラッグでスライドさせて文字サイズを選びます。

③ 「する」「しない」のどちらかにタッチして制御文字の表示をするか、しないか選択します。

④ 〔OK〕にタッチして設定します。

〓参考〓

＊フォントサイズ変更は、メイン画面の入力領域に表示されるデータの文字の大きさを5段階で変えることができます。

＊制御文字は、改行（↓）、Tab（>）、スペース（⬚ または ˽）です。

2 テキストメモの全設定初期化

① 設定画面で〔全設定初期化〕ボタンにタッチします。
アプリ設定・入力設定・学習辞書関連の設定を全てクリアする旨の確認画面が表示されます。

② 画面を確認し、初期化する場合は〔OK〕にタッチします。
テキストメモの全設定が初期化されます。（テキストメモ以外の電子辞書の各設定には影響しません。）

6. 入力の設定

【入力設定画面】

[辞書メニュー]を押すと表示される入力メニューで「設定」を選択すると、入力設定画面が表示されます。この画面から各種入力関係の設定を行います。

入力設定画面での項目の選択

キーで操作する場合、ボタンやチェック項目の選択は[∧][∨]キーで行うことができます。タブの切り替えは、[∧][∨]でいずれかのタブを選択後、[◀][▶]で行います。

チェックボックスのオン/オフ

項目を選択して[検索/決定]を押します。

設定の反映

「全般」タブの〔設定を更新して終了〕を選択して設定を反映させます。また、[戻る]を押すと設定を保存するかどうかの確認画面が表示されますので、〔はい(Y)〕を選択して反映させます。

1 変換候補の行数設定(「全般」タブ)

変換候補ウィンドウの行数を2～5行の範囲で設定することができます。

① 入力設定画面で「全般」タブを選びます。

② 「候補ウィンドウの行数」の▼にタッチし、表示されるリストから行数を選択します。

2 連文節変換での1文字学習の表示、非表示(「全般」タブ)

「連文節変換での1文字学習の表示」のチェックボックスにチェックを入れる(ON設定にする)ことで、連文節候補に近似予測変換の1文字学習の候補を表示させることができます。

これがONとOFFでは、例えば次のようになります。

① 「あさ」を入力し、予測変換候補から「朝ごはん」を選択する。

② 「あ」を入力し、連文節変換をする。

1文字学習がONのとき：連文節変換の候補に「朝ごはん」が表示される。

1文字学習がOFFのとき：候補に「朝ごはん」は表示されない。

3 近似予測変換の設定(「予測」タブ)

● 近似予測変換の表示、非表示

「予測」タブの「近似予測変換辞書を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れる(ON設定にする)、またはチェックを外す(OFFにする)ことで、表示/非表示を切り替えます。

● 変換候補の優先度の設定（優先候補設定）

「予測」タブの「近似予測変換辞書を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ（ON設定にする）、「優先候補設定」の項目にチェックを入れると、変換候補内の表示順位を変えることができます。ただし、全ての候補順位が必ず変わるとは限りません。

4 連携予測変換の設定（「連携」タブ）

● 連携予測変換の表示、非表示

「連携」タブの「連携予測変換辞書を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れる（ON設定にする）、またはチェックを外す（OFFにする）ことで、表示/非表示を切り替えます。

● 顔文字を連携予測変換の候補に表示する（顔文字連携）

「予測」タブの「連携予測変換辞書を有効にする」にチェックを入れ「顔文字の出力」にチェックを入れると、形容詞（楽しい）などを入力したときに、連携候補に顔文字が表示されるようになります。

5 ユーザー辞書（「辞書」タブ）

よく使う単語に読み（見出し語）を付けて、最大250語まで登録することができます。
登録した単語は、読みを入力して変換すると、変換候補に表示されます。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。
- 単語は全角で最大15文字です。
- 見出し語は全角で最大8文字です。
- 見出し語には全角のひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号が使用できます。

● 単語の新規登録

① 「辞書」タブの〔登録/削除〕にタッチします。
ユーザー辞書操作画面が表示されます。

② 〔新規登録〕にタッチします。

③ 「見出し語」「単語」を入力し、「品詞」を選択します。

④〔登録〕にタッチして登録します。

〓参考〓

＊登録単語の「編集」「削除」「バックアップ」「復元」は、①のユーザー辞書操作画面で行うことができます。
＊辞書のバックアップはカードに保存されます。
＊辞書のバックアップは1ファイルのみ保存することができます。既にバックアップファイルが存在する場合は、上書き確認画面が表示されます。

● 単語の編集

① 「辞書」タブの〔登録/削除〕にタッチします。
② 編集したい語をタッチして選びます。
③〔編集〕にタッチします。
④ 「見出し語」「単語」を編集し、「品詞」を選択します。
⑤〔決定〕にタッチして終了します。

● 単語の削除

① 「辞書」タブの〔登録/削除〕にタッチします。
② 削除したい語をタッチして選びます。
③〔削除〕にタッチし、削除確認画面で〔はい（Y）〕にタッチします。選んだ語が削除されます。

● ユーザー変換辞書の作成

登録した単語を１つにまとめてユーザー変換辞書を作成します。

① 「辞書」タブの〔登録/削除〕にタッチします。
②〔変換〕にタッチします。ユーザー変換辞書に変換され、「辞書」タブのユーザー変換辞書欄に表示されます。

● ユーザー変換辞書の使用辞書登録

「辞書」タブのユーザー変換辞書欄のチェックボックスにチェックを入れる（ONにする）と使用できるようになります。

〓参考〓

＊使用辞書登録は最大5件までON設定にすることができます。

6 定型文・顔文字の修正、登録（「定型文」タブ）

よく使う言葉や顔文字を追加登録したり、あらかじめ登録されている定型文、顔文字を修正することができます。

● 定型文・顔文字の変更

① 「定型文」タブの「カテゴリー」の▼にタッチし、編集したい定型文･顔文字が含まれるカテゴリーを選択します。

② 編集したい定型文･顔文字にタッチして選択します。

下の入力・編集欄に、選択した定型文･顔文字が表示されます。

③ 入力・編集欄の定型文･顔文字を修正します。

④ 〔変更〕にタッチして、登録されている定型文･顔文字を書き換えます。

〓参考〓

＊手順④で〔追加〕にタッチしたときは、修正した定型文・顔文字が追加登録されます。

＊順序を入れ替えるときは、移動したい定型文・顔文字を選択し、↑ ↓にタッチして移動させたい位置に移します。

＊削除するときは、削除したい定型文・顔文字を選択し〔削除〕にタッチします。

＊定型文・顔文字の追加・修正をすべて初期の状態に戻すときは〔リセット〕にタッチして行います。

7 学習された辞書や、各種設定のリセット（「全般」タブ）

● 学習辞書のリセット

学習辞書のリセットでは、「近似予測変換」、「連携予測変換」、「記号一覧」などの学習された変換候補を初期の状態に戻します。

① 「全般」タブの〔学習リセット〕にタッチし、リセット確認画面で〔はい（Y）〕にタッチします。

● 設定のリセット

設定のリセットでは、「候補ウィンドウの行数」「近似予測変換の設定」「連携予測変換の設定」「顔文字／定型文の変更」などの設定状態を初期の状態に戻します。

① 「全般」タブの〔設定リセット〕にタッチし、リセット確認画面で〔はい（Y）〕にタッチします。

7. ショートカットキー

本アプリケーションの機能をキーに割り付けてあり、そのキーを押すことにより機能を使うことができます。

1 [Sジャンプ]キーについて

[Sジャンプ]を押すとSモード（数字入力・ショートカットモード）になります。Sモードが有効状態の各キーには、様々な機能が割り当てられています（次ページのショートカット機能表を参照）。

例：[Sジャンプ][A]と押す → 入力文字列の全選択

2 Sモードのロックについて

次の場合Sモードは解除されずロック状態になります。

- [Sジャンプ]を押した後の[▲]、[▼]、[◀]、[▶]キー
- [Sジャンプ]を押した後の[A]、[−]、[Z]、[J]、[∧]、[∨]キー
- [Sジャンプ]を押した後の数字入力

これらの場合、続けてSモードが機能しているまま範囲選択やコピー、入力などを行うことができます。

再度[Sジャンプ]を押す、または[▲][▼][◀][▶][A][−][Z][J][∧][∨]キー、数字入力以外の入力操作を行うとSモードは解除されます。

●Sモードでのキーガイド表示

◀▲▼▶範囲	A全選択	Cｺﾋﾟｰ	V貼付	X切取	G移動	Z戻す	F検索	H置換

● 文字未入力状態でのショートカット

機　能　名	キ　ー
範囲選択	[Sジャンプ] [▲]、[▼]、[◀]、[▶]
全選択	[Sジャンプ] [A]
コピー	[Sジャンプ] [C]
貼り付け	[Sジャンプ] [V]
切り取り	[Sジャンプ] [X]
行ジャンプ	[Sジャンプ] [G]
元に戻す	[Sジャンプ] [Z]
やり直し	[Sジャンプ] [J]
検索	[Sジャンプ] [F]
上候補	[Sジャンプ] [∧]
下候補	[Sジャンプ] [∨]
置換	[Sジャンプ] [H]
スペースの入力	[Sジャンプ] [－]／[🔊音声]
Tab の入力	[音量小]
記号パレット表示	[音量大]
ページアップ	[∧]
ページダウン	[∨]

● 文字入力中の状態でのショートカット

機　能　名	キ　ー
英字変換	[しおり]
文節変換	[一括検索]／[▲]／[音量小]
文節縮小	[一括検索]／[◀]
文節拡大	[広辞苑]／[▶]

● その他のショートカット

機　能　名	キ　ー
入力メニュー	[辞書メニュー]／[Sジャンプ] [M]
テキストメモメニュー	[切替]
「、」「,」の入力	[文字大]
「。」「.」の入力	[文字小]

付　　録

【記号・特殊文字一覧】

<table>
<tr><td>半角</td><td>!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~｡｢｣､･ｰﾞﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿
ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】
＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴
♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§
☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇
≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
ゎゐゑヮヰヱヴヵヶ
ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω
АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦ
ЧШЩЪЫЬЭЮЯ
абвгдеёжзийклмнопрстуфхц
чшщъыьэюя
─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳
ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟
№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼∮∑∟⊿</td></tr>
</table>

【キーボード入力対応表（ローマ字→かな変換表）】

本表は、テキストメモ入力時に使用します。電子辞書の検索文字等を入力するときのローマ字綴りとは一部異なります。

あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	a	i yi	u wu whu	e	o	la xa	li xi lyi xyi	lu xu	le xe lye xye	lo xo
							いぇ			
							ye			
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						wha	whi wi		whe we	who
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	ka ca	ki	ku cu qu	ke	ko co	hya	kyi	kyu	kye	kyo
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		きょ
	lka xka			lke xke		qya		qyu		qyo
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						qwa qa kwa	qwi qi qyi	qwu	qwe qe qye	qwo qo
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyi	gyu	gye	gyo
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						gwa	gwi	gwu	gwe	gwo
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	sa	si ci shi	su	se ce	so	sya sha	syi	syu shu	sye she	syo sho
						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						swa	swi	swu	swe	swo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	za	zi ji	zu	ze	zo	zya ja jya	zyi jyi	zyu ju jyu	zye je jye	zyo jo jyo

た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちゅ	ちょ
	ta	ti chi	tu tsu	te	to	tya cha cya	tyi cyi	tyu chu cyu	tye che cye	tyo cho cyo
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			ltu xtu ltsu			tsa	tsi		tse	tso
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						tha	thi	thu	the	tho
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						twa	twi	twu	twe	two
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	da	di	du	de	do	dya	dyi	dyu	dye	dyo
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						dha	dhi	dhu	dhe	dho
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	ha	hi	hu fu	he	ho	hya	hyi	hyu	hye	hyo
						ふゃ		ふゅ		ふょ
						fya		fyu		fyo
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						fwa fa	fwi fi fyi	fwu	fwe fe fye	fwo fo
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byi	byu	bye	byo
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						va	vi	vu	ve	vo
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myi	myu	mye	myo
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	ya		yu		yo	lya xya		lyu xyu		lyo xyo

ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ				を	ん				
	wa				wo	N[*1] nn				
	ゎ									
	lwa xwa									

・[*1] n＋子音 を入力すると「ん＋子音」に変換されます（例：nka→んか）

【定型文一覧】

［挨拶］
こんにちは
おはよう
おはようございます
こんばんは
おやすみ
さようなら
またね
ではまた
ではでは
ありがとう
ありがとうございます
お世話になっております
久しぶり
おめでとう
はじめまして
よろしく
お待たせ
ただいま
お帰り

［遊び］
遊びに行こーよ
飲みに行きませんか？
それじゃまたね
今どこにいるの？
今なにしてるの？
メール下さい
電話下さい
電話かメール下さい
会いたい！
遅れそうです、ゴメン

［ビジネス］
お疲れ様です
よろしくお願いします
いつもお世話になっております
と申します
失礼します
以上です
直行します
直帰します
今から行きます
今から帰ります
遅れます
電車遅延のため遅れます
あとで連絡します
至急連絡下さい
中止します
変更します
延期します

［応答］
了解！
ありがとう！
Thank You
OK です
NG です
いいよ。
ダメです。
ごめんネ・・・
今忙しいです
後で連絡入れます
すみません、無理です

【顔文字一覧】

［その他］
.ne.jp
.co.jp
.ac.jp
.or.jp
.go.jp
.com
http://
www.
@softbank.ne.jp
@docomo.ne.jp
@ezweb.ne.jp
@vodafone.ne.jp
@wm.pdx.ne.jp
@emnet.ne.jp
そろそろ帰らなきゃ
もう帰ります
お誕生日おめでとう
頑張って！

［楽しい］
(^−^)
(^O^)
(*^−^*)
o(^−^)o
(^△^)
(･∀･)
(≧▽≦)
(^w^)
(^▽^)
(^▽^笑)
(‘−’。)
(へ。へ)
(−^〇^−)
(*’-’*)♪
(^▽^)
(*’▽’)
(=^_^=)
(⌒▽⌒)
(ノ*°▽°*)
(･−･*)
(o⌒▽⌒o)
(^u^)
(°▼° *)
(^O^)
(^.^;
(･▽･)
(*￣▽￣*)
(*^▽^*)
(^—^*)
(ë _ ë)
(^^*)
＼(^▽^@)ノ
(^Q^)／
o(^▽^)o
(^ Q ^)/
~(^◇^)/
(＞y＜)
(^◇^)

(^〇^)
ヽ(^。^)ノ
(^v^)
～(^Д^～)
(^0^*
(¬—¬)
(‘— ‘ *)
ψ(‘—’*)

［悲しい］
(;_;)
(>_<)
(ToT)
(T_T)
m(__)m
(*_*)
(−_−)
(/_･)
(;_☆)
:(T−T):
(･_;)
(;_･)
(ノ_σ)
(ノ▽･、)
(ノ_･、)
(T△T)
m(~q~;)m
0(>_<)0
o(_ _)o
(°—Å)
(･_･、)
ε～(;@_@)
ρ(･･、)
(･･,)
(’_’、)
(;へ:)
(;_･)
(＋_ q))
｜ヽ(～～。)
(x x)
(Ω _ Ω)
へ(><#)ノ
(;_;)
(。＞。＜。)
(~^T)
(†〇†)
(x_x;)
(。;_;。)
(>へ＜)

[驚き]
(￣□￣;)
Σ(￣ロ￣lll)
(＞w＜)
(^^;
(^-^;
f^_^;
(+_+)
(?_?)
(@_@)
Σ(￣□￣;)
(○o○;)
(○▽○)
[;*__*;]
(o。o;)
＼(~▽~)／
＼(○O○)／
Σ(ﾉ°▽°)ﾉ
!Σ(▼□▼メ)
!Σ(・□・)
(|||_|||)
(￣_￣|||)
(￣□￣|||)
(__□__;)!!
(。。 lll)
(○o◎)
ヾ(>y<;)ノ
(≡≡;)
(○o○;)
(・.・;)
(|||__|||)
Σ(T□T)
＼(◎o◎)／!
(◎-◎;)
〔≡_≡;〕
(○o○;))))!
～(－－)～
{{{{(+__+)}}}}
[●__●]
(￣TT￣)
(;;;*_*)

[挨拶]
(^-^)/
(^O^)/
m(_)m
(^▽^)ノ
(=^0^=)／
(⌒▽⌒)ノ
＼(*^▽^*)/
(^.^/)))~~~
(・Ω・)ノ
＼(⌒日⌒)／
＼(^▽^)／
(^_^)/~~
(o・・o)/~
ε=(ノ・・)ノ
(^。^@)／
ヽ(;▽;)ノ
ヽ(^^)(^^)ノ♪
＼(^_^)(^_^)／
(*^-^)ノ
＼(^0^)人(^0^)／
ヽ(^-^)
ξ・◇・ξ/~~~
＼(☆^O^☆)／
ヾ(^_^)
(^-^)//
(°°)(。。)
(・ε・)ノ
o(*^▽^*)o
(。・_・。)ノ
(TωT)/~~~

[その他]
(-.-)
(-_-メ)
(≧へ≦)
(*`Д´)
(`へ´メ)
(#`皿´)
(・∀・)
(‘A`)
(・∀・)ｲｲ!!
(・∀・)ｲｲﾖｲｲﾖｰ
(・A・)ｲｸﾅｲ!!
(ﾟДﾟ)ｲｯﾃﾖｽｨ
(ﾟДﾟ)ｺﾞﾙｧ!!
(ﾟ∀ﾟ)ｱﾋｬ
(ﾉ∀`)ｱﾁｬｰ
(ﾟДﾟ)ｱﾗﾔﾀﾞ!!
(ﾟ⊿ﾟ)ｲﾗﾈ
(ﾟдﾟ)ｳﾏｰ
(・∀・)ﾆﾔﾆﾔ
(￣ー￣)ﾆﾔﾘ
(ﾟДﾟ)ﾊｧ?
(・∀・)ｶｴﾚ!!
＼(^o^)／ｵﾜﾀ
__|￣|○
Σ(ﾟДﾟ)
(;^ω^)
(ﾟДﾟ)ｳﾞｫｹ!!
ｷﾀ━━━━(ﾟ∀ﾟ)━━━━!!
ｺﾈ━━━━(。A。)━━━━!!
ｶﾞｰｰｰ(;ﾟДﾟ)ｰｰｰﾝ!!
((((;ﾟДﾟ)))ｶﾞｸｶﾞｸﾌﾞﾙﾌﾞﾙ
(・∀・)つ目 ｵﾁｬﾉﾒ!
|ﾟДﾟ)))ｺｿｰﾘ!!!!
(TДT)ｺﾞﾒﾝﾖｰ
(ﾟДﾟ)ﾅﾆｶ?
／(^o^)＼ﾅﾝﾃｺｯﾀｲ
(lllﾟДﾟ)ﾋｲｨｨｨ!!
(σ・∀・)σｹﾞｯﾂ!!

【あれ？と思ったら】

症　状	説　　明
入力設定が反映されない	入力設定を反映させるには「全般」タブの〔設定を更新して終了〕にタッチするか、[戻る]キーを押し、確認画面で〔はい（Y）〕にタッチしてください。
ファイル保存に失敗する	保存先の本体、またはカードのメモリーの空き容量を確認してください。

テキストメモ for Brain アプリケーションに関するお問い合わせ先

富士ソフト株式会社
お客様相談窓口：fsk-0101@fsi.co.jp

困ったときは

よくあるご質問

Q1　表示が暗い・明るい

A　• Home画面で「各種設定」－「バックライト設定」－「明るさ調整（メイン表示画面）」を選び表示を見やすい明るさに調整してください。

　• 日中の屋外などの明るい場所では画面が見えにくくなります。日陰など、強い光が当たらないようにしてご使用ください。

Q2　手書きパッドの表示が濃い・薄い

A　Home画面で「各種設定」－「手書きパッド設定」－「手書きパッドの表示濃度調整」を選んで調整画面を表示させ、手書きパッドを調整します。

Q3　画面のボタンなどにタッチしても反応しない
ずれた位置で反応する

A　Home画面で「各種設定」－「タッチパッドの調整」を選んでタッチパッドの調整をしてください。

Q4　手書きパッドやタッチパッドで、タッチした位置と文字が書かれる位置がずれている

A　手書きパッドやタッチパッドの位置調整をしてください。

Q5　手書きパッドやタッチパッドに書いている途中で認識されてしまう

A　「手書きパッドで文字を手書き入力する」の「手書き入力のご注意」を参照いただき、必要に応じて手動認識でご利用ください。

Q6　キータッチ音は消せますか

A　キータッチ音の「鳴る（入）／鳴らない（切）」を切り替えるときは、Home画面で「各種設定」－「キータッチ音」を選んで設定します。

Q7　調べたい語が出てこない

A　次のことを確認してみてください。

- 読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。
- 「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。
- 「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。
- 「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。

Q8　調べたい単語が出てこない

A　単語は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてみてください。

Q9　読みのわからない漢字の調べかたは…

A　手書き入力や部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます（「漢字源」を参照）。

Q10　“？”や“～”が使える機能は？

A　ワイルドカード“？”、ブランクワード“～”は、広辞苑、英和･和英辞典、英英辞典などで使えます。広辞苑の逆引き機能などでは使えません。

Q11　ローマ字で思うように入力できない

A　「ローマ字→かな変換表」を参照して入力してください。
広辞苑の日本語入力などで[A]や[S]を押しても何も入らないときは、「50音かな入力」になっていると思われます。Home画面で「各種設定」－「かな入力方法」を選び、かな入力方法を切り替えてみてください。
なおテキストメモのローマ字入力時は、「キーボード入力対応表（ローマ字→かな変換表）」を参照してください。

Q12　「50音かな入力」ができない
キーを押すと「っっっ‥」と小さい「っ」が入る

A　かなの入力方式が「ローマ字かな入力」になっていると思われます。Home画面で「各種設定」－「かな入力方法」を選び、かな入力方法を切り替えてみてください。

なおテキストメモでは、「50音かな入力」はできません。

Q13 手書きした文字が正しく認識されない

A 文字を一文字ずつ認識させるときは、1枠入力パッドまたは2枠入力パッドで文字を手書き入力します。
英単語を入力する場合、枠無し入力パッドを使用すれば、複数の文字を書いて認識させることができます。
入力パッドは《枠数》にタッチして切り替えます。

Q14 手書きで長音符「ー」が入らない

A 漢数字の「一」と認識されやすいので、手書きパッドに表示される候補の中から選んでください。

Q15 韓国語の文字（ハングル）の手書き入力で目的の文字候補が出ない

A 韓国語文字（ハングル）には、同じ文字が書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔と잔はㅈとㅈが異なって、違う文字に見えますが、同じ文字です）。

Q16 日本語の読み検索を行う場合に英字始まりの見出し語が入力できない

A 日本語の読みで検索する場合、「ISO」など英字で始まる見出し語は「あいえすおー」のように読みをひらがなで入れます。数字から始まる見出し語も、読みをひらがなで入れてください。
見出し語にカッコ（「 」）や中点（・）などの記号がある場合は省略して入れてください。

Q17 消費税の税率が変わってしまったら…
レートが変わったら…

A 消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。「電卓/便利計算機能を使う」の説明をご覧ください。

Q18 国名などが変わっている／古いデータになっている

A この製品は、書籍版のコンテンツ（辞書など）のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。

Q19 検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ…

A １つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。

Q20 ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない

A 辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。

例 表記の違い： 敢え無い（広辞苑）
敢えない（和英）

Q21 英和辞典などで数字を含む見出し語を引く方法は？

A 見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索します。

例 2 → two 3 → three 20 → twenty

Q22 写真が表示できないが…

A プログレッシブ形式のJPEGデータなど、JPEGデータでも形式によっては表示されない場合があります。他の形式のJPEGデータを選んで表示させてください。

Q23 写真データはどれくらいの容量まで表示できる？

A 写真は10MBまでのデータを表示できます。大きいデータは表示するまで時間がかかる場合があります。

Q24 電子の本（XMDFデータ）の書籍情報に意味不明の日付が表示されるが…

A 書籍情報の「配布時の刻印情報」に表示される数字などは、本の商品番号などであり、日付ではありません。

Q25 音声の再生ができない

A
- 音量が小さくなっていませんか。Home画面で「各種設定」－「音量」を選び、調整してみてください。
- 充電池が消耗している可能性があります。ACアダプターを接続してみてください。
- 本体のイヤホン端子にイヤホンのプラグが接続されていませんか。接続されているとスピーカーから音が出ません。

Q26 CDデータ転送ソフトで作成したデータ（ファイル）が再生できない

A　データに登録した名前と本製品に登録した名前は一致していますか。名前が一致していないと再生できません（「電子辞書に名前・暗証番号を登録する」を参照）。

Q27 製品購入時に「本体メモリー」に入っていた本のサンプルデータを削除したが、復活させたい

A　本製品を初期状態に戻すと、本のサンプルデータも戻ります（「ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは」を参照）。

Q28 満充電したのに電源を入れると充電ランプが点灯する

A　ACアダプターを接続して電源を切っている場合、充電ランプが点灯しているときは充電をしていますが、電源を入れている場合は、通常、充電ランプは点灯しています。

Q29 電源を入れたとき、「データに異常があったため製品を初期の状態にしました」と表示された

A　電源オフ処理中にACアダプターを抜き差ししたり、強度の外来ノイズや強いショックを受けたりしたときに、単語帳やしおりなどの登録データに異常が発生する場合があります。この場合は、電源を入れたときに製品を初期状態に戻します。

Q30 XMDFなどの追加コンテンツはどこで購入できるの？

A パソコンソフト「ダウンロードコンテンツ管理ソフト」を使って、専用のWebサイトでご購入・ダウンロードいただけます（「管理ソフトをインストールする」を参照）

Q31 オプションで辞書などのデータをパソコンに取り込んだり、印刷する機器はありませんか

A 辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、そのようなオプション機器は用意しておりません。

Q32 学習帳や手書き暗記メモをカードにコピー（登録）できませんか

A 辞書などの内容は各出版社等の著作物であり、著作権保護のうえから、カードへコピー（登録）できない仕様としております。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	●充電池が消耗していませんか。 ●充電池が正しく取り付けられていますか。 ●ACアダプターが正しく接続されていますか。 上記でないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください（「異常が発生したときの処理」参照）。
充電ランプが赤色で点滅する	ACアダプターおよび充電池を取り外し、破損していないか、指定の充電池か、周囲温度が0℃～40℃か確認してください。
すべてのキーが働かない	本体裏側のリセットスイッチを押してください（「異常が発生したときの処理」参照）。
キー入力で文字が入らない 正しく入らない	かな入力方法が切り替わっていませんか。Home画面で「各種設定」－「かな入力方法」と選び、かな入力方法を切り替えてみてください。
キーを押したときや画面にタッチしたとき“ピッ”と鳴らない	キータッチ音が「切」になっていませんか。Home画面で「各種設定」－「キータッチ音」と選び、切り替えてみてください。
手書き文字が正しく認識されない 手書き入力の方法は？	「手書きパッドで文字を手書き入力する」を参照ください。 「手書き入力のご注意」に手書きするときにご注意いただきたい点も掲載しております。
２枠入力パッド、枠無し入力パッドで手書き入力した文字がコンテンツの画面に表示されない	２枠および枠無し入力パッドで手書き入力した文字は《採用》にタッチするまでコンテンツの画面に入力されません。手書き入力した後、《採用》にタッチしてください。

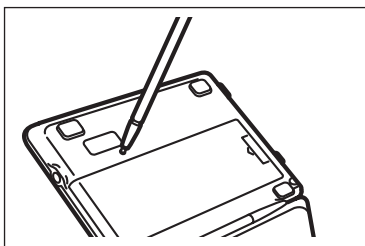
こんなとき	ここをお確かめください
自動的に電源が切れる	この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。 電源が切れるまでの時間は、Home画面で「各種設定」－「オートパワーオフ時間」と選び、変更することができます。 なお、本体を閉じると電源は切れます。
電源を入れると、デモ（スライドショー）の確認画面や「写真」が表示される	Home画面で「各種設定」－「オープニング設定」と選び、「表示なし」に設定してください。
MP3プレーヤーの再生が途中で止まる	MP3データのビットレート（32～256kbps）を確認してください。ただし、可変ビットレート（VBR）のデータの再生はできません。
カードを装着して電源を入れるとすぐに電源が切れる カードを装着しても「カードが入っていません」と表示される	充電池が消耗していませんか。充電池を充電してみてください。 カードを認識しなかった場合は、充電後もう一度カードを入れ直してみてください。
充電池が膨らんだ	充電池が劣化しています。充電池を交換してください（「電池について」を参照） リチウムイオン充電池は、その特性により劣化にともない膨らんでくることがあります。取扱説明書の「安全にお使いいただくために」の「充電池の取り扱いについて」をお読みいただいて、安全にご使用ください。

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに[クリア]も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

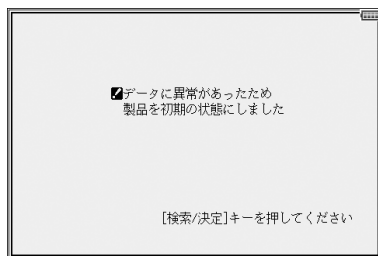
リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

電源が切れます。

- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 本体を開き、[入/切]を押して電源を入れます。

「しばらくお待ちください」と表示された後、Home画面が表示されます。

もし、Home画面の代わりに、次の画面が表示されたときは、お客様が登録されたデータに異常があったため、本体を初期の状態に戻したことを示します。このときは次のように操作してください。

3 [検索/決定] を押します。

タッチパッドの調整画面が表示されます。

4 画面に従って、タッチパッドの調整、手書きパッドの調整、キータッチ音の設定、かな入力方法の設定、日付・時刻設定などを行ってください。

★注意★

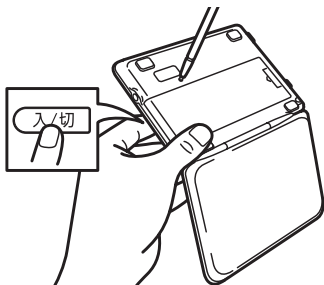
＊本体のデータに異常があると、ダウンロードして本体のメモリーに記憶させた内容、My辞書、単語帳、しおりの内容、手書き暗記メモ、学習帳、テキストメモ、電卓のメモリー、通貨換算機能の設定が消去され、「各種設定」などで設定した内容、消費税電卓の税率（初期状態：5%）、メニューカスタマイズなどが初期の状態に戻ります。※ なお、各コンテンツのデータや登録した名前・暗証番号は消去されません。
ダウンロードして本体メモリーに記憶させたコンテンツなどが消去された場合は、再度パソコンから転送してください。他の記憶内容、設定内容が消えた場合は、必要に応じて再度、記憶、設定してください。

※本製品が初期化されると、本体メモリーに電子ブックのサンプルが再登録されます。

ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは

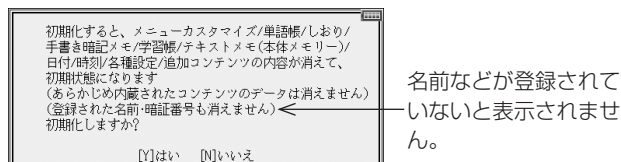
登録した内容などをすべて消去して、ご購入直後の状態に戻したいときは、次の操作で初期化を行います。

1 [入/切] を押したままボールペンなどで本体裏側のリセットスイッチを押し、ボールペンを離した後、電源が入ったら [入/切] を離します。

- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

しばらくすると、次の初期化の確認画面が表示されます。

初期化すると、メニューカスタマイズ/単語帳/しおり/
手書き暗記メモ/学習帳/テキストメモ(本体メモリー)/
日付/時刻/各種設定/追加コンテンツの内容が消えて、
初期状態になります
(あらかじめ内蔵されたコンテンツのデータは消えません)
(登録された名前·暗証番号も消えません)
初期化しますか?

[Y]はい　[N]いいえ

名前などが登録されていないと表示されません。

2 キーボードの[Y]キーを押します。(画面タッチは働きません。)

画面に「初期化中です」「初期化しました」と一時表示したあと、タッチパッドの調整画面が表示されます。

3 画面に従って、タッチパッドの調整、手書きパッドの調整、キータッチ音の設定、かな入力方法の設定、日付・時刻設定などを行ってください。

★注意★

＊この操作により、ダウンロードして本体のメモリーに記憶させた内容、My辞書、単語帳、しおりの内容、手書き暗記メモ、学習帳、テキストメモ、電卓のメモリー、通貨換算機能の設定が消去され、「各種設定」などで設定した内容、消費税電卓の税率(初期状態：5%)、メニューカスタマイズなどが初期の状態に戻ります。※ なお、各コンテンツのデータや登録した名前・暗証番号は消去されません。
ダウンロードして本体メモリーに記憶させたコンテンツなどが消去された場合は、再度パソコンから転送してください。他の記憶内容、設定内容が消えた場合は、必要に応じて再度、記憶、設定してください。

※本製品が初期化されると、本体メモリーに電子ブックのサンプルが再登録されます。

付　録

この製品を長くご愛用いただくための注意点など、参考にしていただきたいことをまとめています。よく読んで正しく使ってください。

電池について

【充電池について】

この製品は、リチウムイオン充電池を使用しています。

充電池の残量が少なくなっている警告メッセージが表示されたときは速やかに充電してください。

充電池の交換について

充電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります(常温で約500回が目安です)。
また、劣化にともない充電池が膨らむ場合があります（電池の特性によるもので、安全上問題はありません）。

充電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。満充電にしても極端に使用時間が短くなったときや、電池が膨らんだときは、新しい充電池と交換してください。
充電池のお買い求めは、取扱説明書内の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

使用できる電池

種　類	形　名	個　数
リチウムイオン充電池	EA-BL14	1個

※ 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。

★注意★

取扱説明書の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

＊製品を長時間使わないときは充電池を取り外しておいてください。

＊消耗した充電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。

リチウムイオン充電池のリサイクルご協力お願い

リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みリチウムイオン充電池の廃棄の際は、リサイクルにご協力ください。

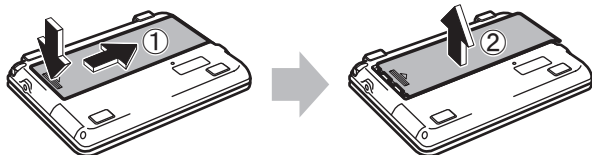
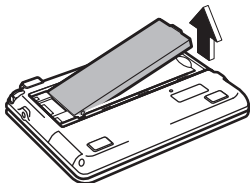
リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

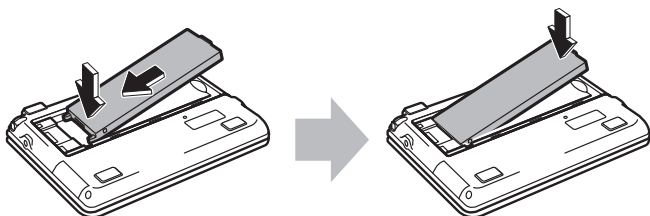
- ご使用済みリチウムイオン充電池は「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています」のステッカーを貼ったシャープ製品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことに注意してください。
  - 充電池の端子すべてにテープを貼る。
  - 充電池を分解しない。

【充電池の交換手順】

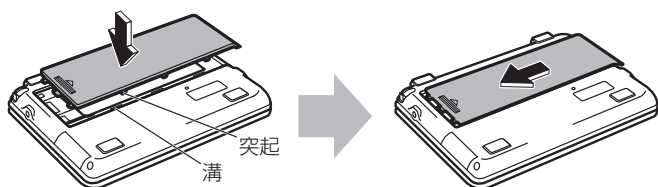
1 [入/切] を押して電源を切ります。

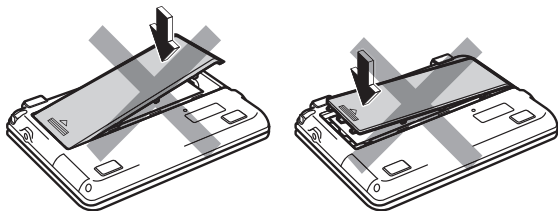
2 本体裏面の電池ぶたを外します。

電池ぶたの部分を押さえながら矢印①の方向に引き、矢印②の方向に持ち上げて外します。

3 消耗した電池を取り出します。

4 新しい充電池(EA-BL14)を入れます。

電池収納部に充電池を斜めに入れ、電池端子側に軽く押し付けながら、反対側を上から軽く押さえて入れます。

- 充電池および本体の電池端子には触れないでください。
- 充電池は上下や左右が逆では入りません。よく確認し、無理やり入れようとしないでください。破損など不具合の原因になります。

5 電池ぶたをもとどおり取り付けます。

本体の溝に電池ぶたの突起を合わせて入れ、スライドさせて取り付けます。

★注意★

＊電池ぶたの前または後ろを入れてから上から押さえるなど、無理な取り付けかたはしないでください。電池ぶたの破損の原因になります。

6 「初めてお使いになるときは」で説明の方法で充電を行ってください。

ローマ字→かな変換表

本表は、電子辞書の検索文字等を入力するときに使用します。
テキストメモ入力時のローマ字綴りとは一部異なります。

行					
あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO
ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ	わ	ゐ		ゑ	を
	WA	WYI		WYE	WO
ん	ん				
	N NN NX				

★注意★
＊表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

ゔ			ゔ		
			VU		
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

ぁ	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	XA	XI	XU	XE	XO
っ			っ		
			XTU		
ゃ	ゃ		ゅ		ょ
	XYA		XYU		XUO
ゎ	ゎ				
	XWA				

いぇ				いぇ	
				YE	
うぁ	うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ	くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	QA KWA	QI KWI QWI	QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO

ちゃ	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
とぅ			とぅ		
			TWU		
にゃ	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA LYA	RYI LYI	RYU LYU	RYE LYE	RYO LYO

ゔぁ	ゔぁ	ゔぃ		ゔぇ	ゔぉ
	VA	VI		VE	VO
ゔゅ			ゔゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO

ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どぅ			どぅ		
			DWU		
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

撥音（はつおん）の入力

“ん”の次に母音または“Y”がくるときや、“ん”で終わるときは“NN”と入力する。または“N”の後ろに“X”をつける。

ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)
はんい → HANNI (HANXI)
ほん → HONN (HONX)

上記以外のとき

ほんき → HONKI

促音（そくおん）の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)
とっきゅう → TOKKYUU (TOXTUKYUU)

〓参考〓

＊変換できないローマ字のつづりを入れたときは

本製品はローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

	入力操作		表示
例1	[Q] [W]	→	qw
	[A]	→	わ （qが削除されwaを変換）
例2	[K] [Y]	→	ky
	[W]	→	w （kyが削除されwが残る）
	[O]	→	を （woを変換）

仕　様

形　　名　PW-AC910
品　　名　電子辞書
表　　示　メイン画面：480×320ドットTFTカラー液晶表示
（タッチパッド付き）
手書きパッド：128×96ドット液晶表示
電卓機能　計算桁数　12桁
消費税電卓（税込／税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など）
通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算
時計機能　時間制：12時間制
時計精度：平均月差±90秒以内
MP3プレーヤー機能
MP3データ再生（カードまたは本体メモリーに収録したMP3データ、暗号化データを再生）
● 再生可能ビットレート：32～256kbps
（VBRは再生不可）
パソコン接続端子
USB(2.0)端子（シリーズミニB)
音声出力端子
イヤホン端子（3.5Φ ステレオタイプ）
電　　源　充電池：リチウムイオン充電池（EA-BL14）1個
公称電圧：DC 3.7V　公称容量：2300mAh
充電温度：0℃～40℃
ACアダプター：EA-80A
入力：AC100～240V（50/60Hz）
出力：DC 5V　1.0A
消費電力　3.9 W
使用時間　新しい電池を満充電状態で使用した場合
約100時間（カード非装着、使用温度25℃で連続表示の場合。なお、表示の明るさは初期の設定で、表示状態になった30秒後に表示が暗くなる場合）
約 70時間（カード非装着、使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索*を5分間行った場合。なお、表示の明るさは初期の設定で、表示状態になった30秒後に表示が暗くなる場合）
約 15時間（使用温度25℃、音量“5”でmicroSDメモリーカードに収録したMP3データをイヤホンで連続再生した場合）

＊検索：英和辞典で、1秒1キー操作で“dictionary”と入力し[検索/決定]を押す操作の繰り返し。

注: 使用環境や使用方法、カードの種類により、使用時間が短くなることがあります。

使用温度　0℃～40℃

外形寸法　突起部含む　：幅145.6×奥行105.3×厚さ20.8mm
　　　　　突起部含まず：幅145.6×奥行105.3×厚さ19.6mm

質　　量　約324g（充電池、タッチペンを含む）

●本体メモリー

容量：約300MB（出荷時の空き容量：約295MB※）

※本体にあらかじめ入っている電子ブックデータを削除し、ユーザーエリアを増やすことができます。
この削除した電子ブックデータは、本体を初期化すると元に戻りますが、本体を初期化すると単語帳、しおり、手書き暗記メモ、学習帳、テキストメモ、日付、追加コンテンツ等の内容は消えます。

●カード使用要件

カード種類：microSD、microSDHCメモリーカード

1フォルダ内最大ファイル数：200ファイル以下

ファイル名の最大文字数：
248文字以下（一番上のフォルダ名からファイル名までの文字をすべて加えた合計文字数（拡張子を含む））

ファイル名使用可能文字：
数字、英字、全角ひらがな・カタカナ、漢字（JIS第１・第２水準漢字）

●動作確認済みのカードは、次のWebサイトでご確認ください。
http://www.sharp.co.jp/brain/

●電子ブックリーダーでの表示可能テキストデータ

拡張子が .txt で、JIS第１・第２水準漢字、仮名、数字、英字を使ったテキストファイル

注：全角記号などは表示されません。

●MP3データ再生可能ビットレート

32～256kbps

注：可変ビットレート（VBR）のデータは再生できません。

●フォトスライド表示可能画像データ

データ形式：JPEG形式※（拡張子：.JPEG、.JPG）

※一部のデータを除く

1データ最大容量：約10MB（メガバイト）

1データ最大サイズ：5000×5000ドット

索引

記号

数字

アルファベット

あ

い

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

り

れ

ろ

わ